

2020年度

シ ラ バ ス

桐生大学 短期大学部

アート・デザイン学科

講義コード	40010001
講義名	英会話
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

主に、英語の日常会話を聞き取って、理解する練習をします。英語を話せるようにするには、まず聞き取れなくてはなりません。発音やイントネーションだけは不十分です。聞き取った英語の文法や語法の意味内容を瞬時に理解すること、つまり、英文を読むときにするような訳読は、リスニングの場合、あり得ないわけです。少なくとも、これが英語の聞き取りで最初にひっかかる場所です。それができるようになるためにはなるべく多くの英語を聞き取り、話す練習しかありません。この講義はその練習のきっかけ作りを目指します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

口語英語を聞き取り、話せるようにする。デザイナーやアーティストとして作品などを説明できるような英語力の下地を作ります。

到達目標

英語でコミュニケーションを図るために必要不可欠な最低限のスキル、例えば、日常生活での英語表現や海外旅行で観光をするときのやりとりなどを聞き分け、理解する。TOEICで450点以上の英語力を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	英語を聞き取れるようにするためにはどうすべきか考えます。	予習(教科書をざっと見ておいてください)：20分程度 復習(この日に話してことをまとめておいてください)：20分程度
第2回	Hi, is this seat taken?	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
	That's a lovely T-shirt.	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度

第3回		復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第4回	Pardon?	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第5回	I really enjoyed it.	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第6回	Is that right?	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第7回	How about you?	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第8回	Thank you so much.	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第9回	Excuse me, but...	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第10回	This is my fault.	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第11回	I'd rather not say.	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第12回	Could you tell me the way to the station?	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第13回	How about next Sunday?	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第14回	I'll think about it.	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度
第15回	That's a good idea, but...	予習(単語と英語表現の大雑把な把握)：20分程度 復習(話す状況を頭に浮かべながら重要な英語表現の反復練習)：20分程度

村田和代、他 (2016) 『今まで気づけなかった会話のコツ』 桐原書店
参考書
教室で適宜指示します。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上：試験の点数(80%)と教室での発言やその内容など(20%)。(履修人数が少なければ、平常点のみ。)
課題等に対する フィードバックの方法
答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。
履修のポイント
予習・復習用の音声教材を用意します。それを聞き取って出席することを前提に講義をします。試験問題はそこから出ます。音声教材をしっかりと聞いておいてください。完全に聞き取れる必要はありません。聞き取れなかったところをチェックして講義に臨んでください。その後、聞き取ったと同時に話の内容が英語のままで理解できるまで何度も聞き直してください。
オフィス・アワー
基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C030

講義コード	40020001
講義名	文章と表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教員経験を活かし、作文、要約、発表原稿などさまざまな表現の仕方についての知識を深めていく授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 簗輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要
この授業では、自己紹介、自分の身近な問題から受講生がまとめたレポートなどの成果に至るまで、効果的にスピーチやプレゼンテーションをするための口頭表現を学び、実践のためのトレーニングを進めていきます。具体的には、自分の発表を聞き手に伝えるためには、どのような発表の「型」を取ることが適切なのか、発表資料や原稿の準備と発表を通して、実践的に訓練していきます。作成した発表資料などについては、ペアワーク、グループディスカッションを通して、受講生同士で検討していきます。その中で、発表に対する適切なコメントの仕方も練習していきます。

教育目標
1. 授業は事前学習を前提に行うため、必ず事前学習課題は行うこと。
2. 授業で扱ったすべてのプリントはなくさないようにファイルにまとめておくこと。
3. 携帯電話は電源から切り、かばんの中にする。
4. 私語は授業中は決してしないこと。
5. わからないことはどのようなことでも教員に質問するよう心がけること。
6. どのようなことでもよいので積極的に意見を述べること。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自らの考え、意見を伝えたり、反対に他人の意見や考えを聞くことは社会人として求められている能力のひとつである。

到達目標

- 1) 大学の学びの場で求められるさまざまな文章表現、口頭表現の形式を理解し、自ら実践できるようにする。
- 2) 発表内容を適切な日本語の表現で伝えることができるようになる。
- 3) 発表内容に適した資料の作成ができるようになる。
- 4) 発表に対して、適切なコメントをできるようにする。
- 5) 適切な速さや大きさで、発表をすることが出来るようになる。

授業計画

--	--	--

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション ことばのドリル	提示された課題を各自で回答を考え発表する。	復習90分 配布されたプリント等を用いて復習すること
第2回	紹介文① 「好きなもの」について自己紹介の代わりに書いてもらいます。	提示された課題を各自が紹介文にする。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて紹介文について復習すること
第3回	紹介文② 「私の故郷」とすこし社会的な好きなものについて書いてもらいます。	提示された課題を各自が紹介文にする。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて紹介文について復習すること
第4回	賛成・反対の意見文 賛否が分かれる事柄について、自分の立場（賛成か反対か）を明らかにして、自分とは違う意見の根拠にも理解を示しながらも自分の意見を書いてもらいます。	提示された課題に対して賛成か反対かの立場を明らかにして書く。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて賛否が分かれる文について復習すること
第5回	Before After の文書① 何かをする前と後とを比較して、自分の変化について説明する文章を書いてもらいます。	提示された課題を各自がbeforeとafterを考えて書く。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて何かをする前と後を比較することについて復習すること
第6回	Before After の文書② 新しい商品、新しいシステム、制度などができる前と後を比較して、社会の変化について書いてもらいます。	提示された課題を各自が前と後を比較して書く。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて新しい商品、システム、制度についての復習すること
第7回	対立項と時間軸のある文章 多量の情報の中から数値の大きいところ、変化が激しいところを見つけたり、必要な数値を引き出したり、整理・比較などを文章に書いてもらいます。	提示された課題を各自が対立高と時間軸を考えて書く。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて多量の滋養法の中から必要な物を見つけて文にすることについて復習すること
第8回	紹介スピーチ 文章で表現したことを口頭発表していただきます。	提示された課題を各自が制限時間内で発表する。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて自己紹介をスピーチすることについて復習すること
第9回	紹介スピーチ 新聞、雑誌の記事の中から一つ選び、その要旨をまとめて口頭発表していただきます。	提示された課題を各自が選んで発表する。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて新聞、雑誌の中からその要旨をまとめてスピーチすることについて復習すること
			予習90分：復習90分

第10回	意見の主張 与えられたテーマについて反対の立場から、賛成の立場から意見を述べていただきます。	提示された課題を各自が反対、賛成の立場を明らかにして発表する。	分 配布されたプリント等を用いて与えられたテーマについて賛成も、反対の立場から意見を述べることについて復習すること
第11回	ディスカッション 共通のテーマについて4, 5人のグループで意見交換をし、最後にそのグループとしての意見をまとめて発表していただきます。	提示された課題をグループ内で意見交換し、そのグループ内での意見のまとめを発表する。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いてグループでディスカッションして意見をまとめることについて復習すること
第12回	ディベート① 二項対立するテーマについて、賛成、反対の自分の意見とは関係なくどちらかのグループに分かれてもらい、どんな資料を集めていけば良いのかどのように意見を述べれば良いのかを検討してもらいます。	提示された課題を各自の意見に関わらずに賛成、反対に分かれてグループ内で意見をまとめ発表する。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて自分の立場や意見に関係なく意見を述べることについて復習すること
第13回	ディベート② 自分たちと立場が違うグループへの反論、質問などを考えるとともに自分たちへの反論、質問に対する回答を検討する。	グループで立場決めて発表した意見への反論、質問をして理解を深める。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いて反論、質問を考えたり、反論、質問への回答について復習すること
第14回	プレゼンテーション① アンケート調査を実施して、その結果をわかりやすくパワーポイントを使用して伝えるとともに聞き手の役割を知る。	提示された課題を各自がアンケート調査をして結果をわかりやすく発表する。	予習90分：復習90分 配布されたプリント等を用いてアンケート調査の結果をどのように伝えるのかについて復習すること
第15回	プレゼンテーション② アンケート調査を実施して、その結果をわかりやすくパワーポイントを使用して伝えるとともに聞き手の役割を知る。	提示された課題を各自がアンケート調査をして結果をわかりやすく発表する。	復習90分 配布されたプリント等を用いて相手に意見や考えを伝える方法について復習すること

教科書

特に使用しないが、適宜授業時にプリントを配布する。

参考書

樋口裕一 著『やさしい文章術』中公新書
秋岡伸彦 著『文章表現テキスト』東京農業大学出版会
岡田啓助 他著『演習文章表現』おうふう
野田尚史・森口稔著『日本語を書くトレーニング』ひつじ書房

成績評価の方法・基準

○成績評価の基準

1. 文章の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解しているか。
2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。

○評価の方法

単位認定60点以上

授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。

1 積極的態度（発言、討議、取り組み等） 総合点の30%

2 毎時間の課題 総合点の70%

課題等に対する
フィードバックの方法

必要に応じて授業中に適宜学生にフィードバックし、学生の学習が進むようにする。

履修のポイント

毎回それぞれの場面を設定して書いたり、スピーチしたりということが求められますのでその課題に対応できるようになるためにもいろいろな本を読んでください。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C010

講義コード	40030001
講義名	心理学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

ものを見ること、覚えること、考えること、泣いたり笑ったりすることなど、私たちが意識するとしなやかにかかわらず、人のあらゆる活動に心はかかわっている。心理学は、そのような私たちの心のはたらきを明らかにすることを目的としているが、そのはたらきはさまざまである。本講義では、人の心の多様なはたらきについて取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによって視聴覚にうったえる試みもする予定である。なお、人の心のはたらきについての基礎知識を習得し、人に対する理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、多様な人間の特性のうち、心的特性も加味したデザイナーやアーティストとして活躍できるような基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

1. 心理学で使われる専門用語（知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求など）の意味を理解する。
2. 心理学における心の考え方・捉え方（理論）について理解する。
3. 日常的な出来事を心理学の理論に沿って理解する。
4. 人の心の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	心理学 オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） 心理学の知見から環境からの影響、環境をデザインすること	予習90分： 教科書 第1章を読む。

	と環境	について、グループで意見交換しながら考察する。	復習90分： 配布資料を見直す。
第2回	知覚心理学	錯視をはじめとし、見えの不思議について、教科書のワークをしながら知覚の不思議を体験する。 (DVDの視聴あり)	予習90分： 教科書pp.20-34を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第3回	学習心理学	テスト勉強で何かを覚えるだけでなく、知らず知らず身につけてしまう学習について取り上げる。日常生活で我々が知らず知らず身に着けている行動の例について考える。	予習90分： 教科書pp.34-43を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第4回	認知心理学	記憶や思考についてのワークをしながら理解を深める。	予習90分： 教科書pp.43-54を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第5回	人格心理学	いくつかの心理検査を行い、自分自身についての理解を深めながら、パーソナリティについての理解を深める。	予習90分： 教科書pp.56-70を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第6回	発達心理学①	発達の基本概念について取り上げる。発達を促進する遺伝的要因と環境要因について考えを深める。	予習90分： 教科書pp.71-83を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第7回	発達心理学②	自分らしさを作り上げる過程から死を迎えるまでの発達について取り上げる。心理検査等により自分のアイデンティティについての理解を深めながら、青年期の発達課題について理解する。	予習90分： 教科書pp.84-101を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第8回	社会心理学①	対人関係における印象形成、対人魅力、恋愛について自分の考えを深める。	予習90分： 教科書pp.102-118を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。

第9回	社会心理学②	人を動かす心理学について自分の考えを深める。 (DVD視聴あり)	予習90分： 教科書pp.119-135を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第10回	社会心理学③	援助行動と攻撃行動について自分の考えを深める。	予習90分： 教科書pp.136-148を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第11回	健康心理学①	グループで意見交換を行い、心の健康、適応について自分の考えを広めたり深めたりする。	予習90分： 教科書pp.149-158を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第12回	健康心理学②	ストレスについて自分の考えを深める。	予習90分： 教科書pp.158-163を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第13回	健康心理学③	心の健康の維持、回復について取り上げるが、まず正常と異常の違いについて多面的に考える。 (DVD視聴あり)	予習90分： 教科書pp.164-171を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第14回	臨床心理学	無意識の発見から明らかになった知見について取り上げる。 心の病と心理療法について取り上げる。 (DVD視聴あり)	復習90分： 配布資料を見直す。
第15回	社会現象と心理学	心理学から見た社会現象について取り上げる。 (DVD視聴あり)	予習90分： 教科書pp.172-182を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。

教科書

藤本忠明他 『ワークショップ心理学』 ナカニシヤ出版

参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 確認テスト（最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題）もしくは小論文40% レポート・課題30% 授業への積極性・態度30%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習では、主に授業内容の復習として配布資料・ノートのとまとめを勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11号館第8研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。
科目区分
基礎科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C011

講義コード	40040001
講義名	日本国憲法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会保障費の増大と消費税増税、地方自治体の消滅可能性、働き方改革など、国の課題は山積している。そんな中、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、大学生全員が選挙権を有することになってから、すでに何回かの選挙が行われている。本講座においては、私たちの生活や安全に大きな関わりをもつ国の基本法である日本国憲法を素材に、私たちの生活を考えていく予定である。

憲法の基本原理とその根底に流れる思想を学習した後、われわれの生活に深く関わりのある現代的なトピックを取り上げ、できる限りくらしとの関わりに留意しながら、主権者としての判断能力を身につけられるよう、学習していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

憲法を素材として、私たちの生活を身近な問題からグローバルなテーマまで多角的に理解できるようにする。憲法に関わる社会におけるさまざまな現象を科学的に理解し、そうした学修成果を社会で実践的に活用できるよう学修する。

到達目標

1. 憲法とは何か、また法令の基本構造、および法令における憲法の位置づけを理解する。
2. 憲法に規定されている基本的人権は何か、またその具体的内容について理解する。
3. 国の政治のしくみについて、憲法はどう規定しているかを理解する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	現在、日本国憲法に関してどのような問題が生じているのかについて学習した後、憲法とはどのような法かを学習する。立憲主義についても学習する。		予習90分：シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウト第1回に記載してある内容を読んで、復習する。

第2回	日本国憲法の制定過程について、第二次大戦後からGHQによる憲法案の提示、国会での審議等について、VTRに沿って学習する。		予習90分：ハンドアウト第2回および『目で見える憲法』p.viii、p.2～p.4を読む。を読む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	日本国憲法の基本原理である「国民主権」について、規定と意味について学習する。さらに、「基本的人権の尊重」に関する規定とその概要について学習する。	憲法の制定過程についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	予習90分：ハンドアウト第3回および『目で見える憲法』p.5～p.7を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある憲法や関連法令の条文を読んで、復習する。
第4回	日本国憲法の基本原理である「平和主義」について、規定内容を学習し、さらに日本の防衛政策の現状、安保関連法制との関係について、学習する。		予習90分：ハンドアウト第4回および『目で見える憲法』p.8～p.10を読む。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。
第5回	憲法が保障している法の下での平等の意義・内容について学習する。現実に生じている平等をめぐる問題について、判例を素材として検討する。		予習90分：ハンドアウト第5回および『目で見える憲法』p.23～p.29を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある憲法や関連法令の条文、判例、その他の内容を読んで、復習する。
第6回	信教の自由を中心に学習する。なぜ認められる必要があるのか、その歴史的沿革、内容について学習する。また、政教分離原則について学習し、信教の自由に関する判例と政教分離に関する判例を素材として、学習する。		予習60分：ハンドアウト第6回および『目で見える憲法』p.30～p.33を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	表現の自由の意義とその内容について、学習する。また、プライバシー権との関係についても学習する。さらに、表現の自由・プライバシー権をめぐる判例を検討する。	表現の自由とプライバシー権に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分：ハンドアウト第7回および『目で見える憲法』p.34～p.42、p.19～p.20を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、議論について、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第8回	憲法が保障する「人身の自由」について学習した後、刑法との関係について理解する。また、犯罪と刑罰制度の概要を学習し、特に死刑制度について、そ		予習90分：ハンドアウト第8回および『目で見える憲法』p.48～p.50を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記載してある憲法や関連法令の条文、

	<p>の現状とそれに対する議論を検討する。 中間確認テスト(40分間)を実施する。</p>		<p>その他の内容を読んで、復習する。 授業で取り上げた判例を読んで、復習する。</p>
第9回	<p>社会権と区分される人権について学習した後、「生存権」と「労働基本権」についてその概要を学習する。</p>		<p>予習90分：ハンドアウト第9回および『目で見える憲法』 p.51～p.52を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。 授業で取り上げた判例を読んで、復習する。</p>
第10回	<p>「労働者に関わる人権」と「教育を受ける権利」について学習し、理解する。</p>		<p>予習120分：ハンドアウト第10回および『目で見える憲法』 p.53～p.56を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。 授業で取り上げた判例を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。</p>
第11回	<p>国会のさまざまな権能、国権における地位について概観する。衆議院と参議院の関係、国会の意思決定過程、具体的な役割について学習する。さらに、選挙制度についても、学習する。</p>		<p>予習120分：ハンドアウト第11回および『目で見える憲法』 p.57～p.61、p.69～p.84を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。 授業で取り上げた判例を読んで、復習する。</p>
第12回	<p>内閣の地位・役割について、学習する。「議院内閣制」の内容とメリット、内閣総理大臣の選出方法、国務大臣の任免、さらに内閣の具体的な役割、意思決定の方法等について、主に学習する。 ※授業終了時にレポートを提出する。課題は「憲法に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」A4用紙1枚以上を条件とする。</p>		<p>予習120分：ハンドアウト第12回および『目で見える憲法』 p.85～p.92を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。 授業で取り上げた判例を読んで、復習する。</p>
第13回	<p>裁判のしくみについて、概要を学習した後、刑事裁判で取り入れられている裁判員制度について、VTRに沿って学習する。</p>		<p>予習60分：ハンドアウト第13回および『目で見える憲法』 p.93～p.103を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。</p>

第14回	憲法が規定する「象徴天皇」の地位・権能、またそれを規定している皇室典範について、学習する。また、地方自治に関する規定内容について学習し、さらに、憲法改正の手續、憲法改正に関する各政党・学界・国民の考え方について理解する。	裁判員裁判に関するVTRに対するコメントを発表する。	予習60分：ハンドアウト第14回および『目で見える憲法』p.104～p.113を読む。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。発表されたコメントについて、自分の意見と対照させる。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	これまでの学習について、全体をまとめ、憲法を取り巻く状況とその課題について検討する。最終確認テスト(40分間)を実施する。		予習90分：ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

『目で見える憲法』初宿正典・大沢秀介・他 編著（有斐閣）

参考書

『ポケット六法』山下友信・山口厚 編集代表（有斐閣）

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等） [25%]、レポート [25%]、確認テスト [50%] を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する フィードバックの方法

第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第11回の授業時に行う予定である。採点した答案は、第10回の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説を「桐生大学学生共有フォルダー」の「アート・デザイン学科1年・憲法」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館3階研究室11に取りに来ること。

履修のポイント

教員免許を取得しようとする学生は、必ず履修すること。

オフィス・アワー

月・水・金曜日, 11時～15時（授業時間以外）, 11号館3階研究室11

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C031

講義コード	40050001
講義名	マーケティング
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 飯島 正義	指定なし

授業の概要と教育目標

授業では、マーケティング一般の基礎知識を学ぶとともに、サービス業に係るマーケティングの内容についても学んでいきます。授業は講義形式で行いますが、授業内容の理解を確認するため「確認プリント」を実施する予定です。この科目は「商業施設補」の指定教科（商業一般に関する科目）の一つにもなっており、多様な社会ニーズ、変化に対応できる知識を修得していくことを目標としています。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連では、3. 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している、という項目と関連しています。本講義を通して、社会に関する多様な知識を修得していくことを目指します。

到達目標

1. マーケティングの基礎知識を修得できるようになる。
2. サービス業に係るマーケティングについても知識を深めることができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マーケティングとは何か オリエンテーション（授業内容、進め方、成績評価等） マーケティングとは何かについて学びます。	予習90分：シラバスをよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第2回	マーケティングの成立事情 マーケティングがアメリカで誕生した理由、また日本にどのように入ってきたのかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
	マーケティング戦略（1）環境分析	予習90分：プリント資料をよく読んで

第3回	自社を取り巻く外部環境、自社について分析する内部分析について学びます。	おくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第4回	マーケティング戦略（2）目標設定 自社の実績を踏まえて、どのような目標を立てたらよいかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第5回	マーケティング戦略（3）マーケティング・ミックス 製品・価格・流通・プロモーションの4つのマーケティング戦略をどのように組み合わせるかを学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第6回	マーケティング戦略（4）戦略の見直し マーケティング戦略を実施してみて、それをどのように評価し見直すかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第7回	マーケティング・ミックス（1）製品政策 どのような製品を開発したらよいか、ブランドの構築・維持にはどのようなことをすべきかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第8回	マーケティング・ミックス（2）価格政策 どのように価格を設定したらよいかについて学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第9回	マーケティング・ミックス（3）流通政策 流通経路の選択、SCM（サプライチェーン・マネジメント）について学びます。	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第10回	マーケティング・ミックス（4）プロモーション プロモーション（販売促進）の手法について学びます	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第11回	事例（1） 花王（クイックルワイパーの開発とマーケティング）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第12回	事例（2） ライオン（部屋干しトップの開発とマーケティング）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第13回	事例（3） パイロット（消えるボールペン・フリクションボールの開発）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第14回	事例（4） オリエンタルランド（東京ディズニーランド）	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。
第15回	事例（5） ユニクロとしまむら	予習90分：プリント資料をよく読んでおくこと。復習90分：授業の重要事項を整理・まとめておくこと。

教科書

使用しません。プリント資料を配布します。

参考書

必要に応じて紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
筆記試験70%、平常点（確認プリントの提出、授業への取り組みなど）30%

課題等に対する
フィードバックの方法

確認プリント等については、原則として次週返却します。

履修のポイント

授業のポイントの整理・まとめを着実に積み重ねてください。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C032

講義コード	40060001
講義名	アートと数学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

数学と美術やデザインとの関係を、数学的な視点から考えていく。そのため、この講義では作図や計算などを行いながら、数学的な知識の理解とそれが美術やデザインにどのように生かされているのかを具定例を通して見ていく。さらに広く現代の数学で話題となっていることも紹介していく。

そのため、数学的な知識の理解と美術やデザインとの関連性の理解を目標に、授業を進める。また、授業ではグループワークなどを実施し、Moodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業は、アート・デザイン学科のDP「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している」に関連している。数学を通して、我々の生活空間を見直すことで、多面的な見方を身に付け、専門科目での「対象の理解と多様な表現」に結びついていく。

到達目標

- ・ 数学的な規則が人間に与える影響、芸術やデザインに与える影響を理解し、説明できる
- ・ 自身の作品制作における表現に数学を活かすことができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業の内容、進め方、人間の感性と数学のイメージ		予習60分：シラバスを確認し、今までの経験から数学についてのイメージを考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第2回	数学と芸術・デザイン		予習60分：芸術の歴史と数学との関連を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う

第3回	点・線・円・多角形とデザイン 課題：幾何学的模様の図形を考える		予習60分：幾何学を利用したデザインを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う、課題を考える
第4回	パラドックス、ゲーム理論		予習60分：日常生活にある論理的な考え方とは何かを考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第5回	暮らしの中の統計		予習60分：身の回りにおける数値データを見つける 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第6回	黄金比と芸術、自然(1)		予習60分：芸術と黄金比の関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第7回	黄金比と芸術、自然(2)		予習60分：黄金比と自然との関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第8回	日本人と白銀比 課題：黄金比・白銀比を利用したデザインを考える		予習60分：白銀比と芸術・建造物との関係を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第9回	数の概念、四則演算とデザイン、自然数、奇数と日本人	グループワーク：数が持つイメージについて検討し、それを表現する	予習60分：慣例的に使用されている数の組合せなどを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第10回	素数とリーマン予想		予習60分：素数を利用したデザインを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第11回	次元と図形表現		予習60分：我々の住んでいる世界の次元について考える 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第12回	平面図形の移動、回転、鏡映、拡大・縮小、シンメトリー図形		予習60分：シンメトリーの図形や建造物などを調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第13回	タイル張り、エッシャー 課題：エッシャー風繰り返しデザインを作成		予習60分：エッシャーの作品を調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
第14回	グラフ理論、2次元閉曲面、ポアンカレ予想		予習60分：ポアンカレ予想について調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う

第15回	コッホ曲線、マンデルブロ集合		予習60分：フラクタル図形にどのようなものがあるか調べる 復習120分：配布資料を見直し、振り返りを行う
教科書			
「デザインのための数学」牟田淳（オーム社） その他資料を配布する			
参考書			
「アートのための数学」牟田淳（オーム社）、「雪月花の数学」桜井進（祥伝社）、「数学に隠された能力ーデザインの数理学」石田恭嗣（数研出版）			
成績評価の方法・基準			
単位認定60点以上。授業中の課題70%とレポート30%による評価、試験は行わない。			
課題等に対する フィードバックの方法			
課題を課し、そのフィードバックは、個別に返却もしくは、全体へのコメントという形で行うので、理解に役立ててください。			
履修のポイント			
苦手意識を持たないで、じっくりと考えることが大切です。評価は課題で行いますので、必ず提出してください。課題について自分で調べ、考えることを習慣にしてください。			
オフィス・アワー			
火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。			
科目区分			
基礎科目			
当該授業科目の教育課程内での位置づけ			
CD-C012			

講義コード	40070001
講義名	メディアと情報
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

コンピュータやインターネットの発展により、我々の生活は大きく様変わりし始めた。特にコミュニケーション方法や情報表現方法の進展は、我々人間の感覚にも大きな影響を与え、誰もが持っている「表現したい」という意識を大きく揺さぶり始めている。この講義では、コンピュータグラフィックスなどの情報処理技術、インターネットなどの通信技術の発展によってもたらされた人間の表現能力・コミュニケーション能力の拡大及び我々の生活やビジネスなどについて取り上げる。そして表現手段の基礎として、コンピュータグラフィックスを中心に様々なメディアを扱うための知識を修得し、自分自身の作品制作で選択・利用できるようになることを目的とする。また、授業ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業とアート・デザイン学科のDPとの関連は、「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」にある。我々の生活空間について、「環境」「コミュニケーション」をICTという側面から検討することで、多面的に理解する力を養い、専門科目での「対象の理解と多様な表現」を行うための基礎力となっている。

到達目標

- ・CGを始めとして、画像、映像など様々なメディアによるコミュニケーションや表現方法、システムについて理解し、説明できる
- ・デジタルメディアが人間の生活に与える影響、芸術やデザインに与える影響を敏感に感じ取り、自身の作品制作における表現に利用できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	コミュニケーション、コミュニケーションデザイン	グループディスカッション：コミュニケーションデザインに必要な要素	予習30分：シラバスの確認 復習120分：配布資料の復習とシステムの確認、授業の振り返

			り
第2回	視覚の現象性と視覚化 表現 形と色		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第3回	タイポグラフィ、ピクトグラムとダイアグラム	グループワーク：身の回りのピクトグラムについて討議、発表	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第4回	知的財産権とは	グループディスカッション：知的財産権に対する問題点と守るためにはどうすればよいかを話し合う	予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第5回	ハードウェア 課題：PCについて		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第6回	デジタルの基礎、アナログとデジタル、ソフトウェア		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第7回	2次元グラフィックス		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第8回	グラフィックスと写真撮影		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第9回	映像制作とCG作成、空間・位置の表現、立体の作成		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第10回	コンピュータアニメーション技法と映像表現技術		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り

			返り
第11回	3次元CGとコンピュータアニメーション (レンダリング、シェーディングなど)		予習90分：教科書・Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第12回	インターネットとその技術的な基礎		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第13回	Webにおける情報の構造など		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第14回	日常生活・ビジネスの変化など情報技術の進展による変化について		予習90分：Moodle上の資料の確認 復習90分：配布資料の復習と授業の振り返り
第15回	授業のまとめと確認のための試験		予習90分：授業全体の疑問点整理 復習90分：授業全体を通しての振り返り

教科書

「入門CGデザイン 改訂新版 CG制作の基礎」(財団法人 画像情報教育振興協会)

参考書

「入門Webデザイン」「入門マルチメディア ITで変わるライフスタイル」「Webデザイン」「デジタル映像表現」(財団法人 画像情報教育振興協会)

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業中に課す振り返り課題など40%、確認のための試験60%。

課題等に対する フィードバックの方法

毎回の授業を振り返りとして、重要ポイントをMoodleの掲示板に記載してもらい、フィードバックは全体へのコメントとしておこなう。
それ以外の課題も個別もしくは全体へのコメントとしておこなうので、参考にしてください。

履修のポイント

コンピュータやインターネットに興味を持ち、積極的に関わっていくことが必要です。なお、この科目は「教職科目」「商業施設士補」の科目であるため、履修には注意をすること。
日々の評価点を積み重ねて評価しますので、公欠を含め、欠席した場合は資料や課題の確認をしてください。

オフィス・アワー

火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

講義コード	40080001
講義名	生活と環境
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

地球環境問題は多岐にわたると同時に、私たちのすぐ身近に存在している。大気や水質の変化、土壌の汚染と劣化、生態系の危機など、日々の新聞にいずれかの環境問題の記事が必ず見られる。この講義では、私たちの生活のなかで生じている環境問題を、大気や水、土壌の汚染、私たちの社会がかかえる廃棄物・エネルギー問題、自然環境の変化など、個々の話題に着目して論じる。同時に、大気汚染、生態系の危機、エネルギー問題などについて、問題点を明確にし、解決策を探る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

今日、世界規模で生じている地球環境問題について興味を持続し、たとえば廃棄物の削減や省エネルギーを意識した活動など、社会に出ても環境問題を考えた生き方ができる人材を育てる。アート・デザイン学科のディプロマポリシーにある「環境」や「コミュニケーション」の側面から、人間の生活空間について多面的に理解する能力を養う。

到達目標

今後、ますますクローズアップされてくる地球環境問題について、すこしでも地球環境の現状への興味をかきたて、これから社会に出たあとも環境に配慮した生活ができるようにする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブ ラーニングの 内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	環境問題と公害問題について違いを理解する。過去に起こった大気汚染による公害問題を知る。また、これに関連して、大気汚染についてどんな法律があるのかを見ていく。		復習としてテキスト12頁～14頁、55頁～60頁を見ておく(90分)。19頁2.1の問題を考える(90分)。
	橋	中国から日本へ渡ってくるの大気	大気汚染物質にはどのよう	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキス

第2回	爪博幸	汚染物質について知る。大気汚染の原因となる物質について理解する。	なものがあるか意見を出し合い、まとめる。	ト60頁～63頁を見ておく。復習として、67頁の問題をやってみる。次の授業時に解答する。
第3回	橋爪博幸	2011年3月の東日本大震災では多くの人命が失われ、同時に福島原子力発電所の事故で放射能汚染が広がった。原子力発電所の事故により、どのような環境汚染が広がることになったのか、その概略を見ていく。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前配布プリントを読んでおく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。
第4回	橋爪博幸	地球規模で気候変動が生じていることや、CO2が増加している事実をデータで知り、今後予想される災害や海洋の変化などについて知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト101頁～105頁を見ておく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。99頁7.9の問題を解いてみる。
第5回	橋爪博幸	生態系という概念を理解し、日本列島の自然環境の多様性に触れる。	日本列島に見られる森林生態系について意見を出し合い、森林区分の地図を作成する。	予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト111頁～121頁を見ておく。復習は122頁9.3について調べまとめる。
第6回	橋爪博幸	廃棄物量の現状や循環型社会を目指す法整備が進められていることを知る。包装容器の再利用の道を探る。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト123頁～125頁を見ておく。江戸のリサイクル社会についてまとめる（141頁～147頁）。
第7回	橋爪博幸	商品等を包むパッケージについて、さまざまな機能、デザイン、素材について学ぶ。＜アクティブラーニング＞パッケージの再利用、活用事例について考える。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト126頁～128頁、133、134頁を見ておく。復習として140頁、10.8をやってみる。
第8回	橋爪博幸	枯渇性エネルギー、再生可能エネルギーにはどのようなものがあるかを知る。電気やガス、ガソリンといったエネルギー源の消費推移等を知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト106頁～108頁を見ておく。復習は148頁11.4を考えてみる。
第9回	橋爪博幸	WWFが発行するレポートに載る「エコロジカルフットプリントの世界地図」をもとに、これから社会をつくる私たちが、目指すべき人間社会はどのようなものであるかを考える。	エコロジカルフットプリントの世界地図を学生みなで完成させる。	予習として配布プリントの穴埋めをしておく（90分）。テキスト6頁～9頁を読んでおく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する（90分）。
第10回	橋爪博幸	世界の不平等を理解し、発展途上国といわれる国々でとりかえしのつかない破壊が生じている現状を		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト4頁～5頁を見ておく。復習は配布プリントを見直し、不

	幸	見ていく。		足があれば調べてプリントに記入する。
第11回	橋爪博幸	野生生物保護や廃棄物の越境を防ぐための国際的な取り決めを知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト15頁～19頁を見ておく。復習は配布プリントを見直し、不足があれば調べてプリントに記入する。
第12回	橋爪博幸	地球上における淡水の割合を知り、淡水や海水がひどく汚染されている現実を知る。水質汚染を防ぐ方法について考える。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト41頁～49頁を見ておく。40頁、3.1の問題を解いてみる。
第13回	橋爪博幸	世界第4位の湖であったアラル海が消滅の危機にある。人間の事業活動が地球規模で環境破壊を招くことを知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前に配布プリントの穴埋めをしておく。復習はアラル海の消滅までの経緯をまとめる。
第14回	橋爪博幸	アジアやアフリカなど、世界各地で進行する砂漠化の現状を知る。		予習の時間90分、復習の時間90分。予習は事前にテキスト1頁～4頁を見ておく。復習は9頁、1.6の問題について記述してみる。
第15回	橋爪博幸	現代のモノと情報があふれる人間社会が抱える環境問題をふり返り、人間らしく生きるために必要な事物は何であるかを考える。		これまで15回の講義を振り返り、大気汚染や気候変動など項目ごとにノートにまとめる(180分)。

教科書

鈴木孝弘『新しい環境科学』改訂2版(駿河台出版)

参考書

講義のなかで必要なときに紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上 課題の提出(20%)、期末試験(80%)をもとに総合的に評価する。

課題等に対する フィードバックの方法

提出された課題は、こちらでチェックし、記述レポート等は添削し、補足説明を付して返却する。また細かくチェックできないときはレポート等を授業時間内で返却し、解説し、場合によっては模範解答を掲示、または配布する。

履修のポイント

求められた配布プリントの提出や、レポート課題はかならず提出すること。環境問題に関するニュースや新聞記事等を読み理解しておく。配布プリントは記入漏れがないようにしておく。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーとする。9号館3階の第10研究室に来ること。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C013

講義コード	40090001
講義名	健康とスポーツ
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 武井 英夫	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業は、数種目の運動・スポーツと講義から構成されている。運動・スポーツの基本スキルを身につけ、練習やゲームを通して運動・スポーツの楽しさを味わいながら授業を進めていく。そして、健康の維持・増進を図るためには、他者との関わりの中でコミュニケーションをとりながら、運動・スポーツを継続することの必要性を学ぶ。なお本科目は、運動・スポーツに科学的に理解して、基本スキルの習得と生涯にわたって運動・スポーツに取り組もうとする意識を高めることを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

桐生大学短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得していることがもとめられており、運動・スポーツの理解や実践を通して、その目標に必要な知識や体力を養う。

到達目標

1. 自己の体力レベルや健康状態を把握することができる。
2. 運動・スポーツの基礎知識、各スポーツ種目の歴史、基本スキルを習得することができる。
3. 自らコミュニケーションをとって活動することができる。
4. 生涯にわたって運動・スポーツに取り組もうとする資質を身につけることができる。
5. 種目の得意・不得意にとらわれず、運動・スポーツを楽しむことができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	武井英夫	オリエンテーション (授業の概要、成績評価、諸注意など) 体育概論① (運動・スポーツの		予習60分：シラバスを読む。「生活習慣病とは何か」について調べる。 復習60分：配布資料を見直す。

		すすめ)		
第2回	武井英夫	バドミントン① (バドミントンの歴史、ルールの確認とシングルス)		予習60分：バドミントンの歴史やルールを調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第3回	武井英夫	バドミントン② (基本スキルの習得とダブルスのゲーム)		予習60分：バドミントンのダブルスのゲーム方法を調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第4回	武井英夫	バドミントン③ (シングルスやダブルスのゲーム)	各自が作戦を立ててゲームに取り組む。	予習60分：バドミントンのシングルスやダブルスの戦術を調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第5回	武井英夫	フットサル① (フットサルの歴史とルール把握、簡易ゲーム)		予習60分：フットサルの歴史やルールを調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第6回	武井英夫	フットサル② (基本スキルの習得とゲーム)		予習60分：フットサルの基本スキルについて調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第7回	武井英夫	フットサル③ (基本スキルの習得とリーグ戦のゲーム)	各チームごとに話し合い、ポジションやフォーメーションを決め、作戦を立ててゲームに取り組む。	予習60分：フットサルの戦術について調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第8回	武井英夫	ソフトバレーボール① (ソフトバレーボールの歴史とルール把握、簡易ゲーム)		予習60分：ソフトバレーボールの歴史やルールを調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第9回	武井英夫	ソフトバレーボール② (基本スキルの習得とルール把握、ゲーム)		予習60分：ソフトバレーボールの基本スキルを調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第10回	武井英夫	ソフトバレーボール③ (リーグ戦のゲーム)	各チームごとに話し合い、ポジションを決め作戦を立ててゲームに取り組む。	予習60分：ソフトバレーボールの戦術やゲーム方法について調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第11回	武井英夫	バレーボール (バレーボールの歴史、フォーメーションの理解、ゲーム)		予習60分：バレーボールの歴史、フォーメーションについて調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第12回	武井	ネットボール① (ネットボールの		予習60分：ネットボールの歴史、行われている国、ルールについて調べ

	英夫	歴史とルール把握、ゲーム)		る。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第13回	武井英夫	ネットボール② (基本スキルの習得とゲーム)	各チームごとに話し合い、ポジションの決定や作戦を立ててゲームに取り組む。	予習60分：ネットボールの基本スキルと戦術について調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第14回	武井英夫	ユニホック (ユニホックの歴史、基本スキルの習得、ルール理解、ゲーム)		予習60分：ユニホックの歴史、基本スキルやルールについて調べる。 復習60分：本日行った運動について確認する。
第15回	武井英夫	体育概論① (生涯スポーツと競技スポーツ、学校スポーツ)		予習60分：生涯スポーツと競技スポーツ、学校スポーツの共通点と相違点を調べる。 復習60分：配布資料を見直す。

教科書

特定の教科書は使用しない。資料は必要に応じて配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

実単位認定60点以上
実技試験40%、課題・レポート20%、授業への参加度40%

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。特に指定はしませんが、季節にあった運動着、運動靴（体育館用シューズ、グラウンド用シューズ）を準備してください。

オフィス・アワー

講義前後に、適宜受け付けます。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C034

講義コード	40100001
講義名	コンピュータ基礎演習I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチエル	指定なし

授業の概要と教育目標

情報技術（IT）革命でビジネスや社会は大幅に変わり、現代社会ではコンピュータリテラシーが必要になった。そこで、この科目では、Word, Power Pointやインターネットの実践的な知識と技能の習得をめざす。
この授業は商業施設士補資格の指定教科となっている。アプリケーションソフト（Word, PowerPoint）やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目標とする。
これにおいて情報処理能力が求められているため、文章作成やプレゼンテーションに関する知識や技術を養うことを目指ものとする。

到達目標

- ①アプリケーションソフト（Word, Power Point）の基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
- ②インターネットを利用した情報検索や情報発現を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、インターネットの基礎、メールアドレスの設定、情報モラル		予習90分：PCの操作法を再確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
第2回	Word 2016の画面構成、日本語入力システム、文字の入力、		予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を

	文書の入力、保存と読み込み		再確認する。
第3回	編集機能 1		予習90分：教科書3,4章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	編集機能 2		予習90分：教科書4章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	クリップアート、ワードアート、図形描画		予習90分：教科書5章 (p.95-117)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	スマートアート、段組み・ドロップキャップ		予習90分：教科書5章(p.118-127)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	履歴書作成、はがき作成、グラフの挿入		予習90分：教科書6章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	レポートの作成		予習90分：前回は配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	WORDによるプレゼンテーション		予習90分：教科書7章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する
第10回	1回目～9回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認課題（応用課題）		予習90分：教科書1章-7章で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった部分を再確認する
第11回	インターネットの概要、情報検索、情報と社会、情報とセキュリティ		予習90分：前回は配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	プレゼンテーションの基本、スライドの作成		予習90分：前回は配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	インターネットトラブル事例集を参考に、プレゼンするテーマをPowerPointを用いて、電子紙芝居を作成する。 Group Work	ディスカッション&コラボレーション	予習90分：前回は配布された資料を読む。インターネットトラブル事例集を参考に、プレゼンするテーマを考える。
第14回	プレゼンテーションの実施 Group Work、（発表会は必修となります。）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第15回	プレゼンテーションの実施 Group Work、（発表会は必修となります。）		予習90分：プレゼンテーションの練習をする。

教科書

30時間でマスター Word2019 実教出版 ISBN：978-4407348361

実教出版編集部

成績評価の方法・基準

単位認定：60 点以上

課題 45%, 応用課題 15%, プレゼンテーション 40%で評価する。

* 定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

- ① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
- ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）

メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C014

講義コード	40110001
講義名	コンピュータ基礎演習II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

情報技術（IT）革命でビジネスや社会は大幅に変わりました。現代社会ではコンピュータリテラシーが必要になってきました。ここでは、Excel表計算処理をできるよう、知識と実技問題を通じて学ぶ実習を行う。

この授業は商業施設士補資格の指定教科となっている。表計算ソフト（Excel）に関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーを向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、表計算ソフトに関する知識や技術を養うことを目指ものとする。

到達目標

アプリケーションソフト（Excel）の基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。

- ① データを入力し、計算機能を使える能力
- ② 表やグラフを作成できる能力
- ③ データ分析ができる能力

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	Excelの基礎知識		予習90分：教科書1章、2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.4-44を見直す。

第2回	合計と平均の計算 (SUM・AVERAGE関数) 最大・最小 (MAX・MIN関数)		予習90分：教科書3章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第3回	データのカウント (COUNT・COUNTA関数) データの四捨五入・切り上げ・切捨て (ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数)		予習90分：教科書4章(例題8以外)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	棒グラフ、積上げグラフ、折れ線グラフ、円グラフ		予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	3Dグラフ、複合グラフ、ドーナツグラフ		予習90分：教科書6章(p.124-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	レーダーチャートグラフ、XYグラフ、絵グラフ		予習90分：教科書6章(p.138-144)を読む。 復習91分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	条件の判定 (IF関数) とネスト		予習90分：教科書4章、例題8 (p.94-96)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	データの並べ替え、検索と置換、抽出		予習90分：教科書7章、(p.146-168)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	条件の書き方、データの集計		予習90分：教科書7章、(p.169-179)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	データベース関数		予習90分：教科書8章、(p.202-210)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
			予習90分：教科書8章、(p.180-

第11回	関数 (RANK,LARGE,SMALL,VLOOKUP,HLOOKUP)		185)を読む。 復習90分：授業で 学習した内容を再確 認する。
第12回	①インフォグラフィックとは ② 関心のあるテーマを考えて、オープン・ データを用いて、 EXCELでインフォグラフィックを作成。	アクティブ ラーニング： 「Think」考 え・「Search」 検索・「Do」 作成・実行)	予習90分：イン フォグラフィックに ついてインターネッ トで調べる。
第13回	Excelを用いて、インフォグラフィックの作 成		予習90分：収集し たデータを分析し、 ストーリーを考える
第14回	1 回目～11 回目の授業についての総括を行 い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。		予習90分：教科 書3-8章を見直す。 復習90分：回答で きなかった問題を再 確認する
第15回	プレゼンテーション(必修) (作成したインフォグラフィックを紹介・ 説明する)		予習90分：第13回 の授業で学習した内 容を再確認する。

教科書

30時間でマスター Excel2019 (Windows10対応) 実教出版 ISBN:978-4-407-34837-8
実教出版編集部

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 10%, 実技試験 50%, 応用課題 40%で評価する。

* 定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

- ① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
- ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

- ① 上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
- ② 「コンピュータ基礎演習1」を履修済みであることが望ましい。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C035

講義コード	40111001
講義名	データサイエンス
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

世界ではデジタル化・グローバル化が進み、社会・産業が大きく変化してきている。特に様々なものがデータでつながるSociety5.0の社会においては、データサイエンス・AIはデジタル社会の基礎知識として捉えられ、すべての学生が身に付けておくべき素養である。そのため、この授業ではデータサイエンスの基礎的な知識や、活用事例、演習を通して、データサイエンス・AIを日常生活や仕事等の場で扱うことができる基礎的な素養を身に付け、人間中心のAI社会において、適切に判断、活用できるようになることを目指す。
 なお、授業にはMoodleを活用して、グループワークなどを行う予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業とアート・デザイン学科のDPとの関連は、「「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解」であり、数値や図表として表現されているデータの持っている意味を正しく把握し、それが社会でどのように活用されているかを多面的に理解する力を身に付ける。

到達目標

- ・データサイエンスを学ぶ意義を理解する
- ・社会でデータサイエンスがどのように活用されているか説明できる
- ・データを適切に読み解き、判断し、活用できる

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	データサイエンスの概要		予習90分：教科書の第1章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第2回	データ分析の基礎		予習90分：教科書の第2章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
			予習90分：教科書の第3章を読む

第3回	データサイエンスの手法		復習90分：教科書および配布教材の見直し
第4回	データサイエンスの応用事例 (1) マーケティングの事例など		予習90分：教科書の第5章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第5回	データサイエンスの応用事例 (2) Webサービスでの事例など		予習90分：教科書の第5章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第6回	データ分析演習 (1)	RESASやe-Statなどのデータを利用して、実際にグループで演習を行う予定	予習90分：教科書の第4章を読み、Excelの使い方を復習 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第7回	データ分析演習 (2)	RESASやe-Statなどのデータを利用して、実際にグループで演習を行う予定	予習90分：教科書の第4章および配布資料で、データ分析手法について確認 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第8回	データ分析のまとめ	グループでまとめた内容について、一部発表予定	予習90分：グループ課題について確認 復習90分：授業全体の振り返り

教科書

「データサイエンス入門」(学術図書出版) 竹村彰通他編

参考書

適宜紹介する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業中に課すグループ課題の内容と取組70%、その他の課題30%。

課題等に対する フィードバックの方法

課題については、お互いに評価をしてもらい、その結果について、コメントをします。

履修のポイント

Moodleを活用し、グループで課題を進めたり、お互いに評価したりしますので、積極的に取り組んでください。
また、日々の生活における活用事例などを意識してみることも重要です。

オフィス・アワー

火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。

科目区分

基礎科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R036

講義コード	40120001
講義名	デザイン基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点、線、面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、3種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

構成力とイメージの表現力を習得することが、到達目標である。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、制作、個別指導	参考作品を紹介しながら、デザイン基礎の概念や造形理論、色、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分： 必要な画材・素材の準備
第2回	大日向	制作、個別指導		復習45分：

	基子			造形演習の制作
第3回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第4回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第5回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第6回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第7回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第8回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第9回	大日向基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復習45分：造形演習の制作
第10回	大日向基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復習45分：講評会の振り返り
第11回	大日向基子	色彩理論、画材説明、演習準備、制作、個別指導		予習45分：必要な画材・素材

	子			の準備
第12回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第13回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第14回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第15回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第16回	大日向基子	制作、個別指導		復習450分：色彩演習の制作
第17回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第18回	大日向基子	制作、個別指導、作品提出		復習45分：色彩演習の制作
第19回	大日向基子	構成理論、参考作品紹介、水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース		予習45分：必要な画材・素材の準備
第20回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース		復習45分：構成演習の制作
第21回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
	大	水張りやエスキース等		復

第22回	日向 基子	を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		習45分： 構成演習 の制作
第23回	大日向 基子	制作、個別指導		予 習45分： 構成演習 の制作
第24回	大日向 基子	制作、個別指導		復 習45分： 構成演習 の制作
第25回	大日向 基子	制作、個別指導		予 習45分： 構成演習 の制作
第26回	大日向 基子	制作、個別指導		復 習45分： 構成演習 の制作
第27回	大日向 基子	制作、個別指導		予 習45分： 構成演習 の制作
第28回	大日向 基子	制作、個別指導		復 習45分： 構成演習 の制作
第29回	大日向 基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予 習45分： 講評会準備
第30回	大日向 基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復 習45分： 講評会の 振り返り

使用しない
参考書
ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 造形演習30% 色彩演習10% 構成演習40% 授業への参加度20% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
前提講義や講評会での意見・感想・付箋コメント等、フィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
音楽や文学など、他分野の「構成」についても観察してみる。主体的に制作をおこない、構成力を高める。
オフィス・アワー
水曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C111

講義コード	40120002
講義名	デザイン基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

美しさを「造形的にバランスのとれたもの」と捉えた場合、色、かたち（点、線、面）、質を意識しながら、創出されたイメージが美しく表現（具現化）できるような構成力を養うことを目指し、演習を行なう。本科目では、3種類の演習課題を通して、学生それぞれの美に対する感覚を追求すると共に、構成力や支持体、絵の具の扱い方に対する基礎的な知識・技術を深めることを、教育の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」との関連として、造形的にバランスのとれた美しいデザインを創出する力を養う。

到達目標

構成力とイメージの表現力を習得することが、到達目標である。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備	参考作品を紹介しながら、デザイン基礎の概念や造形理論、色、技法、画材についての説明と共に、学生の意見や感想を引き出す。	予習45分： 必要な画材・素材の準備
第2回	大日向	制作、個別指導		復習45分：

	基子			造形演習の制作
第3回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第4回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第5回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第6回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第7回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：造形演習の制作
第8回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：造形演習の制作
第9回	大日向基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予習45分：講評会準備
第10回	大日向基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復習45分：講評会の振り返り
第11回	大日向基子	色彩理論、画材説明、演習準備、制作、個別指導		予習45分：必要な画材・素材

	子			の準備
第12回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第13回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第14回	大日向基子	制作、個別指導		復習45分：色彩演習の制作
第15回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第16回	大日向基子	制作、個別指導		復習450分：色彩演習の制作
第17回	大日向基子	制作、個別指導		予習45分：色彩演習の制作
第18回	大日向基子	制作、個別指導、作品提出		復習45分：色彩演習の制作
第19回	大日向基子	構成理論、参考作品紹介、水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース		予習45分：必要な画材・素材の準備
第20回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース		復習45分：構成演習の制作
第21回	大日向基子	水張りやエスキース等を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		予習45分：構成演習の制作
	大	水張りやエスキース等		復

第22回	日向 基子	を含む演習の準備、構成する素材をリサーチ、決定、トレース、制作、個別指導		習45分： 構成演習 の制作
第23回	大日向 基子	制作、個別指導		予 習45分： 構成演習 の制作
第24回	大日向 基子	制作、個別指導		復 習45分： 構成演習 の制作
第25回	大日向 基子	制作、個別指導		予 習45分： 構成演習 の制作
第26回	大日向 基子	制作、個別指導		復 習45分： 構成演習 の制作
第27回	大日向 基子	制作、個別指導		予 習45分： 構成演習 の制作
第28回	大日向 基子	制作、個別指導		復 習45分： 構成演習 の制作
第29回	大日向 基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	予 習45分： 講評会準備
第30回	大日向 基子 松村誠一	制作、個別指導	講評会、作品提出 作品の発表とそれに対する意見・感想等のフィードバック。配布された付箋にコメントを記し、美しいと思う作品に投票する過程で、作品に対する客観的な視点や、比較し言語化する力を養う。	復 習45分： 講評会の 振り返り

使用しない
参考書
ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 造形演習30% 色彩演習10% 構成演習40% 授業への参加度20% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
前提講義や講評会での意見・感想・付箋コメント等、フィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。
履修のポイント
音楽や文学など、他分野の「構成」についても観察してみる。主体的に制作をおこない、構成力を高める。
オフィス・アワー
水曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C111

講義コード	40130001
講義名	絵画基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では静物画や風景、人物画を描き絵画の基礎を学習します。静物画では器物やレンガ、植物や果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で薄く着色する「鉛筆淡彩」という技法を学びます。また、人物クロッキーや室内風景を写真などの活用も図りながら制作します。そして描くことの基礎的な力を身につけて、優れたデザイナーやアーティストを育成することを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、絵を描く基礎を学習することは必要不可欠です。描くことの基礎力を見につけることは、作品制作、創作活動の基本となるところです。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、絵を描くことを通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

描くことの基礎的な力を身につけて心豊かな人を育て、優れたデザイナーやアーティストを育成することを目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。		予習45分：クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。	描写した作品をディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。

第3回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・B3パネルに水張りを行う。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第4回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第5回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第7回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第9回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第11回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第13回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・クロッキー帳にエスキース、構図を決める。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第14回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・B3ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第15回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
	遠近法を理解するための		

第16回	室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第17回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第19回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第21回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B3パネル水張りを行う。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第23回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第25回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第26回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第27回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第28回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第29回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する	各自の作品を鑑賞し、講評、ディス	復習45分：指導を参考に素描

る。
講評、作品提出

カッション、意見交
換する。の練習をする。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上
課題 80%、授業への参加度 20%

課題等に対する
フィードバックの方法

実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却しま
す。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30~13:20 (昼休み)
1号館111研究室で行う。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C112

講義コード	40130002
講義名	絵画基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では静物画や風景、人物画を描き絵画の基礎を学習します。静物画では器物やレンガ、植物や果物などを組み合わせたモチーフを鉛筆でデッサンし、アクリル系水彩絵具で薄く着色する「鉛筆淡彩」という技法を学びます。また、人物クロッキーや室内風景を写真などの活用も図りながら制作します。そして描くことの基礎的な力を身につけて、優れたデザイナーやアーティストを育成することを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、絵を描く基礎を学習することは必要不可欠です。描くことの基礎力を見につけることは、作品制作、創作活動の基本となることです。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、絵を描くことを通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

描くことの基礎的な力を身につけて心豊かな人を育て、優れたデザイナーやアーティストを育成することを目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。		予習45分：クロッキー帳などに身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第2回	人物の動きやプロポーションを短時間で把握し、素早く描写することを試みる。	描写した作品をディスカッション、意見を交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。

第3回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・B3パネルに水張りを行う。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第4回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第5回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第6回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第7回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第8回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第9回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着色する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第10回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第11回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第12回	器物やレンガなどをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第13回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・クロッキー帳にエスキース、構図を決める。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第14回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・B3ケント紙に構図を決め、鉛筆で下描きをする。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第15回	遠近法を理解するための室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第16回	遠近法を理解するための室内風景画制作		復習45分：指導を参考に素描

	・鉛筆で描写する。		の練習をする。
第17回	遠近法を理解するための 室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第18回	遠近法を理解するための 室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第19回	遠近法を理解するための 室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第20回	遠近法を理解するための 室内風景画制作 ・鉛筆で描写する。 講評、作品提出	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第21回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・B3パネル水張りを行う。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第22回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、構図を決める。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第23回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・構図を決め、鉛筆で下描きをする。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第24回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第25回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第26回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・鉛筆で描写する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第27回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第28回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		復習45分：指導を参考に素描の練習をする。
第29回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。		予習45分：身近なものを素描し、描くことの基礎力を身につける練習をする。
第30回	植物や果物などをモチーフにした静物画制作 ・アクリル絵具で着手する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考に素描の練習をする。

講評、作品提出

換する。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
課題80%、授業への参加度20%

課題等に対する
フィードバックの方法

実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30~13:20 (昼休み)
1号館111研究室で行う。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C112

講義コード	40140001
講義名	工芸基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での工芸素材に関わる調査の実務経験を生かして、ものづくりに対する学生の豊かな発想力と表現力を育てる
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である。生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない、素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する。制作過程では、生活空間で使用する箸やカトラリーを題材に、機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり、理想とする造形を想像して、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。作品の考察と教員の講評からは、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が電動鋸や卓上ボール盤などの機械、彫刻刀や小刀などの道具を目的に応じて使い分けることができる
また、自身の作品に対し設定したテーマや使用した素材、技法について説明することができるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
			予習：45分 授業で講義するセ

第1回	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）		クションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	箸の制作 （デザイン作成、制作プランを立てる）		上記参照
第3回	箸の制作 （糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	箸の制作 （削り出し）		上記参照
第5回	箸の制作 （削り出し）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	同上		上記参照
第7回	箸の制作 （研磨、塗装）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第8回	同上		上記参照
第9回	箸の制作 講評会	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	カトラリー/プレートの制作 ガイダンス、デザイン作成		上記参照
第11回	カトラリー/プレートの制作 （デザイン作成）		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセ

			クションの復習をおこなう
第12回	同上		上記参照
第13回	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	カトラリー/プレートの制作 (デザイン作成、削り出し)		上記参照
第15回	カトラリー/プレートの制作 (削り出し)		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第16回	同上		上記参照
第17回	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第18回	同上		上記参照
第19回	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第20回	同上		上記参照
第21回	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第22回	同上		上記参照
第23回	同上		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう

			復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第24回	同上		上記参照
第25回	カトラリー/プレートの制作 (研磨)		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	同上		上記参照
第27回	カトラリー/プレートの制作 (塗装)		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第28回	同上		上記参照
第29回	カトラリー/プレートの制作 講評会、作品撮影	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回	同上	同上	

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上

1. 学習態度・授業への参加度 30%
 2. 作品点（完成度・オリジナリティ・提出期限）／70% ※課題提出80%以上が評価対象
- 上記1および2の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位認定する
※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。

※材料費が¥1500円程度かかります

オフィス・アワー

月・火 16：30-18：10 113研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C113

講義コード	40140002
講義名	工芸基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での工芸素材に関わる調査の実務経験を生かして、ものづくりに対する学生の豊かな発想力と表現力を育てる
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、「木」などの自然素材を用いた実用的な生活用品の制作を通して学びを得る授業である。生活空間で使用される身近な「工芸」を題材に3課題の制作をおこない、素材を活かした機能性と審美性（美術的な美しさ）が両立した人々の生活を豊かにしていくための「ものづくり」を実践する。制作過程では、生活空間で使用する箸やカトラリーを題材に、機能を意識した素材の可能性を自分の感覚でさぐり、理想とする造形を想像して、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。作品の考察と教員の講評からは、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力につながる示唆を得る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、生活空間で使用される身近な「工芸」を題材としている。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、今後の「ものづくり」に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が電動鋸や卓上ボール盤などの機械、彫刻刀や小刀などの道具を目的に応じて使い分けことができる
また、自身の作品に対し設定したテーマや使用した素材、技法について説明することができるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
			予習：45分 授業で講義するセ

第1回	道具についての説明（道具の使い方、木の種類・ワックスの種類等）		クシヨンの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクシヨンの復習をおこなう
第2回	箸の制作 （デザイン作成、制作プランを立てる）		上記参照
第3回	箸の制作 （糸鋸または電動ノコギリを用い材料を切り出す）		予習：45分 授業で講義するセクシヨンの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクシヨンの復習をおこなう
第4回	箸の制作 （削り出し）		上記参照
第5回	箸の制作 （削り出し）		予習：45分 授業で講義するセクシヨンの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクシヨンの復習をおこなう
第6回	同上		上記参照
第7回	箸の制作 （研磨、塗装）		予習：45分 授業で講義するセクシヨンの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクシヨンの復習をおこなう
第8回	同上		上記参照
第9回	箸の制作 講評会	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクシヨンの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクシヨンの復習をおこなう
第10回	カトラリー／プレートの制作 ガイダンス、デザイン作成		上記参照
第11回	カトラリー／プレートの制作 （デザイン作成）		予習：45分 授業で講義するセクシヨンの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクシヨンの復習をおこなう

			おこなう
第12回	同上		上記参照
第13回	カトラリー／プレートの制作 (デザイン作成、削り)		予習：45分 授業で講義するセ クションの予習を おこなう 復習：45分 授業で講義したセ クションの復習を おこなう
第14回	研磨		上記参照
第15回	カトラリー／プレートの制作 (削り)		予習：45分 授業で講義するセ クションの予習を おこなう 復習：45分 授業で講義したセ クションの復習を おこなう
第16回	同上		上記参照
第17回	同上		予習：45分 授業で講義するセ クションの予習を おこなう 復習：45分 授業で講義したセ クションの復習を おこなう
第18回	同上		上記参照
第19回	同上		予習：45分 授業で講義するセ クションの予習を おこなう 復習：45分 授業で講義したセ クションの復習を おこなう
第20回	同上		上記参照
第21回	同上		予習：45分 授業で講義するセ クションの予習を おこなう 復習：45分 授業で講義したセ クションの復習を おこなう
第22回	同上		上記参照
第23回	同上		予習：45分 授業で講義するセ クションの予習を おこなう 復習：45分 授業で講義したセ

			クションの復習をおこなう
第24回	同上		上記参照
第25回	カトラリー／プレートの制作 (研磨)		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第26回	同上		上記参照
第27回	カトラリー／プレートの制作 (塗装)		予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第28回	同上		上記参照
第29回	カトラリー／プレートの制作 講評会、作品撮影	学生各々がプレゼンテーションし、教員の講評と学生同士が意見交換する	予習：45分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：45分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第30回		同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上

1. 学習態度・授業への参加度 30%
 2. 作品点（完成度・オリジナリティ・提出期限）／70% ※課題提出80%以上が評価対象
- 上記1および2の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位認定する

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。

※材料費¥1,500程度かかります

オフィス・アワー

月・火 16：30-18：10 113研究室

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C113

講義コード	40150001
講義名	立体造形基礎（前期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を製作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
 後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。

教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
 本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態摸写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成力の習得を目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション・スケッチ		予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	"		"
第3回	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第4回	"		"
第5回	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	"		"
第7回	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	"		"
第9回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	"		"
第11回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	"		"
第13回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	"		"
第15回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	"		"
第17回	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	"		"
第19回	抽象作品制作のためのプランニング		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	"		"
第21回	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	"		"
第23回	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
24	"		"

第 回			
第25回	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	"		"
第27回	完成・提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	"		"
第29回	講評	各自作品についてプレゼンテーションを行う。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	"		"

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題評価70% 平常点評価30%。
本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。

課題等に対する フィードバックの方法

各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。

履修のポイント

積極的な姿勢で授業に臨んでください。

オフィス・アワー

金曜日 10:50～11:00 場所：5号館 501教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C114

講義コード	40150002
講義名	立体造形基礎（後期）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 森村 均	指定なし

授業の概要と教育目標

前半は自由に表現できる素材として粘土を使用して塑像を製作し、具象的な造形力と立体感覚を身につけます。
 後半は素材の特性を生かした抽象作品を制作し、立体造形の基本と表現性の習得を目指します。

教育目標としては、立体的なものの見方や、三次元の表現を体験する事で造形力の幅を広げる事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
 本講座で学ぶ立体造形は、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

前半の具象表現に於いては、正確な形態摸写のみならず、生命感の表現までを到達目標とし、後半の抽象表現ではメッセージ性のある空間構成力の習得を目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション・スケッチ		予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	"		"
第3回	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習

第4回	"	"	"
第5回	デッサンによる研究		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	"	"	"
第7回	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	"	"	"
第9回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	"	"	"
第11回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	"	"	"
第13回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	"	"	"
第15回	「彫塑」制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	"	"	"
第17回	完成・提出、全体講評		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	"	"	"
第19回	抽象作品制作のためのプランニング		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	"	"	"
第21回	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	"	"	"
第23回	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
24	"	"	"

第 回			
第25回	作品制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	"		"
第27回	完成・提出		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	"		"
第29回	講評	各自作品についてプレゼンテーションを行う。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	"	"	

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題評価70% 平常点評価30%。
本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しません。

課題等に対する フィードバックの方法

各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。

履修のポイント

積極的な姿勢で授業に臨んでください。

オフィス・アワー

金曜日 10:50～11:00 場所：5号館 501教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C114

講義コード	40160001
講義名	デッサン (小松原)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンとは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描かれたモノクロームの絵画を総称しているが、構造や内容を理解して形体化すること、関係を把握し表現することだと思えます。その意味では、あらゆる造形芸術の基本となり、この授業では的確な描写力や構成力を身につけることに重点をおきます。
 教育目標としては、形体を把握し描写する力、アイデアやイメージを具体化できる能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
 本講座で学ぶデッサンは、選択した専門分野の知識や技能を修得する上で必要な基礎であり、実践的なデザイナー、アーティストとして卒業後活躍するための基盤となる技術を得ることを目的としています。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的な視点で様々なものを観察できる能力を身につける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	素早くプロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習	予習45分：シラバスを事前によく読んでおくこと。 復習45分：クロッキー練習
第2回	//	//
第3回	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 デッサンの基本についての資料配布、解説 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	//	//

第5回	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	//	//
第7回	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	//	//
第9回	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	//	//
第11回	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	//	//
第13回	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	//	//
第15回	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	//	//
第17回	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	//	//
第19回	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	//	//
第21回	植物や果物、金属管やガラス等をモチーフに鉛筆で描写 作品提出、全体講評	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	//	//
第23回	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	//	//
第25回	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	//	//
第27回	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	//	//
	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習

第29回	作品提出、全体講評	キー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	//	//

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

各課題毎に全体講評を実施するとともに、個別にレクチャーをする。

履修のポイント

授業は集中して取り組み、モチーフを客観的に観察することを心がける。普段から身の回りにあるものを数多くクロッキーすることで、観察力を身につける努力を怠らないように。

オフィス・アワー

小松原：火曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C115

講義コード	40160002
講義名	デッサン（佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

デッサンとは一般的に素描と訳され、鉛筆や木炭等で描かれたモノクロームの絵画を総称しているが、構造や内容を理解して形体化すること、関係を把握し表現することだと思えます。その意味では、あらゆる造形芸術の基本となり、この授業では的確な描写力や構成力を身につけることに重点をおきます。

教育目標としては、形体を把握し描写する力、アイデアやイメージを具体化できる能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、選択した専門分野の知識や技能を修得し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するための、基盤となる技術を得ることを目的とする。

到達目標

創作活動の基本となるデッサン力を身につけ、客観的な視点で様々なものを観察出来る能力を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	佐野 広章	素早くプロポーションやムーブメント等を的確に把握する練習	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：クロッキー練習
第2回	佐野 広章	〃	
第3回	佐野 広章	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写 デッサンの基本についての資料を配布、解説 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
	佐野		

第4回	広章	〃	
第5回	佐野 広章	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第6回	佐野 広章	〃	
第7回	佐野 広章	立方体、円柱、円錐等の幾何形体をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第8回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	
第9回	佐野 広章	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第10回	佐野 広章	〃	
第11回	佐野 広章	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第12回	佐野 広章	〃	
第13回	佐野 広章	幾何形体と石膏像（小）を組み合わせて鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第14回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	
第15回	佐野 広章	静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	佐野 広章	〃	
第17回	佐野 広章	静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	佐野 広章	〃	
第19回	佐野 広章	静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	佐野 広章	〃	
第21回	佐野 広章	静物や果物、金属管やグラス等をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	
第23回	佐野 広章	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写 ●クロッキー帳の用意	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
24	佐野		

第 回	広章	”	
第25回	佐野 広章	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	佐野 広章	”	
第27回	佐野 広章	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	佐野 広章	”	
第29回	佐野 広章	石膏像（大）をモチーフに鉛筆で描写	予習45分：身の回りの物のクロッキー練習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	佐野 広章	完成、作品提出、全体講評	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
(アクティブラーニング)

履修のポイント

授業は集中して取り組み、モチーフを客観的に観察することを心がける。普段から身の回りにあるものを数多くクロッキーすることで、観察力を身につける努力を怠らないように。

オフィス・アワー

木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C115

講義コード	40170001
講義名	C G 基礎I (Photoshop)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	5 時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Photoshopの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工を行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
 その基本的なオペレーションについての学習を、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Photoshopのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画			
	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	相馬 勉	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Photoshop機能概要	予習90分：Adobe Webサイト内Photoshopの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	相馬 勉	ファイル操作、作業エリア、下面表示と色の選択	予習90分：Chapter1を読む。 復習90分：Chapter1を読む。
	相		

第3回	馬勉	環境設定、選択ツール、選択方法	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
第4回	相馬勉	画像解像度とサイズ変更、画像のコピー&ペースト、画像の変形 カラーモード	予習90分：Chapter3・4を読む。 復習90分：Chapter3・4を読む。
第5回	相馬勉	色調補正、ペイント系のツール	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第6回	相馬勉	レタッチ系のツール、ペイント系のコマンド、レイヤーの基本	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第7回	相馬勉	調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー、パスの作成と編集	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第8回	相馬勉	シェイプ	予習90分：Chapter7を読む。 復習90分：Chapter7を読む。
第9回	相馬勉	テキストの入力と編集、文字の加工、 フィルターの概要と説明	予習90分：Chapter8を読む。 復習90分：Chapter8を読む。
第10回	相馬勉	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	相馬勉	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	相馬勉	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	相馬勉	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	相馬勉	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	相馬勉	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書

Photoshop® クイックマスターCC Windows&Mac 株式会社ウイネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

授業態度10% 模擬試験90%

※本授業はPhotoshop能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。
履修のポイント
技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：授業日 16:30～16:40 104教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C116

講義コード	40170002
講義名	C G 基礎I (Illustrator)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	5 時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Illustratorの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustratorは、高品位なイラストやデザインを制作することができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustratorのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustratorの基本操作を確実に理解した上で、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画			
	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	相馬 勉	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Illustrator機能概要／Illustratorの起動と作業エリア／アートワークの表示とプリント／環境設定	予習90分：Adobe Webサイト内Illustratorの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	相馬	塗りと線／オブジェクトの描画	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。

	勉		
第3回	相馬勉	基本的な編集操作／レイアウトの補助機能	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
第4回	相馬勉	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第5回	相馬勉	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第6回	相馬勉	カラーパレットによるカラー設定／スウォッチとパターン／グラデーション	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第7回	相馬勉	アピアランス／オブジェクトの変形	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第8回	相馬勉	レイヤー／オブジェクトの組み合わせによる編集	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第9回	相馬勉	文字の作成／文字関連の機能	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第10回	相馬勉	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	相馬勉	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	相馬勉	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	相馬勉	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	相馬勉	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	相馬勉	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書

Illustrator® クイックマスターCC Windows&Mac 株式会社ウイネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

授業態度10% 模擬試験90%

※本授業はIllustrator能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。

履修のポイント

技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：授業日 16:30～16:40 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C116

講義コード	40180001
講義名	C G 基礎II (Photoshop)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	5 時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Photoshopの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Photoshopは、高品位なイラスト作成や画像加工を行うことができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
その基本的なオペレーションについての学習を、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Photoshopのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Photoshopの基本操作を確実に理解した上で、Photoshopクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画			
	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	相馬 勉	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Photoshop機能概要	予習90分：Adobe Webサイト内Photoshopの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	相馬 勉	ファイル操作、作業エリア、下面表示と色の選択	予習90分：Chapter1を読む。 復習90分：Chapter1を読む。
	相		

第3回	馬勉	環境設定、選択ツール、選択方法	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
第4回	相馬勉	画像解像度とサイズ変更、画像のコピー&ペースト、画像の変形 カラーモード	予習90分：Chapter3・4を読む。 復習90分：Chapter3・4を読む。
第5回	相馬勉	色調補正、ペイント系のツール	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第6回	相馬勉	レタッチ系のツール、ペイント系のコマンド、レイヤーの基本	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第7回	相馬勉	調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー、パスの作成と編集	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第8回	相馬勉	シェイプ	予習90分：Chapter7を読む。 復習90分：Chapter7を読む。
第9回	相馬勉	テキストの入力と編集、文字の加工、フィルターの概要と説明	予習90分：Chapter8を読む。 復習90分：Chapter8を読む。
第10回	相馬勉	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	相馬勉	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	相馬勉	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	相馬勉	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	相馬勉	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	相馬勉	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書

Photoshop® クイックマスターCC Windows&Mac 株式会社ウイネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

授業態度10% 模擬試験90%

※本授業はPhotoshop能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。
履修のポイント
技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。
オフィス・アワー
授業内容に関する質問：授業日 16:30～16:40 104教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C131

講義コード	40180002
講義名	C G 基礎II (Illustrator)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	5 時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナー・グラフィックデザイナーとしての経験に基づき、Illustratorの基礎知識についての講義を行う。
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

Adobe Illustratorは、高品位なイラストやデザインを制作することができ、デザイナーやイラストレーター必携のソフトウェアである。
 その基本的なオペレーションについての学習を、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）の試験範囲を中心に授業を進めながら使用方法をマスターし、能力認定試験の合格を目指すことにより、多様な社会のニーズ、変化に対応できる為の基礎知識・基礎技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、Adobe Illustratorのオペレーション知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

Illustratorの基本操作を確実に理解した上で、Illustratorクリエイター能力認定試験（スタンダード）に合格できるレベルの知識を身につける。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	相馬 勉	コンピュータ室の利用について、授業概要説明、Macの基本操作 Illustrator機能概要／Illustratorの起動と作業エリア／アートワークの表示とプリント／環境設定	予習90分：Adobe Webサイト内Illustratorの項目を閲覧する。 復習90分：配付資料を読む。
第2回	相馬	塗りと線／オブジェクトの描画	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。

	勉		
第3回	相馬勉	基本的な編集操作／レイアウトの補助機能	予習90分：Chapter2を読む。 復習90分：Chapter2を読む。
第4回	相馬勉	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第5回	相馬勉	パスの基本的な描画／パスの編集	予習90分：Chapter3を読む。 復習90分：Chapter3を読む。
第6回	相馬勉	カラーパレットによるカラー設定／スウォッチとパターン／グラデーション	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第7回	相馬勉	アピアランス／オブジェクトの変形	予習90分：Chapter4を読む。 復習90分：Chapter4を読む。
第8回	相馬勉	レイヤー／オブジェクトの組み合わせによる編集	予習90分：Chapter5を読む。 復習90分：Chapter5を読む。
第9回	相馬勉	文字の作成／文字関連の機能	予習90分：Chapter6を読む。 復習90分：Chapter6を読む。
第10回	相馬勉	実技問題1、実践問題1-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第11回	相馬勉	実践問題1-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第12回	相馬勉	実技問題2、実践問題2-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第13回	相馬勉	実践問題2-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第14回	相馬勉	実技問題3、実践問題3-1	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。
第15回	相馬勉	実践問題3-2	予習90分：教科書を全てに渡り読む。 復習90分：出題内容を見直す。

教科書

Illustrator® クイックマスターCC Windows&Mac 株式会社ウイネット

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。

授業態度10% 模擬試験90%

※本授業はIllustrator能力認定試験の模擬試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

教科書の熟読、授業でのポイントを積極的に利用した問題集の解答。

履修のポイント

技術的な説明をする事が多いので、遅刻等しないように注意すること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：授業日 16:30～16:40 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C131

講義コード	40190001
講義名	アート・デザインI (小松原/松村)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、絵画・イラストの両分野に共通して応用できる基礎的な知識や技術について学習する。内容としては主にイラストレーションや絵画制作における様々な技法の修得、それぞれの技法に合わせた画材の性質と特性の理解を中心に学ぶ。

本講座の最後には、これまでの基礎的な技法を活用しながら、オリジナリティー溢れた個性的な作品制作を目指し、今後の自身の方向性を探ることも視野に入れる。

授業担当 月曜日：松村、木曜日：小松原

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
イラストレーションや絵画などの様々な表現に関する知識や技能の習得、また実践的なアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

各種画材について、その性質及び特徴等の理解や、様々な技法の修得、自己表現の探求を本講座の目標とする。

授業計画				
	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	松村 誠	初年時教育：絵画・イラストレーション分野を学ぶ上での心構え、姿勢など2年間の取り組み方について講義 オリエンテーション・シラバス説明		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。

	一	課題「Self-portrait」自分自身を見つめた作品の制作 アイデアスケッチの開始 ※クロッキー帳用意		復習45分：指導内容の復習
第2回	松村誠一	"		"
第3回	小松原洋生	講師によるアイデアスケッチのチェック イラストレーションボードへ下描き開始		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第4回	小松原洋生	"		"
第5回	松村誠一	下書き終了後、着色開始 画材、技法は自由。		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第6回	松村誠一	"		"
第7回	小松原洋生	制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第8回	小松原洋生	"		"
第9回	松村誠一	制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第10回	松村誠一	"		"
第11回	小松原洋生	「Self-portrait」完成 プレゼンテーション、講評（アクティブラーニング） 作品の提出 ●次回からの制作についての説明	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第12回	小松原	"	"	"

	洋生			
第13回	小松原洋生	透明水彩技法についての解説 (プリント配布) 技法練習 静物画の下書き		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第14回	小松原洋生	"		"
第15回	小松原洋生	透明水彩技法 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第16回	小松原洋生	"		"
第17回	松村誠一	油彩基礎技法についての解説 6号キャンバスに静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第18回	松村誠一	"		"
第19回	小松原洋生	透明水彩技法 静物画制作、完成 講評 作品の提出		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第20回	小松原洋生	"		"
第21回	松村誠一	油彩基礎技法 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第22回	松村誠一	"		"
第23回	小松原洋生	透明水彩によるオリジナルイラストの制作 アイデアスケッチの制作 ※クロッキー帳用意		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習

第24回	小松原洋生	"		"
第25回	松村誠一	油彩基礎技法 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第26回	松村誠一	"		"
第27回	小松原洋生	透明水彩によるオリジナルイラストの制作 アイデアスケッチから下書き制作へ		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第28回	小松原洋生	"		"
第29回	松村誠一	油彩基礎技法 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第30回	松村誠一	"		"
第31回	小松原洋生	透明水彩によるオリジナルイラストの制作 着色		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第32回	小松原洋生	"		"
第33回	松村誠一	油彩基礎技法 静物画制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第34回	松村誠一	"		"
第35回	小松原洋生	透明水彩によるオリジナルイラストの制作、仕上げ プレゼンテーション（アクティブラーニング）、講評	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッション	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評

	生	作品の提出	ションなども実施。	内容について検証
第36回	小松原洋生	"	"	"
第37回	松村誠一	油彩基礎技法 静物画制作、仕上げ 講評 作品の提出		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第38回	松村誠一	"		"
第39回	小松原洋生	課題「テーマによるオリジナル作品」について説明 アイデアスケッチ開始（描画材など自由、作品サイズB3程度）		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第40回	小松原洋生	"		"
第41回	松村誠一	講師によるアイデアスケッチ チェック 下絵制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第42回	松村誠一	"		"
第43回	小松原洋生	講師によるアイデアスケッチ チェック 下絵制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第44回	小松原洋生	"		"
第45回	松村誠一	下書きから着色などの制作へ		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第46回	松村誠一	"		"
	小松			予習45分：指導内容の予習

第47回	原洋生	制作		復習45分：指導内容の復習
第48回	小松原洋生	"		"
第49回	松村誠一	制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第50回	松村誠一	"		"
第51回	小松原洋生	制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第52回	小松原洋生	"		"
第53回	松村誠一	制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第54回	松村誠一	"		"
第55回	小松原洋生	制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第56回	小松原洋生	"		"
第57回	松村誠一	制作		予習45分：指導内容の予習 復習45分：指導内容の復習
第58回	松村誠一	"		"
	小	「テーマによるオリジナル作		予習45分：プレ

第59回	松原洋生	品」完成 プレゼンテーション（アクティブラーニング）、講評作品の提出	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施。	ゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第60回	小松原洋生	"	"	"

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業への取り組み：30%、課題提出、作品の完成度：70%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

作品制作に必要な画材、エスキース等は、事前に準備し授業に臨む事。
作品が一定水準に達していないときは再提出とする場合がある。授業態度等についても重視する。

オフィス・アワー

松村：月曜日 12:30～13:20 場所：1号館 1F 111研究室
小松原：木曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R110

講義コード	40190002
講義名	アート・デザインI (吉沢/門倉)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業はマンガやコミックイラストレーションに関する基礎的な知識や技術について学習する。マンガ、イラストレーション表現における基本的なテクニックを始め、この分野に求められる表現力や描写力を養うと共に技法研究も行う。出版社への持ち込みや投稿に使用できるオリジナルストーリーマンガ作品の制作、デザイン、アニメーション会社への就職を手助けするCGイラスト制作技術の修得を教育目標として、今後のアート・デザインII・III等へ展開するための第一歩の授業となる。

※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、マンガ・CGイラストに関する基礎知識や技術を身につけるとともに、描画力・ストーリー制作の表現、CGイラストレーション技術について学んでいく。アート・デザインII以降の応用的な授業に対応するための準備段階として学習目的を設定している。

到達目標

以下に到達目標を記す

- 基礎技法の修得
- 様々な描画表現の理解
- キャラクターデザインについての理解
- ストーリー制作の基礎

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	課題内容説明、アイデアスケッチ		予習：90分 自己紹介四コマ漫画で使いたいアイデアを準備する
第2回	下描き		復習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第3回	制作作業		予習：90分 自己紹介四コマ漫画制作
第4回	講評会		復習：90分 講評会の振り返り
第5回	課題内容説明、アイデアスケッチ		予習：90分 模写の題材を考える
第6回	アイデアスケッチ		復習：90分 模写による技法表現制作
第7回	下絵作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第8回	下絵作業		復習：90分 模写による技法表現制作
第9回	下絵作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第10回	下絵作業		復習：90分 模写による技法表現制作
第11回	主線入れ		予習：90分 模写による技法表現制作
第12回	主線入れ		復習：90分 模写による技法表現制作
第13回	ベタ塗り、トーンワーク		予習：90分 模写による技法表現制作
第14回	ベタ塗り、トーンワーク		復習：90分 模写による技法表現制作
第15回	制作作業		予習：90分 模写による技法表現制作
第16回	アクティブ・ラーニング：講評会 お互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う		復習：90分 講評会の振り返り
第17回	遠近法①		予習：90分 遠近法①のリサーチ
第18回	遠近法①		復習：90分 遠近法①の振り返り
第19回	人体のバランス・男女の描き分け①		予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け①のリサーチ
第20回	人体のバランス・男女の描き分け①		復習：90分 人体のバランス・男女の描き分け①の振り返り
第21回	遠近法②		予習：90分 遠近法②のリサーチ
第22回	遠近法②		復習：90分 遠近法②の振り返り
第23回	人体のバランス・男女の描き分け		予習：90分 人体のバランス・男女の描き分け

	け②		②の研究
第24回	人体のバランス・男女の描き分け②		復習：90分 人体のバランス・男女の描き分け②の振り返り
第25回	遠近法③		予習：90分 遠近法③の研究
第26回	遠近法③		復習：90分 遠近法③の振り返り
第27回	漫画における基本技法①		予習：90分 漫画における基本技法①の研究
第28回	漫画における基本技法①		復習：90分 漫画における基本技法①の振り返り
第29回	動きの表現①		予習：90分 動きの表現①の研究
第30回	動きの表現①		復習：90分 動きの表現①の振り返り
第31回	漫画における基本技法②		予習：90分 漫画における基本技法②の研究
第32回	漫画における基本技法②		復習：90分 漫画における基本技法②の振り返り
第33回	動きの表現②		予習：90分 動きの表現②の研究
第34回	動きの表現②		復習：90分 動きの表現②の振り返り
第35回	漫画における基本技法③		予習：90分 漫画における基本技法③の研究
第36回	漫画における基本技法③		復習：90分 漫画における基本技法③の振り返り
第37回	課題内容説明、ネーム作成		予習：90分 5ページマンガ制作準備
第38回	ネーム作成		復習：90分 5ページマンガ制作
第39回	ネーム作成		予習：90分 5ページマンガ制作
第40回	ネーム作成		復習：90分 5ページマンガ制作
第41回	ネーム作成		予習：90分 5ページマンガ制作
第42回	ネーム作成		復習：90分 5ページマンガ制作
第43回	ネーム作成		予習：90分 5ページマンガ制作
第44回	ネーム作成		復習：90分 5ページマンガ制作

第45回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第46回	制作作業		復習：90分 5ページマンガ制作
第47回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第48回	制作作業		復習：90分 5ページマンガ制作
第49回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第50回	制作作業		復習：90分 5ページマンガ制作
第51回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第52回	制作作業		復習：90分 5ページマンガ制作
第53回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第54回	制作作業		復習：90分 5ページマンガ制作
第55回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第56回	制作作業		復習：90分 5ページマンガ制作
第57回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第58回	制作作業		復習：90分 5ページマンガ制作
第59回	制作作業		予習：90分 5ページマンガ制作
第60回	講評会	講評会 お互いの作品を鑑賞し、その意見や感想を述べ合う	復習：90分 講評会の振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題提出80% 授業参加度20%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。

「予習内容」アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる。

「復習内容」目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める。

オフィス・アワー

月曜日 10:50-11:00 1号館103教室（門倉） 木曜日 10:50-11:00 1号館103教室（吉沢）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R110

講義コード	40190003
講義名	アート・デザインI (小松原/三関)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

グラフィックデザインの基礎となる知識と技術を作品の制作を通して学んでいく。更には、優れた作品を創り出す為のコンセプトの開発テクニック、発想・アイデアや表現計画、そして実際の印刷入稿などの全体像を学んでいく。また実際のDTPソフトの操作方法を学びながら、制作プロセスや制作の為の基本的テクニックを実際の作品制作を通して習得していく。
デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取ってもらいたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエイターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：小松原 木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：

本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解する。
- ◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を深める。
- ◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に表現する。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのため必要な時間
			予

第1回	<p>初年次教育：グラフィックデザインを学習する上での心構えや姿勢など2年間の取り組みについてレクチャー</p> <p>グラフィックデザインの全体像など概要説明-1 プレゼンテーションテクニックについて、他</p>		<p>習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習</p>
第2回	<p>女性ファッション雑誌カバーデザインの概要説明 ビジュアル画像案データの配布 サムネイル制作について</p> <p>●Macの基本操作説明 見出しタイトル案を考えておく</p>		<p>"</p>
第3回	<p>グラフィックデザインの概要説明-2 サムネイル制作からカンパへ 構成要素の作成 テキストデータの作成と保存 画像のトリミング 画像補正・台紙制作トンボ (CMYK)の作成 ●CMYKについての説明</p>		<p>予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習</p>
第4回	"		"
第5回	<p>●ペンツールでタイトルロゴを作る ▶ペンツール練習 塗りと線 カラーの設定 台紙でのマージンとガイドの設定 ●デザインロジックについてのレクチャー</p>		<p>予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習</p>
第6回	"		"
第7回	<p>●構成要素の配置・レイアウト ビジュアル・文字データ・ロゴタイプ・パターンなどの主な構成要素を中心に台紙に配置してレイアウトする ▶文字データの加工 配置～リンクなどの説明</p>		<p>予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習</p>
第8回	"		"
	<p>カンパ制作 ▶レイアウトデザインの継続</p>		<p>予習45分：レクチャー内</p>

第9回	個人的に不明な点を質問しながら作業の継続		容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第10回	"		"
第11回	カンプ制作▶レイアウトデザインの継続 個人的に不明な点を質問しながら作業の継続		予 習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第12回	"		"
第13回	画像データ、文字データを盛り込みレイアウトデータ制作の継続・全体レイアウトへ		予 習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第14回	"		"
第15回	データの保存・プリントの仕方 MACによるレイアウトデータ制作・レイアウトの完成した人からプリントへ 次回提出物／サムネイル、コメントのポイント、レイアウト完成プリントの3種		予 習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第16回	"		"
第17回	雑誌カバーデザインプリント作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予 習45分： プレゼンテーションの準備 復習45分： 講評内容について 検証
第18回	"	"	"
	課題概要説明 ベジェ曲線演習		予 習45分： レク

第19回	(photoshopでの下絵の取り込み ～Illustratorペンツールによる制作演習) 動物園にどんな設備やサービスが必要か、そして色々な動物をモチーフに、誰でも理解できるピクトグラム(絵文字)をデザインする→アイデアスケッチ		チャー内容の予習 復習45分: レク チャー内容の復習
第20回	"		"
第21回	アイデアスケッチ		予習45分: レク チャー内容の予習 復習45分: レク チャー内容の復習
第22回	"		"
第23回	アイデアスケッチ		予習45分: レク チャー内容の予習 復習45分: レク チャー内容の復習
第24回	"		"
第25回	手描きアイデアスケッチの中から12点を選び、イラストレーター・ペンツールを使いデータ化するアイデアスケッチ→スキャニング→ペンツールでトレース		予習45分: レク チャー内容の予習 復習45分: レク チャー内容の復習
第26回	"		"
第27回	イラストレーター・ペンツール(ベジェ曲線)を使い制作		予習45分: レク チャー内容の予習 復習45分: レク チャー内容の復習
第28回	"		"
			予

第29回	イラストレーター・ペンツールを使い制作		習45分： レク チャー内容の予習 復 習45分： レク チャー内容の復習
第30回	"		"
第31回	イラストレーター・ペンツールを使い制作 A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、 計12点のデザインを提出		予 習45分： レク チャー内容の予習 復 習45分： レク チャー内容の復習
第32回	"		"
第33回	A4サイズに3点ずつ、4枚プリント出力、 計12点の作品及び作品データ（コンセプト シートデータ含む）の提出 ●次回課題の概要説明	自身の作品をプレゼン テーションする。そのプ レゼンテーションテク ニックも重視。講師の講 評のほか、学生同士の ディスカッションなども 実施する。	予 習45分： プレゼン テーションの準備 復 習45分： 講評内容 について 検証
第34回	"	"	"
第35回	●新課題・テーマパークの交通広告（電車中 吊りポスター）について概要説明 広告表現の発想法、コンセプトの導き出し 方等についてのレクチャー、発想からサム ネイルへ		予 習45分： レク チャー内容の予習 復 習45分： レク チャー内容の復習
第36回	"		"
第37回	発想からサムネイルへ 企画書、サムネイ ル→ビジュアル・文字要素など構成要素の 発想と制作→デザインの決定した人からカ ンプの制作・ビジュアル・文字要素など構 成要素の制作		予 習45分： レク チャー内容の予習 復 習45分： レク チャー内容の復習
第38回	"		"

第39回	サムネイル→ビジュアル・文字要素など構成要素の発想と制作→デザインの決定した人からカンパの制作・ビジュアル・文字要素など構成要素の制作→MACによるカンパ制作		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第40回	"		"
第41回	カンパ制作の継続		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第42回	"		"
第43回	カンパ制作の継続		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第44回	"		"
第45回	カンパ制作の継続		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第46回	"		"
第47回	カンパ制作の継続・作品が完成した人からプリント出力 プレゼンテーションの為の発表原稿作成		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習

第48回	"		"
第49回	作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 講評・グリーティングカードデザインの概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第50回	"	"	"
第51回	グリーティングカードデザインの概要説明 バースデーカード、暑中見舞い、クリスマスカードなど2種類以上のグリーティングカードを制作 テーマに沿ってデザインを考えアイデアスケッチへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	"		"
第53回	サムネイルデザインを決定 ビジュアルなど各構成要素の制作へ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	"		"
第55回	ビジュアルなど各構成要素の制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	"		"
第57回	ビジュアルなど各構成要素の制作 規定の仕様にて仕上げ→プリントへ		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内

			容の復習
第58回	"		"
第59回	仕上げ・規定の仕様にて仕上げ後、プリントし作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 学生による授業評価	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：講評内容について検証
第60回	"	"	"

教科書

使用しない

参考書

使用しない

必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持つことから始まります。街の中のサインボードやポスター、店舗に置かれたパンフレットや折込チラシ、スーパーやコンビニの新商品のパッケージ。それらの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見ることが、そして、その良さを感じ取る訓練を日々の日常の中からすることが大切です。

授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行状況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：

三関：木曜日 10:50～11:00 場所：1号館 3F 104教室

小松原：月曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R110

講義コード	40190004
講義名	アート・デザインI (寺村/石井智)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

ファッションの分野は洋服だけでなく帽子、鞆など現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となり、それらはブランドのコンセプトや世界観が製品のかたちに反映されている。多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得するために、ファッションの歴史、市場の動向やトレンドをふまえ自身の作品においてもブランディングを行う。

さらに、採寸を行い自身の体型にあわせた原型を基に製図や縫製の基礎技術および繊維素材や染織加工の方法に関する知識を取得し、スカート、レッグウェアを制作する。

染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの基礎を学ぶことで、身体と布との関係性を探りながらファッションとしての表現や、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

※本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウェアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が素材と被服に関する制作を通し、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

担		予習・復習と
---	--	--------

	当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	そのために必要な時間
第1回	寺村サチコ	初年時教育		予習 25分 ファッションについてどのようなものがあるか調べておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第2回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー		予習 25分 繊維素材について調べておく 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第3回	石井智子	基礎縫い1 (玉止め、玉結び、並縫い、ぐし縫い、本返し、半返し)		予習 25分 道具の準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第4回	石井智子	同上		予習 25分 道具の準備を行う 復習 20分 授業で講義したセクションの復習を行う
第5回	寺村サチコ	布の基礎知識のレクチャー、模様のデザイン		予習 45分 道具の確認、準備を行う。 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	石井智子	基礎縫い2 (たてまつり、流しまつり、奥まつり、星止め)		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第8回	石井智子	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	レグウエアの模様のデザイン		予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
	寺村			

第10回	サチコ	同上		上記参照
第11回	石井智子	基礎縫い復習、手縫いによるファッションアイテム制作		予習 45分 授業で抗議したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第12回	石井智子	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	レグウエアの模様の切り取り		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第14回	寺村サチコ	同上		上記参照
第15回	石井智子	製図基礎・採寸		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第16回	石井智子	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習1 (浸染、絞り染め)		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
第19回	石井智子	製図の基礎のレクチャー		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講

				義したセクションの復習を行う
第20回	石井智子	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習2 (型染め、オパール加工、発泡プリント、箔加工)		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第22回	寺村サチコ	同上		上記参照
第23回	石井智子	製図の基礎のレクチャー		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第24回	石井智子	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習、レッグウエアの制作		予習 45分 レッグウエアの市場調査を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第26回	寺村サチコ	同上		上記参照
第27回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 授業で作成したデザイン画を確認する 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第28回	石井智子	同上		上記参照
第29回	寺村サ	レッグウエアのデザ		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する

	チコ	イン		復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第30回	寺村サチコ	同上		上記参照
第31回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第32回	石井智子	同上		上記参照
第33回	寺村サチコ	レグウェアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	寺村サチコ	同上		上記参照
第35回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第36回	石井智子	同上		上記参照
第37回	寺村サチコ	レグウェアの製作		予習 45分 授業で講義したセクションの予習を行う、道具を準備する 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第38回	寺村サチコ	同上		上記参照
第39回	石井智子	レグウェア・スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う

第40回	石井智子	同上		上記参照
第41回	寺村サチコ	レグウェアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第42回	寺村サチコ	同上		上記参照
第43回	石井智子	スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第44回	石井智子	同上		上記参照
第45回	寺村サチコ	レグウェアの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	寺村サチコ	同上		上記参照
第47回	石井智子	レグウェア・スカートの製作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	石井智子	同上		上記参照
第49回	寺村サチコ	レグウェアの制作 講評会、作品撮影		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	寺村サチコ	同上		上記参照
	石			予習 45分 材料の準備を行う

第51回	井智子	スカートの製作		備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第52回	石井智子	同上		上記参照
第53回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習 3 (草木染め)		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第54回	寺村サチコ	同上		上記参照
第55回	石井智子 寺村サチコ	スカートの制作 講評会	作品について学生がそれぞれプレゼンテーションを行い、教員の示唆を得るとともに学生同士が意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第56回	石井智子	同上		上記参照
第57回	寺村サチコ	布の基礎知識と演習 3 (草木染め)		予習 45分 どのような草木染めがあるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第58回	寺村サチコ	同上		上記参照
第59回	石井智子	バッグ・ブラウスのデザインおよび部分縫いのレクチャー		予習 45分 道具・材料の準備を行う 復習 45分 授業で講義したセクションの復習を行う
第60回	石井智子	同上		上記参照

使用しない
参考書
文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥ 服地の基礎がわかるテキスタイル事典
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上／1.平常点（取組みの姿勢）30％ 2.作品点／70％ 上記1および2の総合評価が50点（％）以上を獲得した学生に単位を認定する。 ※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。 講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける
履修のポイント
実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。
オフィス・アワー
寺村：月・火 16：30-18：00 寺村研究室（122） 石井：木（9：20-12：30）、105教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R110

講義コード	40190005
講義名	アート・デザインI (山本博/及川)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	山本, 及川共に「デザイン事務所」を経営. 教員が実務を通じて得た専門領域の知識と技術から, 基礎となることを伝達する授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、インテリア・空間デザイン領域で学びを得る導入として、学び方を知る「初年次教育」と、設計製図、透視図、模型、スケッチソフト、計測方法、構造や設備などの専門の概要について学ぶ。課題では、ディスプレイ空間と住まいの空間を題材に、人間の主観に関わるデザインに取り組む。

学びのプロセスは、まず、デザインを表示するための設計製図や透視図の基礎技術を習得し、その技術を活用して、商業空間を対象としたディスプレイデザインに取り組む。客観性ある表示と「イメージ」の表現、思考方法について体験的に学ぶ。次に実在する空間「マイルーム」を対象に実測をおこない、実測方法と制作のプロセスにおいて見えてくる構造や仕上げ、設備の概要などについても学ぶ。状況に応じて学外の現場見学や外部講師を招いた講義などの機会をもうけている。

なお本講座は、インテリア・空間デザインに関わる「基礎知識と基礎技術」を身につけることを教育目標としている。また本講座は商業施設士補資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、基礎的な製図のルールを理解、透視図法の習得、建築空間に関わる基礎的な知識の習得を目指す。また、ディプロマポリシー；多様な社会のニーズと変化に対応できる実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するために、本講座では、インテリア・空間デザインの知識と技術の基礎を身につけることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は、

1. 基礎的な製図のルールを理解
2. 透視図の理解
3. 建築空間に関わる基礎的な知識の習得
4. 人間の主観に関わるデザインの理解

授業計画

担			
---	--	--	--

	当 者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	山本博一	初年次教育：インテリア・空間デザイン領域での学ぶ姿勢や学び方について解説 授業内容についてのガイダンス 空間デザインの領域と業務についての概要	<アクティブラーニング> 「日常生活における空間を対象としたデザイン」をテーマに意見交換	予習：45分 ショップやイベント会場などの周辺のインテリア・空間デザインの事例を見学しておく 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第2回	山本博一	製図用具についての解説 線の練習		
第3回	及川澄人	線の練習		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第4回	及川澄人	同上		
第5回	山本博一	線の練習		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第6回	山本博一	文字の練習		
第7回	及川澄人	三面図の練習 相関体		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第8回	及川澄人	同上		
第9回	山本博一	立体の把握 模型		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第10回	山本	同上		

	博一			
第11回	及川澄人	アイソメ図の理解		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	及川澄人	同上		
第13回	山本博一	ディスプレイの計画 デザインング		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第14回	山本博一	同上		
第15回	及川澄人	ディスプレイの計画 デザインング		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	及川澄人	同上		
第17回	山本博一	ディスプレイの計画 デザインング・図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	山本博一	同上		
第19回	及川澄人	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	及川澄人	同上		
				予習：45分

第21回	山本博一	図面の制作		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	山本博一	同上		
第23回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	及川澄人	同上		
第25回	山本博一	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	山本博一	同上		
第27回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	及川澄人	同上		
第29回	山本博一	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	山本博一	同上		
第31回	及川澄人	図面・完成予想図（パース画）の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は

				コンペ等も含む)
第32回	及川澄人	同上		
第33回	山本博一	図面・完成予想図 (パース画) の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む)
第34回	山本博一	同上		
第35回	及川澄人	図面・完成予想図 (パース画) の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む)
第36回	及川澄人	同上		
第37回	山本博一	図面・完成予想図 (パース画) の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む)
第38回	山本博一	同上		
第39回	及川澄人	図面・完成予想図 (パース画) の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む)
第40回	及川澄人	同上		
第41回	山本博一	図面・完成予想図 (パース画) の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作は コンペ等も含む)
第42回	山本	同上		

	博一			
第43回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第44回	及川澄人	同上		
第45回	山本博一	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第46回	山本博一	同上		
第47回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第48回	及川澄人	同上		
第49回	山本博一	講評会	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第50回	山本博一	同上	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションして教員が講評。教員と学生同士が意見交換する。	
第51回	及川澄人	インテリア計画 実測実習	<アクティブラーニング> サンプルとなる空間を設定し、グループワークで効率の良い実測をテーマに意見を出し合い実践する。	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第52回	及川澄人	同上	<アクティブラーニング> サンプルとなる空間を設定し、グループワークで効率の良い実測をテーマに意見を出し合い実践する。	

第53回	山本博一	インテリア計画 人間工学の理解		予習： 分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第54回	山本博一	同上		
第55回	及川澄人	インテリア計画 木造建築の構造の理解 と図面の作成		予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第56回	及川澄人	同上		
第57回	山本博一	インテリア計画 木造建築の構造の理解 と図面の作成		予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第58回	山本博一	同上		
第59回	及川澄人 山本博一	講評会	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーショ ンして教員が講評。教員と学 生同士が意見交換する。	予習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作は コンペ等も含む）
第60回	及川澄人 山本博一	同上	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーショ ンして教員が講評。教員と学 生同士が意見交換する。	

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合（上）（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図，編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する
フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催して、学生全員がプレゼンテーションし、アクティブラーニング形式でフィードバックする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする

オフィス・アワー

山本：月曜日, 16:30-18:10, 山本研究室 (1号館131)

及川：木曜日, 10:50-11:00, 山本研究室 (1号館131)

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R110

講義コード	40200001
講義名	アート・デザインII (松村/佐野)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では絵画やイラストレーションを作品制作を通して追求して行く。この二つの分野は方向性に違いはあっても、一つの画面に対して作業を行い、表現していく点では共通しており、それぞれに吸収し合える面も多い。技法を研究し、自分の表現したい世界観を具現化するために必要な基礎技術や画材等の知識についても学習していく。絵画とイラストレーションのそれぞれの分野における表現方法の追求と修得を目標とし、各自が表現したいオリジナル作品の制作も行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、対象の理解をもとにした表現をするための知識や技能、および選択した専門分野の様々な表現方法を修得する。

到達目標

- 無彩色の細密表現と構成力の習得
- マチエール技法の凹凸による質感表現の習得
- トリックアート制作による視覚表現の習得
- オリジナル作品制作による自己表現の習得
- 講評会によるプレゼンテーション能力の基礎を習得する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	鉛筆によるモノクローム作品の制作 (内容説明、エスキース)		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資

			料の確認
第2回	//		
第3回	鉛筆によるモノクローム作品の制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	//		
第5回	鉛筆によるモノクローム作品の制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	//		
第7回	鉛筆によるモノクローム作品の制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	//		
第9回	鉛筆によるモノクローム作品の制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	//		
第11回	鉛筆によるモノクローム作品の制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	//		
第13回	鉛筆によるモノクローム作品の制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	//		
第15回	鉛筆によるモノクローム作品の制作（作品提出）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	//	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アク	

		ティブラーニング)	
第17回	マチエール研究による作品制作 (画材説明、アイデアスケッチ)		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	//		
第19回	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	//		
第21回	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	//		
第23回	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	//		
第25回	マチエール研究による作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	//		
第27回	マチエール研究による作品制作 (作品提出)		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	//	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する (アクティブラーニング)	
第29回	トリックアート制作 (前提講義、アイデアスケッチ)		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	//		

第31回	トリックアート制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第32回	//		
第33回	トリックアート制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第34回	//		
第35回	トリックアート制作（作品提出）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第36回	//	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第37回	オリジナル作品制作（前提講義、アイデアスケッチ）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第38回	//		
第39回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第40回	//		
第41回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第42回	//		
第43回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第44回	//		
			予習45分：次回実習

第45回	オリジナル作品制作		内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第46回	//		
第47回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第48回	//		
第49回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第50回	//		
第51回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第52回	//		
第53回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第54回	//		
第55回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第56回	//		
第57回	オリジナル作品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第58回	//		
第59回	オリジナル作品制作（作 品提出）		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容

			とポイント・配布資料の確認
第60回	〃	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

アイデア考案、情報収集を授業準備時に行い自身の考えをまとめる。目標到達に向け、主体的な学習を授業時に行い技能習得に努める。

オフィス・アワー

月曜日、12:30～13:20（昼休み）、1号館1F:111研究室（松村）
木曜日、12:30～13:20（昼休み）、1号館2F:121研究室（佐野）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R130

講義コード	40200002
講義名	アート・デザインII (吉沢/門倉)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインIを受けて、更に専門的に学んでいく。基礎技法の更なる修得及びマンガ制作の核とも言えるネーム作業のノウハウについて学び、プロットの立て方、ストーリー展開、ページ割り、コマ割りについて等様々なスキルを身につけていくこと、またはCGイラスト制作のための基本的な技術を学び習得することを教育目標とする。
 共通テーマによる制作を通して個人の感性の違いについても理解を深める。
 ※シラバスの内容・実施順については状況により変更する場合がある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品・CGイラストを、やがてはプロとして活躍の場を持つことも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

- 以下を到達目標とする。
- ・基礎技法修得。
 - ・キャラクターやストーリーについての理解。
 - ・ネーム作業のノウハウの理解。
 - ・与えられたテーマによるストーリー作品のクオリティーアップ。
 - ・CGイラストの基礎技法習得。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	テーマによる1ページイラスト		予習：90分 テーマによ

第1回	ト・マンガ またはテーマによるCGイラスト		る1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト準備
第2回	テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第3回	テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第4回	テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第5回	テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第6回	テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第7回	テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第8回	テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 テーマによる1ページイラスト・マンガ またはテーマによるCGイラスト振り返り
第9回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーCGイラスト5枚		予習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーCGイラスト5枚準備
第10回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーCGイラスト5枚		復習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーCGイラスト5枚制作
第11回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーCGイラスト5枚		予習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーCGイラスト5枚制作

			作
第23回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーC Gイラスト5枚		予習：90分 テーマによ る5ページマンガ またはテーマによるカ ラーCGイラスト5枚制 作
第24回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーC Gイラスト5枚		復習：90分 テーマによ る5ページマンガ またはテーマによるカ ラーCGイラスト5枚制 作
第25回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーC Gイラスト5枚		予習：90分 テーマによ る5ページマンガ またはテーマによるカ ラーCGイラスト5枚制 作
第26回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーC Gイラスト5枚		復習：90分 テーマによ る5ページマンガ またはテーマによるカ ラーCGイラスト5枚制 作
第27回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーC Gイラスト5枚		予習：90分 テーマによ る5ページマンガ またはテーマによるカ ラーCGイラスト5枚制 作
第28回	テーマによる5ページマンガ またはテーマによるカラーC Gイラスト5枚／完成・提 出・講評	講評会での鑑賞・発表を 通し、お互いの作品につ いて意見交換を行う	復習：90分 テーマによ る5ページマンガ またはテーマによるカ ラーCGイラスト5枚振 り返り
第29回	オリジナル12ページマンガ ／プロット またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		予習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラス ト6枚とモノクロCGイ ラスト6枚準備
第30回	オリジナル12ページマンガ ／プロット またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		復習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラス ト6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
第31回	オリジナル12ページマンガ ／プロット またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		予習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラス ト6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
第32回	オリジナル12ページマンガ ／プロット またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		復習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラス ト6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
	オリジナル12ページマンガ ／ネーム		予習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作

	枚		ラスト6枚制作
第55回	オリジナル12ページマンガ ／仕上げ またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		予習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラスト 6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
第56回	オリジナル12ページマンガ ／仕上げ またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		復習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラスト 6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
第57回	オリジナル12ページマンガ ／仕上げ またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		予習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラスト 6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
第58回	オリジナル12ページマンガ ／仕上げ またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		復習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラスト 6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
第59回	オリジナル12ページマンガ ／仕上げ またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚		予習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラスト 6枚とモノクロCGイ ラスト6枚制作
第60回	オリジナル12ページマンガ またはカラーCGイラスト6 枚とモノクロCGイラスト6 枚／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を 通し、お互いの作品につ いて意見交換を行う	復習：90分 オリジナル 12ページマンガ制作 またはカラーCGイラスト 6枚とモノクロCGイ ラスト6枚振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 課題提出80% 授業参加度20%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。

必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。

オフィス・アワー

月曜日 10:50-11:00 1号館103教室（門倉） 木曜日 10:50-11:00 1号館103教室（吉沢）

科目区分

専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R130

講義コード	40200003
講義名	アート・デザインII (小松原/三関)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインII(G)では、アート・デザインI(G)に続き、更に実践的技術と専門的知識を身につけるべく授業展開を図る。特に各ジャンル別のプレゼンテーションテクニック、DTP入稿の為の知識と技術を養い、実際のデザインの現場をシュミレーションすることで、プロへの意識を感じ取り、更にはグラフィックデザイナーとしての領域での実践力を身につける。デザインって面白い！そんな感動を授業を通して感じ取らせたい。テーマから発想し、コンセプトを導き出し、表現の為の構成要素へのアイデアの生み出し方を理解することで、クリエイターとして、そしてグラフィックデザインに対しての創作意欲と情熱を持たせる。

担当教員／月曜日：小松原 木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。
- ◆業界の全体像、その仕組み、戦略などについて理解を更に深める。
- ◆DTPの為の操作技術を身につけ、発想を具体的に美しく表現できるようになる。更に応用力を身につける。

授業計画			
	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために 必要な時間

第1回	課題概要説明 雑誌広告に関するレクチャー 市販されている化粧品の中からテーマを決め、雑誌見開きページのデザインをする。発想～サムネイル制作		予習45分： シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分： 配布資料の見直し
第2回	//		//
第3回	発想～サムネイル制作 担当講師のサムネイルでの承認を得てから、MACによる制作に入る。		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第4回	//		//
第5回	発想～サムネイル制作 担当講師のサムネイルでの承認を得てから、MACによる制作に入る。		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第6回	//		//
第7回	メインビジュアル・文字要素等の構成要素を考え、制作する。朝日広告賞公募作品制作について概要説明		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第8回	//		//
第9回	メインビジュアル・文字要素等の構成要素を考え、制作する。		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第10回	//		//
第11回	MACによる制作の継続 仕上げ・プリント		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第12回	//		//
第13回	作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 ●次の新課題 パッケージデザイン制作についての概要説明 ●各自に朝日広告賞公募テーマの確認▶サムネイル同時進行へ	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予習45分： プレゼンテーションの準備 復習45分： 講評内容について検証
第14回	//		//

第15回	<p>広告とセールスプロモーション及びパッケージデザインに関するレクチャー。</p> <p>パッケージデザインの概要説明 スナック菓子の新パッケージデザインを考える。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。</p>		<p>予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習</p>
第16回	//		//
第17回	<p>発想からサムネイルへ。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。</p>		<p>予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習</p>
第18回	//		//
第19回	<p>サムネイルから構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。</p>		<p>予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習</p>
第20回	//		//
第21回	<p>構成要素（ビジュアル・タイトルなどの文字要素）の制作へ。朝日広告賞公募テーマ</p>		<p>予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習</p>
第22回	//		//
第23回	<p>MACによるカンパ制作の継続。</p>		<p>予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習</p>
第24回	//		//
第25回	<p>MACによるカンパ制作の継続 ●朝日広告賞公募テーマのサムネイル提出▶ビジュアル制作へ</p>		<p>予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習</p>
第26回	//		//
第27回	<p>仕上げ・デザインを厚紙にプリント出力し、パッケージを立体に仕上げる。 ●パッケージデザインをした新製品のポスター等制作プロセスの概要説明</p>		<p>予習45分： レクチャー 内容の予習 復習45分： レクチャー 内容の復習</p>
第28回	//		
			予習45分：

第29回	作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 ●次の新課題 公共広告デザインの概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第30回	//		
第31回	中吊りワイド広告をデザインする。 ●広告レクチャー 発想～アイデアスケッチ～サムネイル制作～カンブ制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第32回	//		
第33回	発想からサムネイルへ。内容・タイトル・メインビジュアル・全体レイアウトを考えサムネイルに反映する。 ●朝日広告賞公募テーマ・ビジュアル制作進捗状況確認		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第34回	//		
第35回	カンブ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピーライティングを行う。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第36回	//		
第37回	カンブ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピーライティングを行う。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第38回	//		
第39回	制作の継続。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第40回	//		
第41回	制作の継続。		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第42回	//		//
43	作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 講評	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーション	予習45分：プレゼンテーション

第 回	●次の新課題 朝日広告賞公募作品制作についての概要説明	ンテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	の準備 復習45分： 講評内容について検証
第44回	//	//	//
第45回	●朝日広告賞公募テーマ・ビジュアル完成データの提出 サムネイルに基づき制作を進行する。担当講師のサムネイルでの承認を得てから、MACによる制作に入る。		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第46回			//
第47回	制作進行		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第48回	//		//
第49回	制作進行		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第50回	//		//
第51回	制作進行		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第52回	//		//
第53回	制作進行		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第54回	//		//
第55回	レイアウト仕上げ 大判インク ジェットプリンタによるプリント		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー内容の復習
第56回	//		//
第57回	レイアウト仕上げ 大判インク ジェットプリンタによるプリント		予習45分： レクチャー内容の予習 復習45分： レクチャー

			内容の復習
第58回	//		//
第59回	作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 応募送付（梱包・送付手配まで）学生による授業評価	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第60回	//	//	//

教科書

使用しない

参考書

使用しない

必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が60点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常の中のいろんなメディアに関心を持ってください。それらメディアの多くがプロのデザイナーによりデザインされたものです。積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練を。また、積極的にポートフォリオ（作品集）のための作品制作と準備を始めてください。ポートフォリオのクオリティが就活のための重要な条件となります。授業では、デザイン業界の現場で実際に多く取り組んでいる内容を中心に授業を展開。毎回、進行業況に合わせた制作プロセスの説明がありますので、1回1回の授業が大切です。休まず出席して下さい。

※特にデザインに関するレクチャーやMACの操作方法については、専用のノートを用意し書き留めること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：

三関：木曜日 10:50～11:00 場所：1号館 3F 104教室

小松原：月曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R130

講義コード	40200004
講義名	アート・デザインII (寺村/石井智)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

ファッションの分野は洋服だけでなく帽子、鞆など現代の生活の中で多岐に渡るものが対象となり、それらはブランドのコンセプトや世界観が製品のかたちに反映されている。多様化する現代のニーズに対応できる知識を修得するために、ファッションの歴史、市場の動向やトレンドをふまえ自身の作品においてもブランディングを行う。

さらに、採寸を行い自身の体型にあわせた原型を基に製図や縫製の基礎技術および繊維素材や染織加工の方法、トレンドカラーに関する知識を取得し、ブラウス、パンツ、ヘッドピース、バッグの制作する。

染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの基礎を学ぶことで、身体と布との関係性を探りながらファッションとしての表現や、ファッションに関わるトータルな提案を行うことができる能力を養う。

原則として月曜→寺村、木曜→石井、で行うが、内容に応じて変更する場合があります。
 ※本授業は作品の提出及びまとめたノート等により成績評価を行い、定期試験は実施いたしません。

本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレグウェアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得し、ファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生が素材と被服に関する制作を通し、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使

用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	寺村サチコ	ファッションと色彩 1 (トレンドカラー)		予習 45分 カラーチップを準備しておく 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第2回	寺村サチコ	同上		上記参照
第3回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 地直しの準備 (水に一晩浸し、干しておく) 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第4回	石井智子	同上		上記参照
第5回	寺村サチコ	ファッションと色彩 2 (ドローイング)	ドローイングを行ったものを学生同士で見せ合い意見交換を行う	予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第6回	寺村サチコ	同上	同上	上記参照
第7回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	石井智子	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第10回	寺村サ	同上		上記参照

	チコ			
第11回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第12回	石井智子	同上		上記参照
第13回	寺村サチコ	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第14回	寺村サチコ	同上		上記参照
第15回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	石井智子	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
第19回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第20回	石井智子	同上		上記参照
第21回	寺村サチ	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の

	コ			準備を行う
第22回	寺村サチコ	同上		上記参照
第23回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第24回	石井智子	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第26回	寺村サチコ	同上		上記参照
第27回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第28回	石井智子	同上		上記参照
第29回	寺村サチコ	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第30回	寺村サチコ	同上		上記参照
第31回	石井智子	バッグ/ブラウスの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第32回	石井智子	同上		上記参照

第33回	寺村サチコ	織技法の演習 (平織、綾織、朱子織)		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第34回	寺村サチコ	同上		上記参照
第35回	石井智子 寺村サチコ	バッグ/ブラウスの制作 講評会、作品撮影	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第36回	石井智子	同上	同上	上記参照
第37回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 どのようなヘッドピースがあるか調べておく 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第38回	寺村サチコ	同上		上記参照
第39回	石井智子	パンツの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第40回	石井智子	同上		上記参照
第41回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第42回	寺村サチコ	同上		上記参照

第43回	石井智子	パンツの制作		予習 45分 地直しの準備（水に一晩浸し、干しておく） 復習 45分 作業の確認と次回授業の準備を行う
第44回	石井智子	同上		上記参照
第45回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第46回	寺村サチコ	同上		上記参照
第47回	石井智子	パンツの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第48回	石井智子	同上		上記参照
第49回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 デザイン画と擦り合わせを行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第50回	寺村サチコ	同上		上記参照
第51回	石井智子	パンツの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第52回	石井智子	同上		上記参照
第53回	寺村サチ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の

	コ			準備を行う
第54回	寺村サチコ	同上		上記参照
第55回	石井智子	パンツの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第56回	石井智子	同上		上記参照
第57回	寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピースの制作		予習 45分 材料の準備を行う 復習 45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第58回	寺村サチコ	同上		上記参照
第59回	石井智子 寺村サチコ	織技法を用いたヘッドピース、パンツの制作 講評会、作品撮影	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第60回	石井智子 寺村サチコ	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション大系 服飾造形講座①～⑥

服地の基本がわかるテキスタイル事典

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上 / 1. 平常点 (取組みの姿勢) 30% 2. 作品点 / 70%

上記1および2の総合評価が50点 (%) 以上を獲得した学生に単位を認定する。

※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。

オフィス・アワー

寺村：月 16：30-18：20 寺村研究室（122）

石井：木（9：20-12：30）、105教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R130

講義コード	40200005
講義名	アート・デザインII (山本博/及川)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	山本, 及川共に「デザイン事務所」を経営. 教員の实務経験をもとにインテリア・空間デザインの応用力を育ませる授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

インテリア・空間デザインの領域では、パーソナルなインテリア空間から社会を包括する都市空間まで、人々に関わる様々な空間を対象としている。本講座では、まず表示技術としての「CAD」を習得してデザイン課題に取り組む技術を習得する。デザイン課題の前半では「住まい」を題材に「思いをかたちにする力（主観的なイメージを客観化させる力）」、後半では「店舗」を題材に「かたちで第三者を共感させる力（共感性あるデザインを創出する力）」を養う。課題の対象を「自分」から「第三者」、面積も大きくなり、販売という目的の増加など、徐々に与件が増していく課題設定で段階的な学びを得る。両課題では、与件に基づいて企画、計画、デザインをおこない、プレゼンテーション用にまとめ、いわゆる業務フローに沿ったプロセスを体験する。また、本領域に関わる安全や法規、経営にも触れ、実践的な空間デザインに向けた応用力を養っていく。

本講座の教育目標は「共感性ある空間デザインを創出する力を身につけ、実践的な空間デザインに向けた応用力を育むこと」である。なお、状況に応じて学外の現場見学や外部講師を招いた講義の機会をもうける。本講座は商業施設士補資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、CADでの表現に取り組み、調査からキーワードを抽出したイメージ表現と、機能や要求を考慮した共感性あるデザインに取り組む。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、本講座では「共感性ある空間デザインを創出する力」を身につけることを目指す。

到達目標

本講座の到達目標は

1. CADの習得
2. 調査からキーワードを抽出したイメージ表現力の習得
3. 機能や要求を考慮した共感性あるデザイン力の習得
4. 経営的な感覚の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	及川澄人	CADの概念	<アクティブラーニング> CAD使用の意義をテーマに意見 交換する	予習：20分 CAD使用の意義に ついて調べておく こと 復習：20分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第2回	及川澄人	基本操作の習得		予習：25分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：25分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第3回	山本博一	基本操作の習得		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第4回	山本博一	同上		
第5回	及川澄人	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第6回	及川澄人	同上		
第7回	山本博一	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第8回	山本博一	同上		

	一			
第9回	及川澄人	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第10回	及川澄人	同上		
第11回	山本博一	作図課題 平面図の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第12回	山本博一	同上		
第13回	及川澄人	作図課題 展開図の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第14回	及川澄人	同上		
第15回	山本博一	作図課題 展開図の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第16回	山本博一	同上		
第17回	及川澄	インテリアエレメントの 理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分

	人			制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第18回	及川澄人	インテリアエレメントの 理解とデザイン イメージスケールの制作	<アクティブラーニング> 思いをかたちにするデザインを テーマに意見交換する	
第19回	山本博一	インテリアエレメントの 理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第20回	山本博一	同上		
第21回	及川澄人	インテリアエレメントの 理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第22回	及川澄人	同上		
第23回	山本博一	インテリアエレメントの 理解とデザイン イメージスケールの制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第24回	山本博一	同上		
第25回	及川澄人	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第26回	及川澄	同上		

	人			
第27回	山本博一	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第28回	山本博一	同上		
第29回	及川澄人	図面の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第30回	及川澄人	同上		
第31回	山本博一	パースペクティブドロー イングの制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第32回	山本博一	同上		
第33回	及川澄人	パースペクティブドロー イングの制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第34回	及川澄人	同上		
第35回	山本博	講評会	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーショ ンし、教員の講評と学生同士が意	予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分

	一		見交換する	制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第36回	山本博一	同上	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーション し、教員の講評と学生同士が意 見交換する	
第37回	及川澄人	空間によるコミュニケー ションの理解II <アクティブラーニング > ショップデザインの題材 となることをテーマに意 見交換する		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第38回	及川澄人	ブランド研究／立地等環 境の調査		
第39回	山本博一	機能とゾーニング及び動 線計画		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第40回	山本博一	同上		
第41回	及川澄人	RC構造／S造と設備の理 解 図面の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第42回	及川澄人	同上		
第43回	山本博一	RC構造／S造と設備の理 解 図面の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第44回	山本博	同上		

	一			
第45回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第46回	及川澄人	同上		
第47回	山本博一	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第48回	山本博一	同上		
第49回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第50回	及川澄人	同上		
第51回	山本博一	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第52回	山本博一	同上		
第53回	及川澄	完成予想図 (パース画) の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習：45分

	人			制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第54回	及川澄人	同上		
第55回	山本博一	完成予想図 (パース画) の制作		予習: 45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習: 45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第56回	山本博一	同上		
第57回	及川澄人	完成予想図 (パース画) の制作		予習: 45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習: 45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第58回	及川澄人	同上		
第59回	山本博一	講評会	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーション し, 教員の講評と学生同士が意 見交換する	予習: 45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む) 復習: 45分 制作をすすめる (制作はコンペ等 も含む)
第60回	山本博一	同上	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーション し, 教員の講評と学生同士が意 見交換する	

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合版 (下), (社) インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図, 編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する
フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする

オフィス・アワー

山本：月曜日, 16:30-18:10, 山本研究室 (1号館131)

及川：木曜日, 10:50-11:00, 山本研究室 (1号館131)

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R130

講義コード	40210001
講義名	アート・デザインIII (松村/佐野)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

イラストレーション・絵画I、IIで習得した多様な表現と知識、技術を更に追求する。各テーマごとに独自の表現ができるように、技法にも配慮して授業を進める。それと同時に、用いられた表現が一人よがりにならないようにチェックして、第三者の評価を受けるに値する作品レベルを意識していく。そして、後期の卒業制作につながるような授業展開を行う。各自が持っている表現に対する欲求を、的確な形で表現できるようになる事を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的な理解し、実践的なイラストレーターやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得を目指す。その行程として、的確な技術に裏打ちされた表現方法の習得と完成度の高い作品制作をする。

到達目標

- 出版・広告業界で求められるイラスト技術の習得
- 平面絵画技法による立体・空間表現の習得
- 版画技法で描く表現の習得
- 口頭説明による明瞭なプレゼンテーション能力の習得

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ストーリーをテーマとした平面表現（前提講義、エスキース）		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認

第2回	ストーリーをテーマとした平面表現（エスキース）		
第3回	CGとペイントの複合表現（前提講義、エスキース）		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	CGとペイントの複合表現（エスキース）		
第5回	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	ストーリーをテーマとした平面表現		
第7回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		
第9回	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	ストーリーをテーマとした平面表現		
第11回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		
第13回	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	ストーリーをテーマとした平面表現		

第15回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		
第17回	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	ストーリーをテーマとした平面表現		
第19回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		
第21回	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	ストーリーをテーマとした平面表現		
第23回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	CGとペイントの複合表現（CGによるキャラクター作成）		
第25回	ストーリーをテーマとした平面表現		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	ストーリーをテーマとした平面表現		
	CGとペイントの複合		予習45分：次回実習内容に関連する情報

第27回	表現（手描きによる背景作成）		収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第28回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		
第29回	ストーリーをテーマと した平面表現		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第30回	ストーリーをテーマと した平面表現（作品提 出）	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換をする。 （アクティブラーニング）	
第31回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第32回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		
第33回	アッサンブラージュ作 品制作（前提講義、エ スキース）		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第34回	アッサンブラージュ作 品制作（エスキース）		
第35回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第36回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		
第37回	アッサンブラージュ作 品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第38回	アッサンブラージュ作 品制作		
第39回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集

	景作成)		復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第40回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		
第41回	アッサンブラージュ作 品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第42回	アッサンブラージュ作 品制作		
第43回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第44回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		
第45回	アッサンブラージュ作 品制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第46回	アッサンブラージュ作 品制作（作品提出）	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換をする。 （アクティブラーニング）	
第47回	CGとペイントの複合 表現（手描きによる背 景作成）		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第48回	CGとペイントの複合 表現（作品提出）	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換をする。 （アクティブラーニング）	
第49回	シルクスクリーン実習 （前提講義、エスキ ース）		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第50回	シルクスクリーン実習		
第51回	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資

			料の確認
第52回	シルクスクリーン実習		
第53回	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第54回	シルクスクリーン実習		
第55回	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第56回	シルクスクリーン実習		
第57回	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第58回	シルクスクリーン実習		
第59回	シルクスクリーン実習		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第60回	シルクスクリーン実習 (作品提出)	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する。(アクティブラーニング)	

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
(アクティブラーニング)

履修のポイント

授業準備時に、美術館やギャラリー、図書館で現地調査を行い、イラストレーションと絵画表現の知識を広げる。

オフィス・アワー
月曜日、12:30~13:20 (昼休み)、1号館1F:111研究室 (松村) 木曜日、12:30~13:20 (昼休み)、1号館2F:121研究室 (佐野)
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R150

講義コード	40210002
講義名	アート・デザインIII (吉沢/門倉)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	両教員共にプロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かして学生の作品制作に対して指導・助言を行い完成作品の質の向上を目指す。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉沢 正美	指定なし
教員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業ではアートデザインIIを受けて、更に専門的に学んでいくことを教育目標としている。短編作品の構成・画面効果等について学習しながら、またCGイラスト制作技術を修得しながら、オリジナル作品の制作を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、制作するマンガ作品・CGイラストを、やがてはプロとして活躍の場を持つことも視野に入れられるレベルとしていく。そのための知識・技術を授業を通して学び、自ら身につけていくことを目的としている。

到達目標

以下に到達目標を記す。

- ・基礎技法修得の確認。
- ・様々な描法の確認。
- ・ネーム作業のノウハウの修得。
- ・様々なCGイラスト技術の修得。
- ・オリジナルストーリー作品、オリジナルCGイラストのクオリティアップ。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	テーマによる5ページマンガ/プロット またはテーマによるCG		予習：90分 テーマによる5ページマンガ

	イラスト		またはテーマによる CGイラスト準備
第2回	テーマによる5ページマンガ／プロット またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第3回	テーマによる5ページマンガ／ネーム またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第4回	テーマによる5ページマンガ／ネーム またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第5回	テーマによる5ページマンガ／ネーム またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第6回	テーマによる5ページマンガ／ネーム またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第7回	テーマによる5ページマンガ／下描き またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第8回	テーマによる5ページマンガ／下描き またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第9回	テーマによる5ページマンガ／下描き またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第10回	テーマによる5ページマンガ／下描き またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第11回	テーマによる5ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 テーマによる5ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
	テーマによる5ページマ		復習：90分 テーマ

第12回	マンガ／ペン入れ またはテーマによるCG イラスト		による5ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第13回	テーマによる5ページマ ンガ／ペン入れ・トーン ワーク またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 テーマ による5ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第14回	テーマによる5ページマ ンガ／ペン入れ・トーン ワーク またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 テーマ による5ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第15回	テーマによる5ページマ ンガ／ペン入れ・トーン ワーク またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 テーマ による5ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第16回	テーマによる5ページマ ンガ またはテーマによるCG イラスト／完成・提出・ 講評	講評会での鑑賞・発表を通し、 お互いの作品について意見交換 を行う	復習：90分 テーマ による5ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト振り返り
第17回	オリジナル24ページマ ンガ／発想・プロット またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト準備
第18回	オリジナル24ページマ ンガ／発想・プロット またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第19回	オリジナル24ページマ ンガ／発想・プロット またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第20回	オリジナル24ページマ ンガ／発想・プロット またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第21回	オリジナル24ページマ ンガ／ネーム制作 またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第22回	オリジナル24ページマ ンガ／ネーム制作 またはテーマによるCG		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる

	イラスト		CGイラスト制作
第23回	オリジナル24ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第24回	オリジナル24ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第25回	オリジナル24ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第26回	オリジナル24ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第27回	オリジナル24ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第28回	オリジナル24ページマンガ／ネーム制作 またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第29回	オリジナル24ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第30回	オリジナル24ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第31回	オリジナル24ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第32回	オリジナル24ページマンガ／ネームチェック またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
	オリジナル24ページマ		予習：90分 オリジナル24ページマン

第33回	マンガ／ネームチェック またはテーマによるCG イラスト		ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第34回	オリジナル24ページマ ンガ／ネームチェック またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第35回	オリジナル24ページマ ンガ／ネームチェック またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第36回	オリジナル24ページマ ンガ／ネームチェック またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第37回	オリジナル24ページマ ンガ／下描き またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第38回	オリジナル24ページマ ンガ／下描き またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第39回	オリジナル24ページマ ンガ／下描き またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第40回	オリジナル24ページマ ンガ／下描き またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第41回	オリジナル24ページマ ンガ／下描き またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第42回	オリジナル24ページマ ンガ／下描き またはテーマによるCG イラスト		復習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作
第43回	オリジナル24ページマ ンガ／下描き またはテーマによるCG イラスト		予習：90分 オリジ ナル24ページマン ガ またはテーマによる CGイラスト制作

第44回	オリジナル24ページマンガ／下描き またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第45回	オリジナル24ページマンガ／下描き またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第46回	オリジナル24ページマンガ／下描き またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第47回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第48回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第49回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第50回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第51回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第52回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第53回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第54回	オリジナル24ページマンガ／ペン入れ またはテーマによるCG		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによる

	イラスト		CGイラスト制作
第55回	オリジナル24ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第56回	オリジナル24ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第57回	オリジナル24ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第58回	オリジナル24ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるCGイラスト		復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第59回	オリジナル24ページマンガ／トーンワーク またはテーマによるCGイラスト		予習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト制作
第60回	オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト／完成・提出・講評	講評会での鑑賞・発表を通し、 お互いの作品について意見交換を行う	復習：90分 オリジナル24ページマンガ またはテーマによるCGイラスト振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて資料配布）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 課題提出80% 授業参加度20%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

前提講義や講評会での意見・感想、個別対応でのコメント等をフィードバックとし、授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。授業態度及び作品の完成度等を重視する。

必ず期限内に提出するために、授業時間外でも自主的に作品の構想、制作を進めること。

オフィス・アワー

月曜日 14:50-15:00 1号館103教室（門倉） 木曜日14:50-15:00 1号館103教室（吉沢）

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R150

講義コード	40210003
講義名	アート・デザインIII (小松原/三関)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、DTPやパッケージデザインなどの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインIII(G)では、グラフィックデザインの今日における重要性にスポットを当てながら、視覚を媒体として情報を伝えるグラフィックデザインの可能性、視覚表現のコミュニケーションという視点をもとに、サインやロゴ、印刷メディア含む映像メディアなどの幅広いスタンスでの理解を深めるとともに、時代が必要とするグラフィックデザインの領域、特に広告メディアにとっての大きな要素であるコンセプトの発想や各構成要素の表現などについても幅広く学んでいく。

マーケティング戦略的スタンス～広告表現コンセプト～キャッチフレーズ・ビジュアルなど表現アイデアの幅広い視点からの発想法を身につけ、制作の為の一連のプロセスを理解し、自分のものとして実践できること、またグラフィックデザイン業界に向けてのスキルと理解をより深めることで、デザインの現場がより現実的な視野となり、グラフィックデザイン業界に進む学生にとって、その自信と力を育成する。

担当教員／月曜日：小松原 木曜日：三関

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、グラフィックデザインの知識や技能の習得、また実践的なデザイナーとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ◆業界におけるグラフィックデザインの役割とその発想・制作プロセスを明確に理解することで、更なる発想力を身につける。
- ◆業界グラフィックデザインの現場で難易度が高く、かつ大切な要素を授業テーマとした。理解することで現場での大きな自信に繋げる。
- ◆DTPソフトの操作テクニックを更に習得していくことで、グラフィックデザインの表現領域を広め、スキルを深める。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	Branding Design新課題について概要説明 各自テーマ（モチーフとなる企業や店舗） の決定→シンボルマーク・ロゴタイプのデ ザインを考える→シンボルマーク・ロゴタ イプ等ブランドマークのアイデアスケッ チ。Basic Designの基本要素へ		予 習45分： シラバス を事前に よく読み 理解して おくこ と。 復 習45分： 配布資料 の見直 し。
第2回	//		"
第3回	Branding Designの基本レクチャー シンボ ルマーク・ロゴタイプ等ブランドマークの アイデアスケッチ→Basic Design基本要素 の制作		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第4回	//		"
第5回	ベーシックデザイン（シンボルマーク・ロ ゴタイプ等ブランドマーク）の制作 オリ ジナル及びフォントからのアレンジ等数点 起こす→担当講師への確認→シンボルマ ーク・ロゴタイプ等ブランドマークの決定		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第6回	//		"
第7回	ブランドマークの決定→コーポレートカ ラーの設定 （DICCOLOR+CMYK+RGB）→ベーシック デザインの完成→アプリケーションの制作 へ Mock Upの使い方等の指導		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第8回	//		"
			予 習45分：

第9回	アプリケーションの制作内容は必要と思われるものを自由にチョイス ※なお、アプリケーションの一つとして、営業案内用A4両面三つ折りパンフレット（巻き三つ折り）を制作します。		レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第10回	//		"
第11回	アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導		予 習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第12回	//		"
第13回	アプリケーションの制作→継続制作上のポイント等の指導		予 習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第14回	//		"
第15回	アプリケーションの制作		予 習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第16回	//		"
第17回	Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作 アプリケーションとしてプレゼンボードに加える。三つ折りパンフレット台紙制作		予 習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第18回	//		"
			予

第19回	Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作		習45分： レク チャ－内容の予習 復 習45分： レク チャ－内容の復習
第20回	//		"
第21回	Branding Designのテーマの営業案内用A4両面巻き三つ折りパンフレット制作		予 習45分： レク チャ－内容の予習 復 習45分： レク チャ－内容の復習
第22回	//		"
第23回	アプリケーションの制作・仕上げ		予 習45分： レク チャ－内容の予習 復 習45分： レク チャ－内容の復習
第24回	//		"
第25回	アプリケーションの制作・仕上げ→A2版変形サイズへのレイアウトデザイン（プレゼンボードの作成）		予 習45分： レク チャ－内容の予習 復 習45分： レク チャ－内容の復習
第26回	//		"
第27回	作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 次回からの課題について概要説明	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予 習45分： プレゼンテーションの準備 復 習45分： 講評内容について 検証
第28回	//	"	"

第29回	●新聞広告レクチャー新聞全10段・清涼飲料カラー広告デザインの概要説明 発想～サムネイル制作		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第30回	//		""
第31回	発想～サムネイル制作（担当講師に確認後）～カンプ制作 ビジュアルの制作、キャッチコピーなどコピーライティングを行う 各構成要素の制作（ビジュアルの制作及びコピーライティング）		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第32回	//		"
第33回	各構成要素の制作		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第34回	//		
第35回	各構成要素の制作		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習
第36回	//		"
第37回	各構成要素の制作		予習45分： レク チャー内容の予習 復習45分： レク チャー内容の復習

第38回	//		"
第39回	各構成要素の制作		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第40回	//		"
第41回	全体レイアウト・仕上げ・プリント		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第42回	//		"
第43回	作品及び作品データ（コンセプトシート データ含む）の提出 次回からの課題について概要説明	自身の作品をプレゼンテー ションする。そのプレゼン テーションテクニックも重 視。講師の講評のほか、学 生同士のディスカッション なども実施する。	予 習45分： プレゼン テーショ ンの準備 復 習45分： 講評内容 について 検証
第44回	//	"	"
第45回	●新課題 エディトリアルデザイン（ブック デザイン）についての概要説明 各自自由に本のテーマを決める。サイズの 見本となる本を用意する。発想～サムネイ ル～ビジュアル・タイトルなど各構成要素 についてアイデアを考える		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内 容の復習
第46回	//		""
第47回	サムネイル～ビジュアル・タイトルなど各 構成要素についてアイデアを考える		予 習45分： レク チャー内 容の予習 復 習45分： レク チャー内

			容の復習
第48回	//		
第49回	制作の継続 展開台紙（折りトンボ等）制作オペレーション・レクチャー→カンパ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第50回	//		"
第51回	カンパ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第52回	//		"
第53回	カンパ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第54回	//		"
第55回	カンパ制作		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レクチャー内容の復習
第56回	//		"
第57回	制作の継続・B3版プレゼン用レイアウト仕上げ、及びカバー+帯をプリントしたものを実際に本に巻く。		予習45分：レクチャー内容の予習復習45分：レク

			チャージ内容の復習
第58回	//		"
第59回	エディトリアルデザイン（ブックデザイン）作品及び作品データ（コンセプトシートデータ含む）の提出 学生による授業評価	自身の作品をプレゼンテーションする。そのプレゼンテーションテクニックも重視。講師の講評のほか、学生同士のディスカッションなども実施する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評内容について検証
第60回	//	"	"

教科書

使用しない

参考書

使用しない

必要に応じてプリントを配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

1.学習態度10% 2.作品点(完成度・オリジナリティ)80% 3.プレゼンテーションテクニック10%
上記1～3の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

各課題毎にプレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、今後の制作に活かしてほしい。

履修のポイント

デザインセンスや発想力を身につけるためには、日常から積極的により良いデザインを見て、その良さを感じ取る訓練をしていきましょう。また、積極的にポートフォリオ（作品集）の制作を進め、早い時期から担当講師に相談し、助言を受けながらクオリティの高いポートフォリオ完成させましょう。ポートフォリオはデザイン業界では就活には欠かせない条件です。実際のデザイン制作現場での応用的扱い方の習得も含めて授業を展開。幅広い視点での発想法や発想したデザインを、自在に制作できるよう指導していきます。その為にも、デザイン、DTP関連の資料にも積極的に目を通し、作品制作の方法論と実戦感覚を養う努力をすること。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：

三関：木曜日 14:50～15:00 場所：1号館3F104教室

小松原：月曜日 12:30～13:20 場所：1号間2F124研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R150

講義コード	40210004
講義名	アート・デザインIII (寺村/石井智)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

アート・デザインIIIでは、ジャケットの制作、デジタルテキスタイルによる制作、織技法によるアイテム制作によりアート・デザインI、IIで習得した基礎技術および繊維素材や染織加工について、さらに知識を深める。一枚の布がもつ可能性や体と布との関係性をさらに追及し、ファッションとしての表現やファッションに関する現場でのトータルな提案を行うことができる能力を養う。

※原則は、月曜→寺村 木曜→石井で行いますが内容に応じて変更する場合があります
本講座は外部講師を招き、学内外にて授業を行う可能性があります。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間にかかわる衣食住の衣について題材とし、スカートとレッグウェアの実物を制作する。また、ディプロマ・ポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を習得するために染織をはじめとするテキスタイルの技法と洋服づくりの実践を行う。ディプロマ・ポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために本講座ではファッションを幅広く捉え身体と布の関係性に対する豊かな発想力と表現力を得ることを目指す。

到達目標

学生がアート・デザインI、IIをふまえ、被服や繊維加工、染織の技法を応用した表現ができるようになる。
また、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法をわかりやすく明確に第三者に伝えることができるようになる。

授業計画			
担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間

第1回	寺村サチコ	身近にあるテクスチャー 細密描写		予習：45分 身近なテクスチャーについてリサーチしておく 復習：45分 作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第2回	寺村サチコ	同上		上記参照
第3回	石井智子	ジャケット制作 肩パッドの作成		予習：45分 道具の準備 復習：45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第4回	石井智子	同上		上記参照
第5回	寺村サチコ	新しいテクスチャーをつくる		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第6回	寺村サチコ	同上		上記参照
第7回	石井智子	ジャケットの制作 (仮縫い裁断)		予習：45分 道具の準備 復習：45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第8回	石井智子	同上		上記参照
第9回	寺村サチコ	新しいテクスチャーをつくる		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第10回	寺村サチコ	同上		上記参照
第11回	石井智子	ジャケットの制作 (仮縫い)		予習：45分 道具の準備 復習：45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第12回	石井	同上		上記参照

	智子			
第13回	寺村サチコ	織基礎（平織り、綾織り、朱子織）		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第14回	寺村サチコ	同上		上記参照
第15回	石井智子	ジャケットの制作（仮縫い）		予習：45分 道具の準備 復習：45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う
第16回	石井智子	同上		上記参照
第17回	寺村サチコ	織基礎（織機による平織り）		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第18回	寺村サチコ	同上		上記参照
第19回	石井智子	ジャケットの制作（芯張り）		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第20回	石井智子	同上		上記参照
第21回	寺村サチコ	新しいテクスチャーを織るデザイン作成		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第22回	寺村サチコ	同上		上記参照
第23回	石井智子	ジャケットの制作		予習：45分 道具の準備 復習：45分 作業進行の確認と次回授業の準備を行う

	村サチコ	(縫い)		う
第24回	石井智子	同上		上記参照
第25回	寺村サチコ	新しいテクスチャーを織る		予習：45分 織技法についてのリサーチ 復習：45分 作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第26回		同上		上記参照
第27回	石井智子	ジャケットの制作 (縫い)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第28回	石井智子	同上		上記参照
第29回	寺村サチコ	新しいテクスチャーを織る		予習：45分 織技法についてのリサーチ 復習：45分 作業進行の確認と次回 授業の準備を行う
第30回	寺村サチコ	同上		上記参照
第31回	石井智子	ジャケットの制作 (縫い)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第32回	石井智子	同上		上記参照
第33回	寺村サチコ	新しいテクスチャーを織る (縫製、仕上げ)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第34回	寺村サチコ	同上		上記参照
第35回	石井智	ジャケットの制作 (縫い)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる

	子			める
第36回	石井智子	同上		上記参照
第37回	寺村サチコ	新しいテクスチャーを織る (仕上げ、講評会)	学生が自身の作品に対してプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換する	予習：45分 講評会に向けて自身のプレゼンテーションすることをまとめる 復習：45分 講評会で気づいたことのフィードバック
第38回	寺村サチコ	同上		上記参照
第39回	石井智子	ジャケットの制作 (縫い)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第40回	石井智子	同上		上記参照
第41回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによる作品制作 (デザイン)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第42回	寺村サチコ	同上		上記参照
第43回	石井智子	ジャケットの制作 (縫い)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第44回	石井智子	同上		上記参照
第45回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによる作品制作 (デザイン)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第46回	寺村サチコ	同上		上記参照
	石	ジャケットの		予習：45分 制作をすすめる

第47回	井智子	制作 (縫い)		める 復習：45分 制作をすすめる
第48回	石井智子	同上		上記参照
第49回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによる作品制作 (デザイン)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第50回	寺村サチコ	同上		上記参照
第51回	石井智子	ジャケットの制作 (縫い)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第52回	石井智子	同上		上記参照
第53回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによる作品制作 (裁断・縫製)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第54回	寺村サチコ	同上		上記参照
第55回	石井智子	ジャケットの制作 (仕上げ)		予習：45分 制作をすすめる 復習：45分 制作をすすめる
第56回	石井智子	同上		上記参照
第57回	寺村サチコ	デジタルテキスタイルによる作品制作 (仕上げ、講評会)	学生が自身の作品に対してプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換する	予習：45分 講評会に向けて自身のプレゼンテーションすることをまとめる 復習：45分 講評会で気づいたことのフィードバック
第58回	寺村サチコ	同上		上記参照

	コ			
第59回	石井智子	ジャケット制作仕上げ		予習：45分 講評会に向けて自身のプレゼンテーションすることをまとめる 復習：45分 講評会で気づいたことのフィードバック
第60回	石井智子 寺村サチコ	ジャケット制作 講評会	学生が自身の作品に対してプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換する	上記参照

教科書

使用しない

参考書

文化ファッション体系 服飾造形講座①～⑥
服地の基本がわかるテキスタイル事典

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上／実技課題（取り組みの内容50%、完成度30%）・提出期限20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

授業内での各作業に関して個別にフィードバック 講評会で各作品について、個別に評価のポイント等を具体的に指摘する

履修のポイント

実技ですので、特段の理由が無い限り休まず出席して下さい

オフィス・アワー

寺村：月・火 16：30-18：00 寺村研究室（122）
石井：木（9：20-12：30）、105教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R150

講義コード	40210005
講義名	アート・デザインIII (山本博/及川)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	山本、及川共に「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとにインテリア・空間デザインの総合的な提案力を育ませる授業内容
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	及川 澄人	指定なし

授業の概要と教育目標

インテリア・空間デザインの業務では、施主や社会の要求に対して、産業の分野をクロスオーバーし「魅力的な環境」を提案することが求められる。「空間」は通常、建築やグラフィック、その他さまざまなデザイン分野が関連し合っており、空間をデザインする場合は他分野に関わる知識やそれらの監理能力なども要求される。

本講座では、アート・デザインIとIIおよびその他授業で学んだ知識や技術をベースに、空間デザインの実践的な応用力を養う。デザインの対象は、公と私および商業的要素が混在する空間とし、学生各々が教員と協議のうえ、取り組む題材を決定する。題材に対する与件は教員が設定するが、学生は調査で発見したテーマや相応しいイメージを具現化して空間をデザインする。また、その空間を対象に建築や施工、監理についても知る。成果物は、空間と主要アイテムのデザインをまとめ、プレゼンテーションボードを制作する。尚、対象とする施設の都合を考慮し、日程は協議しなければならないが、施設の現地調査（見学）とプレゼンテーション、外部講師を招いた特別授業をおこなう場合がある。

本講座は、与件を整理する力、調査を通じてキーワードを抽出する力、空間とそれに関わるアイテムをデザイン（企画）する力を習得し、インテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることが、当該講座の目標となる。本講座は商業施設士補資格の指定教科である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、環境や生活空間を考慮した与件の整理と、環境や生活空間の調査を通じたデザインのためのキーワードの抽出に取り組む。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、本講座ではインテリア・空間デザインの「総合的な提案力」を身につけることを目指す。

到達目標

- 本講座の到達目標は
1. 与件を整理する力の習得
 2. 調査を通じてキーワードを抽出する力の習得
 3. 空間とそれに関わるアイテムをデザイン（企画）する力の習得

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	山本博一	商業施設の機能とデザインについて	<アクティブラーニング> 商業施設の考え方について意見交換をおこなう	予習：20分 商業施設の事例研究をする 復習：25分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第2回	山本博一	机上調査		予習：20分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：25分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第3回	及川澄人	現地調査 (予定)		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第4回	及川澄人	同上		
第5回	山本博一	デザインング・イメージの醸成		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第6回	山本博一	同上		
第7回	及川澄人	デザインング・空間計画		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第8回	及川澄人	同上		

	人			
第9回	山本博一	デザイン・空間計画		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第10回	山本博一	同上		
第11回	及川澄人	図面制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第12回	及川澄人	同上		
第13回	山本博一	図面制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第14回	山本博一	同上		
第15回	及川澄人	図面制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第16回	及川澄人	同上		
第17回	山本博	図面制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分

	一			制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第18回	山本博一	同上		
第19回	及川澄人	図面制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第20回	及川澄人	同上		
第21回	山本博一	インテリアコーディネート		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第22回	山本博一	同上		
第23回	及川澄人	インテリアコーディネート		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第24回	及川澄人	同上		
第25回	山本博一	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第26回	山本博一	同上		

	一			
第27回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第28回	及川澄人	同上		
第29回	山本博一	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第30回	山本博一	同上		
第31回	及川澄人	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第32回	及川澄人	同上		
第33回	山本博一	模型の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む)
第34回	山本博一	同上		
第35回	及川澄	完成予想図 (パース) の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ等も含む) 復習：45分

	人			制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第36回	及川澄人	同上		
第37回	山本博一	完成予想図（パース）の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第38回	山本博一	同上		
第39回	及川澄人	完成予想図（パース）の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第40回	及川澄人	同上		
第41回	山本博一	完成予想図（パース）の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第42回	山本博一	同上		
第43回	及川澄人	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第44回	及川澄	同上		

	人			
第45回	山本博一	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む）
第46回	山本博一	同上		
第47回	及川澄人	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む）
第48回	及川澄人	同上		
第49回	山本博一	空間デザインに関わるサイン等（グラフィックアイテムほか）の計画		予習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む）
第50回	山本博一	同上		
第51回	及川澄人	プレゼンテーションボードの制作		予習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む）
第52回	及川澄人	同上		
第53回	山本博	プレゼンテーションボードの制作		予習：45分 制作をすすめる （制作はコンペ等も含む） 復習：45分

	一			制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第54回	山本博一	同上		
第55回	及川澄人	プレゼンテーションボード の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第56回	及川澄人	同上		
第57回	山本博一	プレゼンテーションボード の制作		予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第58回	山本博一	同上		
第59回	及川澄人 山本博一	講評会，現地にて（予定）	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーショ ンし，教員の講評と学生同士 が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む) 復習：45分 制作をすすめる (制作はコンペ 等も含む)
第60回	及川澄人 山本博一	同上	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーショ ンし，教員の講評と学生同士 が意見交換する	

教科書

「インテリアコーディネータハンドブック総合版（下），（社）インテリア産業協会」

参考書

「新版 新しい建築製図，編集委員会編」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
作品評価100%
定期試験は実施しない

課題等に対する
フィードバックの方法

課題ごとに授業内で講評会を開催し，学生全員がプレゼンテーションする，講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。

履修のポイント

欠席しないこと。課題は提出期限を厳守すること。期限外は減点の対象とする。

オフィス・アワー

山本：月曜日，16:30-18:10，山本研究室（1号館131）

及川：木曜日，14:50-15:00，山本研究室（1号館131）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R150

講義コード	40220001
講義名	スペースデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとにスペースデザインにおける共感性をもった表現力を育ませる授業内容
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

生活の場には、毎日の寝食や仕事がおこなわれる日常的な空間と、まつりやセレモニーなどが生み出す非日常的な空間が存在する。まつりなどの非日常空間は、地域や風土に根ざした独特の「しつらえ」によって場が生まれ、その意味や人々の感情などを共有させる装置となっている場合が多い。舞台芸術では、物語のテーマや登場人物の心の動きなどが、演技、造形、照明や音響などによって空間表現され、観客に共感させる。また、見本市などにおける企業ブースでは、企業の姿勢や製品のイメージなどが舞台芸術のごとく空間表現され、介在する人々に対してその理念や感覚の共有を求める。

本講座では、空間をひとつの表現媒体（メディア）として捉え、特定の題材について、第三者とイメージを共有するためのスペースデザインをおこない、五感を通じた「共感性」の創出について探求し、制作をおこなう。制作はスケールモデルでのシミュレートまでを計画しており、施工や監理の基礎的なことにも触れる。

本講座は、人間の五感を考慮して共感性をもった表現ができる能力を習得し、抽象的な題材や理念などを解釈して造形テーマに置換できること、およびテーマにもとづいた造形表現ができるようになることを、目標としている。また本講座は、商業施設士補資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、人間の五感について探り共感性を創出することに取り組む。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、共感性を創出する能力、抽象的な題材や理念などを解釈して造形テーマに置換できる力の習得を目指す。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、本講座では、テーマにもとづいた造形表現ができるようになることを目指す。

到達目標

- 本講座の到達目標は、
1. 人間の五感について探り共感性を創出できる力の習得
 2. 抽象的な題材や理念などを解釈して造形テーマに置換できる力の習得
 3. テーマにもとづいた造形表現ができる力の習得

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	日常空間と非日常空間 について	<アクティブラーニング> 非日常生活の空間デザインをテーマ に意見交換する	予習：20分 エンタテーメントの 事例研究をする 復習：25分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む）
第2回	題材の読み取りと表現 の手法 演出空間の計画（イ メージの醸成）、エス キス		予習：20分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む） 復習：25分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む）
第3回	空間の二次元化（空間 のイメージ）		予習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む） 復習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む）
第4回	同上		
第5回	エスキス	<アクティブラーニング> 教員と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む） 復習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む）
第6回	同上	<アクティブラーニング> 教員と学生同士が意見交換する	
第7回	制作		予習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む） 復習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む）
第8回	同上		
第9回	制作		予習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む） 復習：45分 制作をすすめる（制 作はコンペ等も含 む）

第10回	講評会	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、 教員の講評と学生同士が意見交換する	
第11回	非日常空間の計画（題材設定とイメージの構築）		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第12回	テーマ設定 役割分担（造形、照明映像、その他）		
第13回	非日常空間のデザイン エスキス	<アクティブラーニング> 教員と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第14回	同上	<アクティブラーニング> 教員と学生同士が意見交換する	
第15回	非日常空間のデザイン イメージ図の作成		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第16回	同上		
第17回	非日常空間の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第18回	同上		
第19回	非日常空間の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第20回	同上		
			予習：45分

第21回	非日常空間の制作		制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第22回	同上		
第23回	非日常空間の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第24回	同上		
第25回	非日常空間の制作		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第26回	同上		
第27回	非日常空間の制作 セッティング、解体	<アクティブラーニング> 教員と学生同士が意見交換する	予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第28回	講評会	<アクティブラーニング> 学生各々がプレゼンテーションし、 教員の講評と学生同士が意見交換する	
第29回	制作ノート、報告書の まとめ、総括		予習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む） 復習：45分 制作をすすめる（制作はコンペ等も含む）
第30回	同上		

教科書

使用しない

参考書

スペースデザイン論 小石新八監修」 「ディスプレイデザイン 魚成祥一郎監修」

成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 作品評価100% 定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
課題ごとに授業内で講評会を開催し、学生全員がプレゼンテーションする。講評会をおこなわない場合は授業内で学生ごとにフィードバックする。
履修のポイント
欠席しないこと。やむを得ず欠席する場合は次の授業までにその日の作業を進めておくこと。
オフィス・アワー
月曜日, 16:30-18:10, 山本研究室 (1号館131)
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C259

講義コード	40230001
講義名	プロダクトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	住宅部材の商品開発や内装設計業務の経験に基づき、プロダクトデザインの担うべき社会的役割の解説、「ものづくり」のプロセス解説と制作指導を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインするという行為は、ある目的を果たすために生産（プロダクト）される目に見える具体的な「もの」、あるいは目には見えない仕組みや意識や思考などの「こと」の形成に対して向けられる活動であるということを理解すること。
課題演習を通じて、デザインワークにおける情報収集や活用、コンセプトに基づく造形活動を進めていく基礎的、専門的な「知識」や「技能」を学びます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

演習課題を通して、プロダクトデザインの担うべき社会的役割を理解すること。
社会における生活環境の改善と、生活文化の発展に貢献するための、目的に応じた多様な分析の手法や着眼点、造形へのアプローチのプロセスを修得すること。

到達目標

「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」におけるプロダクトデザインの意義を多面的に理解して「ものづくり」に取り組むことができること。
対象に向かい合い、社会の要望や課題の解決に向けて「もの」や「こと」を形成していくプロセスの基礎的、専門的な「知識」や「技能」を修得していること。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	ものづくりとプロダクトデザイン		予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第2回	同上		同上

第3回	課題1； 限られた材料を生かしてつくる		予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調 査研究45分
第4回	同上		同上
第5回	つくるプロセスの工夫と品質管 理	提出作品の着想、計画、作成にお いて 「アクティブラーニング」型式の 発表、講評、意見交換を行う。	予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調 査研究45分
第6回	同上		同上
第7回	インダストリアルデザインの誕 生と発展		予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調 査研究45分
第8回	同上		同上
第9回	課題2； イメージ・スタイル セグメン テーション		予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調 査研究45分
第10回	同上		同上
第11回	ライフステージ セグメンテー ション		予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調 査研究45分
第12回	同上		同上
第13回	グレード・イメージ セグメン テーション		予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調 査研究45分
第14回	同上		同上
第15回	コンセプトに形を与えてつくる		予習として シラバス確認 と通読45分 復習として 関連事項の調 査研究45分
第16回	同上		同上
第17回	ターゲット、コンセプトを絞り 込む	提出作品の課題選定や考察展開に おいて	予習として シラバス確認 と通読45分

	コンセプトを共有する。	「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	復習として 関連事項の調査研究45分
第18回	同上		同上
第19回	使いやすいかたち 人間工学・ユニバーサルデザイン		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第20回	同上		同上
第21回	住環境施設の内装設備計画 建築化照明と造作家具デザイン		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第22回	同上		同上
第23回	商環境施設の内装設備計画 展示計画と什器デザイン		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第24回	同上		同上
第25回	課題3； 環境共生のデザイン		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第26回	同上		同上
第27回	「もの」や「こと」のあるべき姿を考える		予習として シラバス確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第28回	同上		同上
第29回	講評／まとめ	提出作品の課題選定や考察展開において 「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として 配布資料確認と通読45分 復習として 関連事項の調査研究45分
第30回	同上		同上

教科書

独自の資料を作成配布し、参考文献、情報等は随時紹介していきます。

参考書

デザインの輪郭 深沢直人（TOTO出版） 他

成績評価の方法・基準

課題作品の提出／課題1（30%）、課題2（40%）課題3（30%）より評価、
単位認定60点以上とします。

課題等に対する フィードバックの方法

提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や造形に対する取り組みを、作品制作とプレゼンテーションという形で研鑽していきます。
課題の着眼において手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、素材の選定や造形への展開方法など、制作の過程で示唆していきます。又、関連する知識や技術についての情報提示により専門的な理解を深め、研究や制作への、造形的な課題解決力を修得向上できるようにフィードバックを行っていきます。

履修のポイント

作品の構想や制作を通して、身の周りの生活環境に問題意識を持ち自らの興味・関心を広げ、積極的に関連事項を調べ、探求していきましょう。
生活空間における造形による解決策や改善提案を探ることを心がけ、社会に貢献できるデザインの思考とプロセスを修得していきましょう。

オフィス・アワー

非常勤)

後期：水曜日 10:50～11:00 / 12:30～13:20 / 14:50～15:00

デザイン棟1号館 131 山本研究室

*個別に質問や相談事項がある場合は、授業前又は後に申し出てください。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C235

講義コード	40240001
講義名	ビジュアルデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザイン、パッケージデザインの実務経験をもとに実技指導を行う
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

グラフィックデザインの専門知識と実践技術を学び、発想→サムネイル→カンパ制作→プレゼンテーション→入稿までの過程と技術を身につける。イラストレーション、絵画、マンガ、コミックイラストなどの実践で学んだ、個性的な発想力・構成力をグラフィックデザインの分野に応用し、ビジネスベースを基軸とした新しいビジュアル表現に挑戦する。また、制作者である個人をアピールする為に必要な販促ツールの作成技術も習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、ターゲット層の研究・リサーチを行い、グラフィックデザインにおけるビジュアルの有効な役割を学び、戦略に合わせたデザインを実践する。

到達目標

- グラフィックデザインの役割と発想・制作プロセスを理解する
- 写真の画像加工を主とした、グラフィックデザインにおけるビジュアルの役割を理解する
- 戦略に合わせたデザインワークの見識を深める
- MAC・DTPの操作技術を習得し、具体的な表現と応用力を身につける

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	佐野 広章	授業概要説明 各自が作成した画像をメイン ビジュアルとしたブックデザ イン作成 ●作品画像データ10点を、初 回授業時に持参すること 情報収集、サムネイル作成		予習45分：シラバ スを事前によく読 み理解しておくこ と 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認

第2回	佐野広章	〃		
第3回	佐野広章	制作作業 Photoshopによる画像合成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	〃		
第5回	佐野広章	制作作業 Illustratorによるロゴデザイン		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	佐野広章	〃		
第7回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	〃		
第9回	佐野広章	仕上げ、完成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	佐野広章	講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第11回	佐野広章	クリスマスカード「サムネイル作成」 Illustratorのパスを主としたデザイン サムネイル作成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第12回	佐野広章	〃		

第13回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	佐野広章	〃		
第15回	佐野広章	年賀状デザイン「サムネイル作成」写真合成を主としたデザイン サムネイル作成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	佐野広章	〃		
第17回	佐野広章	制作作業		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	佐野広章	〃		
第19回	佐野広章	仕上げ、完成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第21回	佐野広章	CDジャケット、ゲームパッケージ、食品パッケージから一つを選びデザインを完成させる 情報収集、サムネイル作成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	佐野広章	〃		
第23回	佐野広	撮影、Photoshopによる写真合成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内

	章			容とポイント・配布資料の確認
第24回	佐野広章	〃		
第25回	佐野広章	Illustratorによるロゴデザイン		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	佐野広章	〃		
第27回	佐野広章	Illustratorによるビジュアル作成		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	〃		
第29回	佐野広章	仕上げ、完成（作品提出）		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	佐野広章	講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
（アクティブラーニング）

履修のポイント

授業準備時に、デザインの社会における役割を理解し実践例を情報収集する。
オフィス・アワー
木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C371

講義コード	40250001
講義名	WEBデザインI (月曜日)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナーとしての実務経験に基づき、htmlやcssの基礎知識についての講義を行う。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

近年グラフィックデザイナーにとって必要不可欠となったWebサイト作成知識の基礎であるHTML5のマークアップ及びCSSによるレイアウト指定を「Webクリエイター能力認定試験」の試験内容に合わせ、Web標準に対応したスキルを基礎から学習する。その過程においてHTML・CSSに関する基本的な知識やシンプルなWebページ作成能力等を、Web作成ツールの一つであるAdobe Dreamweaverを用いて身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

- 1, Webページのソースコードの正しい書き方を身に付ける。
- 2, レイアウト構成の主たるCSSによるレイアウトの正しい記述方法を習得する。
- 3, アクセシビリティやユーザビリティを配慮した質の高いWebページ作成能力を習得する。
- 4, Webクリエイター能力認定試験 スタンドアト資格を取得する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	相馬 勉	ブラウザ、ドメイン、コーディング、画像など、Web制作の基本項目を解説。	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	相馬	HTML5の基本の学習、文字情報を設定する要素	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。

	勉	の学習。	復習90分：配布資料を見直す。
第3回	相馬勉	本文を構成する要素の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	相馬勉	ブロックレベル要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	相馬勉	ブロックレベル要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	相馬勉	ブロックレベル要素の学習 その3。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	相馬勉	インライン要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	相馬勉	インライン要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	相馬勉	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	相馬勉	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	相馬勉	各セレクトター、プロパティの学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	相馬勉	各セレクトター、プロパティの学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	相馬勉	スタイルの優先順位、CSSファイルの分割とファイル設計の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	相馬勉	WEBサイト作成の基礎知識、ページを構成するファイル、WEBページを作る手順等の復習。	予習90分：教科書1・2・3章を読む。 復習90分：教科書1・2・3章を読む。
第15回	相馬	ベースとなるページを作成し、それを元に各ページを作成する。	予習90分：教科書4章を読む。 復習90分：教科書4章の指

	勉		示に従って各個記述。
第16回	相馬勉	"	"
第17回	相馬勉	HTMLタグを使つてのテーブル（表）の学習	予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：教科書5章の指示に従って各個記述。
第18回	相馬勉	"	"
第19回	相馬勉	HTMLのフォーム機能の学習	予習90分：教科書6章を読む。 復習90分：教科書6章の指示に従って各個記述。
第20回	相馬勉	"	"
第21回	相馬勉	サンプル問題 第1回実施及び、解説	予習90分：問題集その1を読む。 復習90分：問題集その1を各個実施する。
第22回	相馬勉	"	"
第23回	相馬勉	サンプル問題 第2回実施及び、解説	予習90分：問題集その2を読む。 復習90分：問題集その2を各個実施する。
第24回	相馬勉	"	"
第25回	相馬勉	サンプル問題 第3回実施及び、解説	予習90分：問題集その3を読む。 復習90分：問題集その3を各個実施する。
第26回	相馬勉	"	"
第27回	相馬勉	サンプル問題 第4回実施及び、解説	予習90分：教科書サンプル問題を読む。 復習90分：教科書サンプル問題を各個実施する。
第28回	相馬勉	"	"
第29回	相馬勉	Webクリエイター能力認定試験スタンダードの実施	予習90分：今までのサンプル問題、問題集を行う。 復習90分：テスト内容を振り返り自己採点を行う。
第30回		"	"

教科書

Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応 スタンダード 公式テキスト FOM出版
Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応版 スタンダード 問題集 株式会社サーティファイ

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。
授業態度30% 試験70%
※本授業はWebクリエイター能力認定試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

教科書をもとに授業内で学んだことの復習や、次回の授業へ向けての予習を行うこと。

履修のポイント

講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。
授業態度、理解力及び、Webクリエイター能力認定試験の結果を重視する。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：授業日 14:50～15:00 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C256

講義コード	40250002
講義名	WEBデザインI (水曜日)
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナーとしての実務経験に基づき、htmlやcssの基礎知識についての講義を行う。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

近年グラフィックデザイナーにとって必要不可欠となったWebサイト作成知識の基礎であるHTML5のマークアップ及びCSSによるレイアウト指定を「Webクリエイター能力認定試験」の試験内容に合わせ、Web標準に対応したスキルを基礎から学習する。その過程においてHTML・CSSに関する基本的な知識やシンプルなWebページ作成能力等を、Web作成ツールの一つであるAdobe Dreamweaverを用いて身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる基礎知識・基礎技術修得を目指すものとする。

到達目標

- 1, Webページのソースコードの正しい書き方を身に付ける。
- 2, レイアウト構成の主たるCSSによるレイアウトの正しい記述方法を習得する。
- 3, アクセシビリティやユーザビリティを配慮した質の高いWebページ作成能力を習得する。
- 4, Webクリエイター能力認定試験 スタンドアト資格を取得する。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	相馬 勉	ブラウザ、ドメイン、コーディング、画像など、Web制作の基本項目を解説。	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	相馬	HTML5の基本の学習、文字情報を設定する要素	予習90分：多彩なWEBサイトを閲覧する。

	勉	の学習。	復習90分：配布資料を見直す。
第3回	相馬勉	本文を構成する要素の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	相馬勉	ブロックレベル要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	相馬勉	ブロックレベル要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	相馬勉	ブロックレベル要素の学習 その3。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	相馬勉	インライン要素の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	相馬勉	インライン要素の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	相馬勉	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	相馬勉	CSSとは。CSSの書き方・的用法の学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	相馬勉	各セレクター、プロパティの学習 その1。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	相馬勉	各セレクター、プロパティの学習 その2。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	相馬勉	スタイルの優先順位、CSSファイルの分割とファイル設計の学習。	予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	相馬勉	WEBサイト作成の基礎知識、ページを構成するファイル、WEBページを作る手順等の復習。	予習90分：教科書1・2・3章を読む。 復習90分：教科書1・2・3章を読む。
第15回	相馬	ベースとなるページを作成し、それを元に各ページを作成する。	予習90分：教科書4章を読む。 復習90分：教科書4章の指

	勉		示に従って各個記述。
第16回	相馬勉	"	"
第17回	相馬勉	HTMLタグを使つてのテーブル（表）の学習	予習90分：教科書5章を読む。 復習90分：教科書5章の指示に従って各個記述。
第18回	相馬勉	"	"
第19回	相馬勉	HTMLのフォーム機能の学習	予習90分：教科書6章を読む。 復習90分：教科書6章の指示に従って各個記述。
第20回	相馬勉	"	"
第21回	相馬勉	サンプル問題 第1回実施及び、解説	予習90分：問題集その1を読む。 復習90分：問題集その1を各個実施する。
第22回	相馬勉	"	"
第23回	相馬勉	サンプル問題 第2回実施及び、解説	予習90分：問題集その2を読む。 復習90分：問題集その2を各個実施する。
第24回	相馬勉	"	"
第25回	相馬勉	サンプル問題 第3回実施及び、解説	予習90分：問題集その3を読む。 復習90分：問題集その3を各個実施する。
第26回	相馬勉	"	"
第27回	相馬勉	サンプル問題 第4回実施及び、解説	予習90分：教科書サンプル問題を読む。 復習90分：教科書サンプル問題を各個実施する。
第28回	相馬勉	"	"
第29回	相馬勉	Webクリエイター能力認定試験スタンダードの実施	予習90分：今までのサンプル問題、問題集を行う。 復習90分：テスト内容を振り返り自己採点を行う。
第30回		"	"

教科書

Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応 スタンダード 公式テキスト FOM出版
Webクリエイター能力認定試験 HTML5対応版 スタンダード 問題集 株式会社サーティファイ

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。
授業態度30% 試験70%
※本授業はWebクリエイター能力認定試験により主な成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

教科書をもとに授業内で学んだことの復習や、次回の授業へ向けての予習を行うこと。

履修のポイント

講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。
授業態度、理解力及び、Webクリエイター能力認定試験の結果を重視する。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：授業日 14:50～15:00 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C256

講義コード	40260001
講義名	WEBデザインII
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	WEBデザイナーとしての実務経験に基づき、WEBサイトを作成するに当たっての様々な技能を、実践を交えながら講義する。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 相馬 勉	指定なし

授業の概要と教育目標

近年のWebサイト利用者の割合はスマートフォンユーザーがPCユーザーを凌駕してきている。そのような状況で企業のWebサイトも今やスマートフォンサイトは必須となってきている。後期授業では、前期に学習した基礎を元に、より実践的にスマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンスサイト構築のテクニックと知識を取得する。またJAVAスクリプトを使用した動的コンテンツの基礎知識を学び、現場での即戦力となれるような技術力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解を深めることを目指し、WEBデザインの知識や技能の学習を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、実践的なWEBデザイナーとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる応用知識・応用技術修得を目指すものとする。

到達目標

- 1、スマートフォンとPCの両方を兼ね揃えたレスポンスサイト作成が出来るようになる。
- 2、インタラクティブな機能を備えたJAVAスクリプトを駆使した見栄えのするWebサイト作成が出来るようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	相馬 勉	前期授業で取得した全ての内容を元にした、基礎的なWebサイトの作成。		予習90分：教科書を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	相馬 勉	"		"

第3回	相馬勉	前期授業で取得した全ての内容を元にした、基礎的なWebサイトの作成。		予習90分：教科書を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	相馬勉	"		"
第5回	相馬勉	前期授業で取得した全ての内容を元にした、基礎的なWebサイトの作成。		予習90分：教科書を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	相馬勉	「SEO」に特化したホームページ構成の解説及び「ユーザビリティ」等の説明 「ユーザビリティ」等を重視したホームページ構成の解説及び、簡易的なサイトの作成。		予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	相馬勉	jQueryプラグイン「ThickBox」の設置		予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第8回	相馬勉	jQueryプラグイン、スライドショー「bxslider」の設置 その1		予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第9回	相馬勉	jQueryプラグイン、スライドショー「bxslider」の設置 その2		予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第10回	相馬勉	jQueryプラグイン「ドロップダウンメニュー」の設置		予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第11回	相馬勉	cssの「@media」を使用するマルチデバイスサイトの解説・作成		予習90分：配布資料を見直す。 復習90分：配布資料の内容をテキストファイルに記述し、表示確認を行う。
第12回	相馬勉	"		"
第13回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元に、PhotoshopやIllustrator等を使い、ホームページのTopページデザインを作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。

第14回	相馬勉	"		"
第15回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元に、PhotoshopやIllustrator等を使い、ホームページのTopページデザインを作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第16回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元に、PhotoshopやIllustrator等を使い、ホームページのTopページデザインを作成。 また、完成したTopビジュアル案を元にプレゼンテーション(アクティブラーニング)を行う。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集、プレゼンテーション内容の確認。 復習90分：作成内容の見直し。
第17回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第18回	相馬勉	"		"
第19回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第20回	相馬勉	"		"
第21回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第22回	相馬勉	"		"
第23回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第24回	相馬勉	"		"
第25回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
	相			

第26回	馬勉	”		”
第27回	相馬勉	今までの授業で取得した全ての内容を元にした、Webサイトの作成。		予習90分：WEBサイトに掲載する内容の収集。 復習90分：作成内容の見直し。
第28回	相馬勉	”		”
第29回	相馬勉	卒業制作展内にて講評会を行う。	学生自身の作品のプレゼンテーションを行う。	予習90分：プレゼンテーション内容の作成。 復習90分：講評結果を基に自己評価を行う。
第30回	相馬勉	”	”	”

教科書

使用しない。

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。

授業態度30% 作品の完成度70%

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

作品作成に必要な素材集め、資料集めなどを事前に済ませておくこと。

また、授業内にて資料集めの進行具合の確認を行い、作成進行方針を協議することもある。

履修のポイント

講習時には遅刻、欠席をしないように注意すること。

授業態度及び、作品の完成度を重視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：授業日 14:50～15:00 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C372

講義コード	40270001
講義名	イラストレーション技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザイン、パッケージデザインの制作実績をもとに広告業界で求められるイラストレーションの実技指導を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

あらゆる日常生活の中にイラストレーションは多々存在し、役割に応じた効果を上げている。その中でも、広告分野で使用されるイラストレーションは、情報を消費者へ伝える目的に留まらず、感情へ訴える情緒を魅力としたブランド価値の向上が求められている。この授業では、広告分野で求められる様々なイラストレーション技法の中から、手描きアクリル絵具による表現、版画による表現を中心として学び、基礎力の幅を広げると共に独自の表現を試みる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、広告業界で求められるイラストレーションを描き、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を身につける。

到達目標

- アクリル絵具によるマチエール技法の修得
- 版画表現による素材を活かした表現手法の習得
- 「カッコいい、可愛い、オシャレ」を、イラストレーションによるデザインで具現化する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業概要説明 食品パッケージデザインのイラスト制作 水彩絵具を用いた技法研究		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	//		
			予習45分：次回実習内容に関連する情報収

第3回	アイデアスケッチ		集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第4回	//		
第5回	制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第6回	//		
第7回	制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第8回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換する（アク ティブラーニング）	
第9回	シルクスクリーン技法 を使用したイラスト レーション制作 アイデアスケッチ		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第10回	下絵作成①		
第11回	下絵作成②		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第12回	版作成①		
第13回	版作成②		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第14回	摺り（紙、布）①		
第15回	摺り（紙、布）②		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第16回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換する（アク ティブラーニング）	
			予習45分：次回実習

第17回	木版技法を使用したイラストレーション制作 アイデアスケッチ トレース		内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第18回	//		
第19回	彫り		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第20回	摺り①		
第21回	摺り②		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第22回	完成、講評会	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換する（アク ティブラーニング）	
第23回	広告に使用する事を目的としたイラストレーションを作成 これまでに学んだ技法を使用しオリジナル作品を作成する アイデアスケッチ		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第24回	//		
第25回	制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第26回	//		
第27回	制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第28回	//		
第29回	制作		予習45分：次回実習 内容に関連する情報収 集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資料 の確認
第30回	制作、完成（作品提出）	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換する（アク ティブラーニング）	

教科書
使用しない。
参考書
使用しない。 必要に応じて配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上 授業態度 30%、課題完成度 70% で総合的に評価 ※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。 各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。 (アクティブラーニング)
履修のポイント
授業準備時に、コンビニエンスストアやショッピングモールなど、身近な施設にある商品をデザイナー目線で観察し、感覚に訴えるデザインを情報収集する。
オフィス・アワー
木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C232

講義コード	40280001
講義名	絵本制作
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	絵本挿絵などの経験を活かし、絵本における絵と言葉の関係性、制作手順や製本技術などを解説します。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大竹 紀美代	指定なし

授業の概要と教育目標

絵本の表現は多岐に渡ります。古今東西様々な絵本を紹介し、イラストレーション、ストーリー、デザイン、製本について広く学びながら、課題のテーマに基づいて一冊の絵本を製作します。主に画用紙を使用し、紙を切り貼りしたり構成したりと、パソコンや筆で絵を描くだけではない、もの作りの基本である「手作業」を通して表現方法を学びます。まず作品のラフ（ダミー）を製作し、本制作に入ります。最後は仕上がった作品をプレゼンテーションし、中間発表と同じく意見交換・講評を行います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業では手作業を通して絵本への理解を深めるだけでなく、発言する場も大切にします。中間発表、最終の講評会では、自分の考えや作品内容を発表し、参加者は発表者との積極的な意見交換を行います。アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、第三者とイメージを共有するための知識や技能を獲得し、また、他者の作品へ意見をすることで、見る目を養い、もの作りについての考察を深めることを目指します。

到達目標

一人で一冊の絵本を製作するには、多くの知識と工程が必要です。それらを学び実践することで、絵本だけでなく様々な作品作りへも活かせる考え方を身につけることができます。また、クリエイティブを通してコミュニケーション能力を高めることができます。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション 古今東西の様々な絵本の紹介	作品のアイデア、参考になるもの・ことを随時記録し、翌週からの制作に役立てる	予習45分：最低10冊以上の絵本を読んでおくこと。
第2回	オリエンテーション ①「絵本」についての講義 ②課題説明 ③	作品のアイデア、参考になるもの・ことを随時記録し、翌週からの制作に役立てる	復習45分：講義内容について振り返る

	アンケート記入提出		
第3回	アイデア出し	アイデアチェックを受ける	予習45分：作品のアイデアを練る
第4回	アイデア出し	アイデアチェックを受ける/コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	復習45分：作品のアイデアを練る
第5回	ラフ製作①	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	予習45分：作品のアイデアを練る
第6回	ラフ製作①	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	復習45分：作品のアイデアを練る
第7回	ラフ製作②	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	予習45分：作品のアイデアを練る
第8回	ラフ製作②	コピー用紙を使用し、1ページづつラフ画を製作	復習45分：作品のアイデアを練る
第9回	ラフチェック	ラフのチェックを受ける。OKならば本制作へ	復習45分：ラフ仕上げ
第10回	ラフチェック	ラフのチェックを受ける。OKならば本制作へ	復習45分：ラフ仕上げ、本制作の準備
第11回	ラフ仕上げ・本制作	全員ラフを仕上げる ラフが完成していれば本制作へ	予習45分：ラフ仕上げ、本制作の準備
第12回	ラフ仕上げ・本制作	全員ラフを仕上げる ラフが完成していれば本制作へ	復習45分：本制作の準備
第13回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第14回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第15回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第16回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第17回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第18回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第19回	本制作	各自制作・随時相談	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第20回	本制作	各自制作・随時相談	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第21回	製本	本文（中身）の製本	予習；製本についてのプリントを見直す
第22回	製本	本文（中身）の製本	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第23回	製本	表紙と本文をつける	予習45分：制作に必要な道具

			を揃える
第24回	製本	製本した作品に重石をしてプレスする。	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第25回	装丁・仕上げ	表紙制作・細かい部分の仕上げ	予習45分：制作に必要な道具を揃える
第26回	装丁・仕上げ	表紙制作・細かい部分の仕上げ	復習45分：授業内での指導や気づきを元に、提出期限までに間に合うよう制作する
第27回	プレゼンテーション・講評	[アクティブラーニング] プレゼンテーション、意見交換・講評	予習45分：プレゼンテーションの準備
第28回	プレゼンテーション・講評	[アクティブラーニング] プレゼンテーション、意見交換・講評	復習45分：発表、意見交換を振り返る
第29回	プレゼンテーション・講評	[アクティブラーニング] プレゼンテーション、意見交換・講評	予習45分：プレゼンテーションの準備
第30回	プレゼンテーション・講評	[アクティブラーニング] プレゼンテーション、意見交換・講評	復習45分：発表、意見交換を振り返る

教科書

なし。制作に必要なプリント配布。

参考書

適宜紹介。

成績評価の方法・基準

単位認定：50点以上

授業への取り組み 20点 20% / 中間講評・プレゼンテーション 30点 30% / 提出作品 50点 50%
意見交換での発言を元に総合的に評価。授業最終日に提出された作品で評価を行う。後日提出は評価しません。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しません。

課題等に対する

フィードバックの方法

個別対応や講評会での意見・感想をフィードバックとして各自授業内容の理解に役立てます。

履修のポイント

作業量の多い課題ですので、余裕を持って進めることが重要。取り組んだ時間と作業量が完成度に表れます。自分の手で一冊の絵本ができた時の感動を楽しみに頑張りましょう。

オフィス・アワー

火曜日 14:50-15:00 1号館103教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C251

講義コード	40290001
講義名	写真表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解する。基本的なカメラ操作やライティング、配置バランス等の知識や技術を学習する。写真という媒体への興味や関心を高め、柔軟な姿勢で写真を活用したアイデアを探り、表現の幅を広げることを教育目標とする。各自テーマを決めて積極的に作品制作に向き合い、最終授業にて講評会を行う。授業では写真作家やフォトコンテストの紹介等も行う。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、写真撮影の基礎知識を作品制作に役立てると共に、ひらめきや即興性を養い、表現の幅を広げる。また、卒業制作やポートフォリオ制作に、学習した写真撮影の技術を効果的に役立てることを目指す。

到達目標

デジタル一眼レフカメラの操作方法を理解し、撮りたいイメージを作るにはどうしたら良いのかを自主的に考えることを到達目標とする。

授業計画				
	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		予習：45分 興味のある写真作家やフォトコンクールをリサーチする

第2回	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第3回	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第4回	前提講義 参考作品鑑賞 一眼レフカメラに触れ、設定や操作方法を学ぶ。撮影データの確認と保存方法を知る。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第5回	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第6回	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第7回	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第8回	レンズの違い、被写界深度、露出調整、ISO、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードや黄金比などの説明とそれらを意識した撮影。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第9回	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る。人物・商品を配置して撮影する。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第10回	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る。人物・商品を配置して撮影する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第11回	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る。人物・商品を配置して撮影する。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第12回	ライトやレフ板を使用したライティング効果を知る。人物・商品を配置して撮影する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第13回	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	予習：45分 レクチャー 内容の予習
第14回	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	復習：45分 レクチャー 内容の復習
第15回	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	予習：45分 レクチャー 内容の予習
第16回	撮影データを写真用紙に印刷する。	お互いの作品を鑑賞する。	復習：45分 レクチャー 内容の復習
第17回	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立て		予習：45分 レクチャー

	る。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		内容の予習
第18回	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第19回	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第20回	著名な写真家や、写真を用いた作品を発表しているアーティストを知り、それぞれのアイデアや作品制作に役立てる。自由制作課題の計画を立てると共に、フォトコンクールへの応募を検討する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第21回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第22回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第23回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第24回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第25回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第26回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習
第27回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		予習：45分 レクチャー 内容の予習
第28回	自由制作 写真という媒体を更に大きな視点で捉えて作品に展開する。自分で撮影した写真を元に、柔軟な発想で表現を模索する。		復習：45分 レクチャー 内容の復習

第29回	自由制作課題のプレゼンテーションを行う。	意見を交換する過程で、思考を言語に置き換え効果的に伝える方法を探る。表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	予習：45分 レクチャー 内容の予習
第30回	自由制作課題のプレゼンテーションを行う。	意見を交換する過程で、思考を言語に置き換え効果的に伝える方法を探る。表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	復習：45分 レクチャー 内容の復習

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

現代写真論（シャーロット・コットン著）、写真のキーワード（ジル・モラ著）、深読み！日本写真の超名作100（飯沢耕太郎著）、世界写真史（美術出版社）、日本芸術写真史（西村智弘）、明るい部屋（ロラン・バルト著）、デジタル撮影の適正露出と色彩調整（谷口泉著）、未来ちゃん（川島小鳥）他

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 自由制作50% 授業への参加度50%

課題等に対する フィードバックの方法

カメラの基本操作を学ぶ過程での個別対応全般、最終講評会における意見や感想をフィードバックとして、各自授業内容の理解や作品のクオリティ向上に役立てる。

履修のポイント

撮影した写真をコンピュータ上で確認し、適切に保存すること。データ保存用に、各自SDカードやUSBメモリを用意すること。データ紛失を防ぐためにバックアップを心掛けること。積極的にフォトコンクール等に応募すること。

オフィス・アワー

金曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館103教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C258

講義コード	40300001
講義名	クラフトデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での製品づくりの実務経験から、ブランディングの重要性を演習の中で解説するとともに、素材への知識を深めていく授業を展開する。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

昨今、クラフトと呼ばれる分野は本来の「工芸」という意味から広がりを見せ、様々な素材や技法、道具が用いられ、それらの購買経路、ニーズやウォンツも多岐にわたっている。本講座では手仕事による雑貨やアクセサリーなどもクラフトにとらえ、雑貨のデザイナーとして市場調査を行いながらコンセプトやターゲットを設定し、それに沿って自身の造形的な表現を探ることを学びとする。また、自身の扱う素材に応じた道具や技法を習得し造形表現にいかすことで、素材の特徴を捉える「感覚」と造形的な「想像力」を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシー：実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために、市場調査を行いユーザーの視点に立ったデザインと自分の造形的な表現、コンセプトやターゲット、トレンドと造形の関わりについて学ぶ。

到達目標

学生が自身のブランドを設定し、アイテムを3点以上制作することができる。また、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	実習内容についての説明、リサーチを行う		予習 25分 身の回りにどのような雑貨があるか調べる 復習 20分 授業をふまえ、身の回りにどのような雑貨があるか調べる
第2回	リサーチを行う		予習 25分 身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる 復習 20分

			授業をふまえ、身の回りにある雑貨とそのトレンドについて調べる
第3回	リサーチを行う		予習 45分 身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる 復習 45分 授業をふまえ、身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる
第4回	リサーチを行う		上記参照
第5回	リサーチを行い、まとめる		予習 45分 身の回りにある雑貨とそのトレンド、ターゲットについて調べる 復習 45分 授業をふまえ、市場にある雑貨と、自分の作りたいものについて確認する
第6回	リサーチを行い、まとめる		上記参照
第7回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		予習 45分 アイデアスケッチに備え、リサーチした内容を確認しておく 復習 45分 授業をふまえ、アイデアスケッチにオリジナル性があるか確認する
第8回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		上記参照
第9回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		予習 45分 アイデアスケッチに備え、リサーチした内容を確認しておく 復習 45分 授業をふまえ、アイデアスケッチにオリジナル性があるか確認する
第10回	独自ブランドのアイデアスケッチを行う		上記参照
第11回	制作準備、デザイン		予習 45分 デザインに備え、アイデアスケッチとリサーチした内容を確認しておく 復習 45分 自分のデザインにどのような道具や技法、素材が必要か調べる
第12回	制作準備、デザイン		上記参照
第13回	制作準備、デザイン		予習 45分 デザインに備え、アイデアスケッチとリサーチした内容を確認しておく 復習 45分 自分のデザインにどのような道具や技法、素材が必要か調べる
第14回	制作準備、デ		上記参照

	ザイン		
第15回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第16回	製品の制作		上記参照
第17回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第18回	製品の制作		上記参照
第19回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第20回	製品の制作		上記参照
第21回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第22回	製品の制作		上記参照
第23回	製品の制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、デザイン画と実際に作業しているものを比較し、フィードバックする
第24回	製品の制作		上記参照
第25回	製品の制作、 パッケージの制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく。身の回りにある雑貨のパッケージを調べておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第26回	製品の制作、 パッケージの制作		上記参照
第27回	製品の制作、 パッケージの制作		予習 45分 制作において必要な素材や道具を準備しておく。 復習 45分 進行スケジュールの確認と、実際に作業に必要な道具を確認する
第28回	製品の制作、 パッケージの制作		上記参照

	制作		
第29回	作品の提出、講評、撮影	学生が自身の作品をプレゼンテーションし、教員の示唆をふまえ学生同士で意見交換を行う。	予習 45分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 45分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第30回	作品の提出、講評、撮影	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上 / 1. 平常点 (取組みの姿勢) 30% 2. 作品点 / 70%
上記1および2の総合評価が50点 (%) 以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内で作業 (デザイン、技法の習得) ごとに個別にフィードバックする。
講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。

オフィス・アワー

月・木 16:30-18:00 寺村研究室 (122)

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C262

講義コード	40310001
講義名	工芸デザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業での製品づくりの実務経験を活かし、素材や技法に関する知識とコンセプトやターゲットをふまえた造形表現に対する豊かな発想力と表現力を深める授業を展開する
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、生活空間に深く関わりのある工芸素材として「布」「土」を題材とし、素材に親しみながらその特性をふまえ、模様やかたち、色のもつ効果について考えながら「布」では型染めによるクッションカバー、「土」ではオーブン陶土を用いたオリジナルの雑貨を制作し、デザインと造形表現の関わりについて学ぶ。

制作の中で素材や技法についての知識を習得しその特徴をふまえた発想をかたちにすることで、素材の特徴を捉える感覚を養うとともに、ものづくりに対する豊かな発想と表現力を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー：「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」について多面的な理解のために、生活空間における工芸として「布」「土」を題材とし、それらの模様やかたち、色のもつ効果について考えながらデザインを行う。

ディプロマポリシー：対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を習得するために、布や土といった素材の特徴を捉える感覚を養うとともに、ものづくりに対する豊かな発想と表現力を育てる。

到達目標

学生が、素材の特徴をとらえたデザインを行うことができる。
また、制作を通し、自身の作品に対し設定したコンセプトやターゲット、使用した素材や技法を説明することができるようになる。

授業計画			
	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	実習内容についての説明、素材についてのレクチャー	クッションのかたち、素材についてどのようなものがあるか学生同士でディスカッションする	予習 45分 クッションの市場調査を行う 復習 45分 授業をふまえ、クッションに適切な素材を調べておく

第2回	型染めについての説明、作品のデザイン		上記参照
第3回	作品のデザイン、模様デザイン		予習 45分 連続する模様についてどのようなものがあるか調べておく 復習 45分 連続する模様とそのデザインについて調べる
第4回	作品のデザイン、模様デザイン		上記参照
第5回	デザインチェック 型彫り		予習 45分 型染めの道具について調べる 復習 45分 デザインチェックをふまえ、型染めに必要な吊りの部分を確認する
第6回	型彫り		上記参照
第7回	型彫り		予習 45分 型染めに必要な吊りの部分を考えておく 復習 45分 紗張りについて必要な道具を調べ、準備しておく
第8回	型彫り		上記参照
第9回	型彫り、紗貼り		予習 45分 紗張りについて必要な道具を準備しておく 復習 45分 紗張りに対してのアイロンの温度や道具の使い方を復習する
第10回	紗貼り		上記参照
第11回	染色		予習 45分 実際に模様を付ける際の色、配置の方法を考えておく 復習 45分 顔料を置く方法、顔料に対する色の混食率を確認しておく
第12回	染色		上記参照
第13回	染色		予習 45分 実際に模様を付ける際の色、配置の方法を考えておく 復習 45分 顔料を置く方法、顔料に対する色の混率を確認しておく
第14回	染色、仕上げ		上記参照
第15回	仕上げ、縫製		予習 45分 ミシンの扱い方を調べ、糸を準備する 復習 45分 ミシンの扱い方を確認する
16			

第 回	仕上げ、縫製		上記参照
第17回	講評、作品撮影	作品について学生がプレゼンテーションを行い教員の示唆をふまえながら学生同士で意見交換を行う	予習 20分 講評に備え、自分の作品に対する考えをまとめる 復習 25分 講評をふまえ、評価点、反省点をまとめる
第18回	実習内容についての説明、素材について オープン陶土を用いた作品のデザイン		予習 20分 陶器でできているものに対して市場調査を行う 復習 25分 授業をふまえ、陶器で何ができるかを確認する
第19回	オープン陶土を用いた作品のデザイン、サンプル制作		予習 45分 どのようなものを作るかデザイン画を準備する 復習 45分 サンプル制作をふまえ、素材の特徴について確認する
第20回	オープン陶土を用いた作品のデザイン、サンプル制作		上記参照
第21回	サンプル制作 (形成、乾燥)		予習 45分 どのようなサンプルを制作するか考えておく 復習 45分 制作をふまえ、素材の特徴について確認する
第22回	サンプル制作 (焼成、仕上げ)		上記参照
第23回	サンプルの確認、デザインの見直し		予習 45分 どのようなサンプルを制作するか考えておく 復習 45分 制作をふまえ、デザインについて確認する
第24回	サンプルの確認、デザインの見直し		上記参照
第25回	作品の制作 (形成・乾燥)		予習 45分 デザイン画を準備しておく 復習 45分 進行スケジュールの確認と調整、制作に必要な道具を調べておく
第26回	作品の制作 (形成・乾燥)		上記参照
第27回	作品の制作 (形成、焼成、仕上げ)		予習 45分 制作に必要な道具 (へら、絵の具、仕上げに必要な金具など) を準備しておく 復習 45分 仕上げに必要な道具を調べ、準

			備する
第28回	作品の制作（形成、焼成、仕上げ）		上記参照
第29回	仕上げ→作品の提出・講評	作品について学生がプレゼンテーションを行い教員の示唆をふまえながら学生同士で意見交換を行う	作品について学生がプレゼンテーションを行い、教員の示唆をふまえながら学生同士で意見交換を行う
第30回	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上／1.平常点（取組みの姿勢）30% 2.作品点／70%
 上記1および2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。
 ※本授業は作品提出により成績評価を行い定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内で作業（デザイン、技法の習得）ごとに個別にフィードバックする。
 講評会において作品全体に対して、個別に評価できる点や改善できる点について具体的に指摘し、フィードバックとして位置づける

履修のポイント

実技ですので、特段の理由がない限り休まず出席してください。 ¥1,500程度材料費が発生します。

オフィス・アワー

月・木 17:30-18:00 寺村研究室（122）

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C234

講義コード	40320001
講義名	ファッションアート
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

自分自身を表現する手段として、コスプレやロリータファッションの衣装等があります。そのような衣装や、自分の好みの作品の実物制作を行います
コスプレやロリータファッションを遊びと捉えず、自己表現の一つと考え、好みのキャラクターや服装を形にして行く。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシー (1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、コスプレやロリータファッションを遊びと捉えず、自己表現の一つと考え、好みのキャラクターを形にして行く。
多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得するために服作りの知識や技術を身に付け、自分の希望の形にする力を付ける。

到達目標

服作りの知識や技術を身に付け、自分の希望の形にする力を付ける事を目標とする

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	講義・実習方法の説明他		予習：45分作りたい服のリサーチ 復習：45分デザインの確認
第2回	デザイン画作成→四方面から描く(縫い目の位置含む)採寸		予習：45分作りたい服のリサーチ 復習：45分次回授業の準備
			予習：45分採寸の支

第3回	デザイン画作成→四方面から描く(縫い目の位置含む)		度 復習：45分次回授業の準備
第4回	同上		上記参照
第5回	製図 → チェック		予習：45分デザインの確認 復習：45分次回授業の準備
第6回	同上		上記参照
第7回	製図 → 材料の書き出し及び調達		予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第8回	同上		上記参照
第9回	布の地直し		予習：45分地直しの準備(水に一晩浸し、干しておく) 復習：45分次回授業の準備
第10回	同上		上記参照
第11回	仮縫い → 試着補正 → 本縫い		予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第12回	同上		上記参照
第13回	本縫い		予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第14回	同上		上記参照
第15回	本縫い		予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第16回	同上		上記参照
第17回	本縫い		予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第18回	同上		上記参照
第19回	本縫い		予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第20回	同上		上記参照
第21回	本縫い		予習：45分スケジュールの確認 復習：45分次回授業の準備
第22回	同上		上記参照

第23回	本縫い		予習：45分スケ ジュールの確認 復習：45分次回授業 の準備
第24回	同上		上記参照
第25回	本縫い		予習：45分スケ ジュールの確認 復習：45分次回授業 の準備
第26回	同上		上記参照
第27回	本縫い → 作品仕上		予習：45分スケ ジュールの確認 復習：45分次回授業 の準備
第28回	同上		上記参照
第29回	仕上げ、講評会、作 品撮影 〈アクティブラーニ ング〉 作品について、教員 と学生、学生同士が 意見交換を行う	作品について学生がプレゼンテー ションを行い、教員の示唆をふまえ 学生同士で意見交換を行う	予習 45分 講評に備 え、自分の作品に対す る考えをまとめる 復習 45分 講評をふ まえ、評価点、反省点 をまとめる
第30回	同上	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上／実技課題（取り組みの内容50%、完成度30%）・提出期限20%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない

課題等に対する フィードバックの方法

授業内での各作業に関して個別にフィードバックする。
講評会で各作品について、個別に評価のポイント等を具体的に指摘する

履修のポイント

実技ですので、特段の理由が無い限り休まず出席して下さい

オフィス・アワー

火曜日、9時20分～12時30分、105教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C263

講義コード	40330001
講義名	デジタルコミック
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし

授業の概要と教育目標

この講座ではillustrator、PhotoShop、Clip Studioの3アプリケーションについて学ぶ。基本的なオペレーションを確実に理解した後、実践的なCGイラストレーションの技術を修得する。illustratorでは、背景を含む「ちびキャラ」などのオリジナルイラストの制作、PhotoShopではアニメ塗りなどの基本的な手法でキャラクターイラストを制作。Clip Studioでは与えられたテーマをもとに水彩・厚塗り、テクスチャを使った彩色表現などでイラストを制作する。

本講座は、3アプリケーションの基本的な技術を習得し、オリジナリティーのあるCG作品を効率よく制作することができるスキルを身に付け、2年次の「CGイラストレーション」「アニメーション」「3D-CG」「キャラクターデザイン」などの授業で必要な基礎を身に付けることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
本講座は、卒業後、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、また多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

CGの基礎を確実に習得したうえで、さらに実践的な表現技術を身につける。専門的なグラフィックソフトの諸機能を理解し、コンピュータの周辺機器を含めた的確なオペレーションをおこない、より効率的に完成度の高いヴィジュアル作品を制作できるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	小松原洋生	授業の概要説明 illustrator基礎① 各種ツール・ウィンドウ解説 イラスト練習課題		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習

第2回		//		//
第3回		illustrator基礎② イラスト練習課題 オリジナルイラスト の下書き準備		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第4回		//		//
第5回		●illustratorによる オリジナルイラスト の制作 下書き完成、ス キャン スキャナーの使い 方、画像の配置の 仕方など解説		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第6回		//		//
第7回		●illustratorによる オリジナルイラスト の制作 ペンツールによる トレース illustratorの諸機能 を使い、効率的な トレースを目指 す。		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第8回		//		//
第9回		●illustratorによる オリジナルイラスト の制作 完成、提出	自身の作品についてのプレゼン テーション、講師による講評のほ か、ディスカッションなども実 施。	予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第10回		//	//	//
第11回		●PhotoShopによる オリジナルイラスト の制作。 CG作品の紹介、各 種ツール・ウィン ドウ解説、技法解 説 ペンタブレットを 使用して作品イ メージの下書きを 制作		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第12回		//		//
第13回		●PhotoShopによる オリジナルイラスト の制作。 下書き完成、講師 による確認 キャラクター・背 景の下地塗り等		予習45分：レク チャー内容の予習 復習45分：レク チャー内容の復習
第14回		//		//
		●PhotoShopによる オリジナルイラスト の制作。		予習45分：レク チャー内容の予習

第15回	1影、2影、ハイライトなどのレイヤー構成で制作		復習45分：レクチャー内容の復習
第16回	//		//
第17回	●PhotoShopによるオリジナルイラストの制作。 1影、2影、ハイライトなどのレイヤー構成で制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第18回	//		//
第19回	●PhotoShopによるオリジナルイラストの制作。 仕上げ、完成、提出	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第20回	//	//	//
第21回	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 Clip Studio基礎／各種ツール・ウィンドウ解説 ペンタブレットを使用して作品イメージの下書きを制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第22回	//		//
第23回	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 厚塗りを基本とした着色		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第24回	//		//
第25回	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 厚塗りを基本とした着色		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	//		//
第27回	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 厚塗りを基本とした着色		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	//		//
第29回	●Clip Studioによるテーマ作品の制作。 仕上げ、完成、提出	自身の作品についてのプレゼンテーション、講師による講評のほか、ディスカッションなども実施。	予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第30回	//	//	//

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業への取り組み：30%、課題提出、作品の完成度：70% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
各課題毎に講評、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、制作途中には講師が個々に技術的な指導を行う。
履修のポイント
作品の提出は完成されている事を前提としています。授業内で完成しない場合は時間外で完成させて提出するように努力してください。また、イラストの構想や下書きについても授業外で準備しておくことが望ましいでしょう。技術的な説明をする時は、とくに欠席、遅刻等しないように注意してください。
オフィス・アワー
小松原：水曜日 12:30～13:20 場所：1号館2F 124研究室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C231

講義コード	40340001
講義名	3D-CG
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、3D-CGの専門的な知識や技術をレクチャーする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

設定した世界感をもとに、キャラクターデザインからゲームグラフィックス用のローポリゴンモデルの制作を行う。また、3DCGだけでなくAdobe Photoshop、Illustratorを使用し、制作プロセスを指定フォーマットにレイアウトすることで、ポートフォリオ制作の基礎を学ぶ。

教育目標としては、社会のニーズを考慮し、目的に合わせたデザインと必要に応じたソフトウェアの選択をする能力の育成。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、3D-CGの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

3DCGソフトのモデリングオペレーションの習得。
ワークフローの記録とそのレイアウト。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	前提講義、事例および事例の紹介		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：レクチャー内容の復習
第2回	"		"
第3回	リサーチ～企画案作成、リファレンス作成		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第4回	"		"

第5回	リサーチ～企画案作成、 リファレンス作成		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第6回	"		"
第7回	任意手法によるエスキース、 デザイン画制作		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第8回	"		"
第9回	任意手法によるエスキース・ デザイン画提出		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第10回	"		"
第11回	Autodesk MAYA基礎オペ レーション、チュートリアル		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第12回	"		"
第13回	Autodesk MAYA基礎オペ レーション、チュートリアル		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第14回	"		"
第15回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第16回	"		"
第17回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第18回	"		"
第19回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第20回	"		"
第21回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第22回	"		"
第23回	ローポリゴンモデル制作		予習45分：レクチャー内容 の予習 復習45分：レクチャー内容 の復習
第24回	"		"

第25回	プレゼンテーションボードの制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第26回	"		"
第27回	プレゼンテーションボードの制作		予習45分：レクチャー内容の予習 復習45分：レクチャー内容の復習
第28回	"		"
第29回	作品講評・採点	各自、作品についてのプレゼンテーションを行う。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容についての復習
第30回	"	"	"

教科書

使用しない。(必要に応じ資料を配布する。)

参考書

各ソフトウェアマニュアルおよび解説書

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
3DCGデータとプレゼンテーションボードの完成度100%
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。

履修のポイント

制作資料の収集、リサーチ等が必要です。
3DCGは少し難しいかもしれませんが、今後も需要が増えて行く分野です、とにかく体験してみることです。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、10:50～11:00 1号館3F 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C253

講義コード	40350001
講義名	アニメーションI
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、映像作品（アニメーション）の専門的な知識や技術をレクチャーする、
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

本演習では、従来手法（手描きや立体アニメーションなど）とデジタル手法、または、その併用による映像作品を制作する。
 制作指導は、各々の個性・主体性を尊重しながらも、グループ単位での指導を行い、共同作業をすることで個々の感性や技術力の向上を目指す。
 アニメーション表現の可能性を追求と作品制作を通して映像編集の流れと、グループワークを学ぶことを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連：
 本講座は、アニメーションの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

映像制作のためのアプリケーション（Adobe AfterEffects、Premiere）での基本的映像編集方法の習得。
 完成作品をコンクール出品や動画サイトへの投稿することで社会と接点を持つ。

授業計画			
	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	前提講義、事例および作例の紹介		予習：シラバス内容の確認 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第2回	"		"

第3回	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペレーションチュートリアル		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第4回	"		"
第5回	映像作品のリサーチ、作品コンセプトの構築～個別企画の作成 AdobeAfterEffects基礎オペレーションチュートリアル		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第6回	"		"
第7回	グループ分け、制作内容の検討		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第8回	"		"
第9回	グループミーティング、シナリオ、絵コンテの作成		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第10回	"		"
第11回	グループプレゼンテーション	グループごとに制作内容についてプレゼンテーションを行う。	予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第12回	"	"	"
第13回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第14回	"		"
第15回	映像制作～グループ単位での作画や撮影など		予習：レクチャー内容の予習 45分 復習：レクチャー内容の復習 45分
第16回	"		"
第17回	映像制作～グループ単位での		予習：レクチャー内容の予習 45分

	作画や撮影など		復習：レク チャー内容の復 習 45分
第18回	"		"
第19回	映像制作～グループ単位での 作画や撮影など		予習：レク チャー内容の予 習 45分 復習：レク チャー内容の復 習 45分
第20回	"		"
第21回	映像制作～グループ単位での 作画や撮影など		予習：レク チャー内容の予 習 45分 復習：レク チャー内容の復 習 45分
第22回	"		"
第23回	映像制作～グループ単位での 作画や撮影など		予習：レク チャー内容の予 習 45分 復習：レク チャー内容の復 習 45分
第24回	"		"
第25回	グループごとに映像編集 MA（ナレーションやアフレ コ、効果音）作業		予習：レク チャー内容の予 習 45分 復習：レク チャー内容の復 習 45分
第26回	"		"
第27回	グループごとに映像編集 MA（ナレーションやアフレ コ、効果音）作業		予習：レク チャー内容の予 習 45分 復習：レク チャー内容の復 習 45分
第28回	"		"
第29回	講評・採点	上映会を行うとともに、グルー プごとにプレゼンテーションを 行う。	予習：レク チャー内容の予 習 45分 復習：レク チャー内容の復 習 45分
第30回	"	"	"

教科書

使用しない。（必要に応じ資料を配布する。）

参考書

各ソフトウェアマニュアルや映像編集の解説書など。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

1：課題評価70% 2：グループワークでの協調性30%。

1、2の総合評価が50点（%）以上を獲得した学生に単位を認定する。＊本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

適宜プレゼンテーション、ディスカッション（アクティブラーニング）を実施するとともに、講師が個々に講評を行う。

履修のポイント

グループごとに楽しく、面白がって制作すれば、結果に表れます。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、14:50～15:00 1号館3F 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C257

講義コード	40360001
講義名	アニメーションII
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目では、個々のアイデアにユーモアや美的感覚を付加し、絵やものを動かす試みを通して、表現のオリジナリティを追求することを、教育の目標とする。参考作品として多くの映像作品を鑑賞し、決定したアイデアに沿って粘り強く制作を進めることが求められる。制作技法に合わせて、リサーチ、絵コンテ、撮影やデジタル編集、効果音作りや書き出しまでを、一通り行い完成とする。

※本授業は作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得することを目指す。また、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を、映像制作を通して積極的に養う。

到達目標

動きのないものに表情や感情を持たせるには、どのような方法が効果的かを工夫しながら、イメージを作品として仕上げる。さまざまな作品に触れる過程で、客観性や柔軟性を養い、幅広いアニメーション表現を理解する。

授業計画				
	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向基子	参考作品鑑賞、授業の流れや趣旨を確認、アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング	さまざまな参考作品の鑑賞を通して、学生の意見や感想を引き出す。その過程で今後の制作に対するイメージを膨らませる。	予習45分：興味のあるアニメーション作品をリサーチする
		参考作品鑑賞、授業の流れや趣旨を確認、ア	さまざまな参考作品の鑑賞を通して、学生の意見や感想を引き出す。その過	復習45分：興味のあるアニ

第2回	アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング	程で今後の制作に対するイメージを膨らませる。	メーション作品をリサーチする
第3回	アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテ制作		予習45分：レクチャー内容の予習
第4回	アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテ制作		予習45分：レクチャー内容の復習
第5回	アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテ制作		予習45分：レクチャー内容の予習
第6回	アイデアとワークフローの検討、個別のヒアリング、プラン提出、絵コンテ制作		予習45分：レクチャー内容の復習
第7回	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiere)		予習45分：レクチャー内容の予習
第8回	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiere)		予習45分：レクチャー内容の復習
第9回	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiere)		予習45分：レクチャー内容の予習
第10回	素材の読み込みから書き出しまで、一通りの流れを確認 (Adobe After Effects, Premiere)		予習45分：レクチャー内容の復習
第11回	手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第12回	手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第13回	手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第14回	手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第15回	手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第16回	手法に応じた制作 随時個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習

第17回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第18回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第19回	手法に応じた制作 随時 個別対応 中間発表会	お互いの進捗状況を報告し確認する。	予習45分：レクチャー内容の予習
第20回	手法に応じた制作 随時 個別対応 中間発表会	お互いの進捗状況を報告し確認する。	予習45分：レクチャー内容の復習
第21回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第22回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第23回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第24回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第25回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第26回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第27回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第28回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の復習
第29回	手法に応じた制作 随時 個別対応		予習45分：レクチャー内容の予習
第30回	作品鑑賞、講評会、作品提出	お互いの完成作品を鑑賞する。制作した作品の説明や、鑑賞した作品に対する意見を述べる過程で、表現の多様性や制作姿勢に対する意識を深める。	予習45分：レクチャー内容の復習

教科書

使用しない（必要に応じてAdobe After Effects等の資料や練習素材を配布）

参考書

各ソフトウェアマニュアルや映像編集の解説書など (AfterEffects CS6 マスターブック：大河原浩一著、Premiere Pro CS6マスターブック：杉原正人著、Adobe After Effects トレーニングブック：高橋篤史著、After Effects 標準エフェクト全解：石坂アツシ、大河原浩一、笠原淳子著、AfterEffects for アニメーション：太平幸輝著、After Effects 標準講座：高木和明著、他)

成績評価の方法・基準
単位認定50点以上 課題提出80% プラン提出を含む授業への参加度20%
課題等に対する フィードバックの方法
前提講義での作品鑑賞、中間発表会、講評会における意見交換や批評、感想、及び個別指導時の対応を、授業の理解に役立てる。
履修のポイント
データ紛失に気をつけること。個人でUSB等を用意しデータのバックアップを心掛けること。限られた授業時間を有効に使い最後まで完成させること。
オフィス・アワー
金曜日 10:50-11:00 12:30-12:40 1号館104教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C373

講義コード	40370001
講義名	CGイラストレーション
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

CGイラストレーションを描く為に必要な機能やオペレーションを基礎から学ぶ。目標到達に向けた情報収集を行う。実践的なイラストレーションの制作方法を習得し、オリジナル作品に挑戦する。

CG技術は、イラストレーション・絵画等の芸術を表現する手段として近年その重要度を増している。画材を扱うようにCGを一つの道具として使いこなすことが出来れば、様々な領域に応用することが出来る。高度なスキルを身につけ、デザインやゲーム・アニメ等の業界で活躍することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。その行程として、CG技術による顕示性の高い描画力と視認性の高いデザイン力を習得する。

- 到達目標**
- 下記3種ソフトウェアの特徴を活かしたCG技術を習得する
 - 「ClipStudio」 = 線画作成
 - 「Photoshop」 = 色調補正とレイヤー効果
 - 「Illustrator」 = バリエーションと幾何学模様
 - コンピュータ周辺機器の的確なオペレーションを行う
 - 各種ショートカットを覚える
 - 完成度の高いヴィジュアル作品を制作する

授業計画				
	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	佐野	等身大アクションポ		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと

第1回	広章	ズキャラクター制作 1 (授業概要説明)		復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第2回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 2 (キャラクター考察)		
第3回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 3		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第4回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 4		
第5回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 5		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第6回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 6		
第7回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 7		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第8回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 8		
第9回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 9		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認
第10回	佐野 広章	等身大アクションポー ズキャラクター制作 10 (作品提出) 講評会	講評会：制作した作品をプレゼ ンテーションし意見交換する (アクティブラーニング)	
第11回	佐野 広章	仕様書作成《表情差分 ／三面図／小道具》 1		予習45分：次回実習 内容に関連する情報 収集 復習45分：実習内容 とポイント・配布資 料の確認

第12回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 2		
第13回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第14回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 4		
第15回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第16回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 6		
第17回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第18回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 8		
第19回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第20回	佐野広章	仕様書作成《表情差分／三面図／小道具》 10（作品提出） 講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する（アクティブラーニング）	
第21回	佐野広章	背景描画 1		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第22回	佐野広章	背景描画 2		

第23回	佐野広章	背景描画 3		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第24回	佐野広章	背景描画 4		
第25回	佐野広章	背景描画 5		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第26回	佐野広章	背景描画 6		
第27回	佐野広章	背景描画 7		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第28回	佐野広章	背景描画 8		
第29回	佐野広章	背景描画 9		予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第30回	佐野広章	背景描画 10（作品提出） 講評会	講評会：制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する （アクティブラーニング）	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 50点以上
授業態度 30%、課題完成度 70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
(アクティブラーニング)

履修のポイント

Macintoshとアプリケーション3種の技術と業界基準を随時説明します。習得する準備を各自で整えましょう。

オフィス・アワー

木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C254

講義コード	40380001
講義名	キャラクターデザイン
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	CGクリエイターとしての実務経験を活かし、デジタルによるキャラクターデザインの専門的な知識や技術をレクチャーする、
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 秀直	指定なし

授業の概要と教育目標

与えられたテーマ・キーワードに沿って求められる条件に自分の創造性を近づけてゆくことにより、自らの作品が商品として取り扱われる可能性があることを、課題制作を通して探求してゆく。

制約条件の元で最大限にオリジナリティを発揮する能力は、社会に出る前のウォーミングアップと捉えても良い。自分の興味に合った公募情報を収集するリサーチ力も問われる。また授業では、現代アーティストが作るキャラクター、海外のキャラクター、町おこしのマスコット、販売促進のため企業が考えたキャラクター等も紹介する。

教育目標：企業、フェスティバル等で募集されるキャラクターデザインの需要を理解し、学生個人の創造性やスキルと世の中の商業的ニーズを近づけ、卒業後の制作活動の幅や可能性を広げる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、キャラクターデザインの知識や技能の習得、また実践的なクリエイターとして活躍できるように多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を習得するための基盤となる学習を行う。

到達目標

- ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用したキャラクター作成技術の習得
- ゲーム／デザイン業界で求められる汎用性のあるキャラクター作成能力の習得
- キャラクターデザインを募集している企業や公募展等に参加することで作品送付までの一連の流れを経験する
- 情報収集能力、客観性、表現力や完成度などを強化する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
			予習45分：シラバスを事前によく読み理

第1回	前提講義、キャラクター考察		解しておくこと。 復習45分：レク チャーター内容の復習
第2回	"		"
第3回	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第4回	"		"
第5回	各種のキャラクターをリサーチし、リファレンスを作成する。 ※Webブラウザ、Adobe Bridgeを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第6回	"		"
第7回	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第8回	"		"
第9回	オリジナルキャラクターのプロポーション（三面図）、プロップ、アクションなどの各要素の設定。 ※Excel、Wordを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第10回	"		"
第11回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第12回	"		"
第13回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第14回	"		"
第15回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第16回	"		"
第17回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第18回	"		"
第19回	デザイン画、アクション集、表情集、プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャーター内容の予習 復習45分：レク チャーター内容の復習
第20回	"		"
	デザイン画、アクション集、表情集、		予習45分：レク

第21回	プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		チャージ内容の予習 復習45分：レク チャージ内容の復習
第22回	"		"
第23回	デザイン画、アクション集、表情集、 プロップなどの描画。 ※ClipStudio、Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャージ内容の予習 復習45分：レク チャージ内容の復習
第24回	"		"
第25回	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャージ内容の予習 復習45分：レク チャージ内容の復習
第26回	"		"
第27回	指定様式に合わせて、仕様書、デザイン画、アクション・表情集などをレイアウトする。 ※Photoshop、Illustratorを使用		予習45分：レク チャージ内容の予習 復習45分：レク チャージ内容の復習
第28回	"		"
第29回	作品講評、提出。	各自、作品についてのプレゼンテーションを行う。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評の内容について復習
第30回	"	"	"

教科書

使用しない。(必要に応じて資料を配布する。)

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上
キャラクターデザインプレゼンテーションボードの評価 100%
総合評価が50点(%)以上を獲得した学生に単位を認定する。
※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

プレゼンテーションを実施するとともに、個々に作品についての指導、講評を行う。

履修のポイント

アイデア考案、情報収集を行い自分の考えをまとめる
目標到達に向け主体的な学習を行い技能習得に努める
授業態度等も重要視する。作品が一定水準に達していない時は再提出とする場合がある。

オフィス・アワー

授業内容に関する質問：金曜日、14:50～15:00 1号館3F 104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C374

講義コード	40390001
講義名	版画技法
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインやアート、芸術を学習する上で、版による表現方法を認識することは必要不可欠です。何故ならば、商業デザインにおいて印刷媒体との関係は切っても切れない関係であり、また純粋芸術の分野でも版画芸術は確固たる位置を占めています。この授業では、アルミ版によるリトグラフと銅版画（エッチング）の実習を行い、物質を通して間接的に表現し制作することを学びます。そして、版表現を学ぶことにより各自の作品制作、創作活動の参考になることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、版表現を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思えます。そして作品を展示し、人々の講評を得ることも社会とのコミュニケーションだと考え目標とします。

到達目標

版画技法を身につけることで優れたデザイナーやアーティストの育成を目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価、版画について） 平版による版画制作（金属版リトグラフ）	参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換する。	予習45分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
	平版による版画制作（金属版リト		予習45分：リトグラフ

第3回	グラフ) ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		予習45分：リトグラフについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・研磨したアルミ板の版面に描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	平版による版画制作（金属版リトグラフ） ・描画したアルミ板を製版し、プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第14回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・木板の版面に描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第16回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

	機を使って印刷する。		る。
第17回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第18回	平版による版画制作（木版リトグラフ） ・描画した木板を製版し、プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換する。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第19回	凹版による版画制作（銅版画） ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。		予習45分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第20回	凹版による版画制作（銅版画） ・銅板の版面に液体グラウンドを塗布する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第21回	凹版による版画制作 ・グラウンド膜ができた銅版に下描きをする。		予習45分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第22回	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグラウンド膜をかき取るように描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第23回	凹版による版画制作 ・下描きを参考にグラウンド膜をかき取るように描画する。		予習45分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第24回	凹版による版画制作 ・腐食液（塩化第二鉄液）に銅板を浸して腐食する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第25回	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を繰り返す。		予習45分：銅版画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第26回	凹版による版画制作 ・腐食した銅版に加筆し、腐食と描画を繰り返す。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第27回	凹版による版画制作 ・グラウンドをリグロインで落とす。腐食したところにインクを詰め込み、拭き取り、プレス機を使って印刷する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第28回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第29回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第30回	凹版による版画制作 ・プレス機を使って印刷する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディス	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをす

カッション、意見
交換する。る。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定 50 点以上
課題 80 %、授業への参加度 20 %

課題等に対する
フィードバックの方法

実技授業で、制作された作品は展覧会などに出品し展示することを目指します。そして展示されることにより講評を得ることを目標とします。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30~13:20 (昼休み)
1号館111研究室で行う。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C252

講義コード	40400001
講義名	絵画表現
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

現代では、絵を描く道具や材料は既製品として販売されており、簡単に購入することができます。しかし本来、画材とは作家自身が自らの表現に合わせて自作してきたものでした。本授業では、支持体や接着剤を作成することを学び、絵具などを手作りします。ルネサンス期までイタリア他で盛んに描かれていた古典技法のテンペラ画を学習し、マチエール研究を行います。そして、あえて古典技法を研究することで、忘れつつある「本来の絵画制作の原点」を感じてもらい、各自の制作活動の新たな表現領域につながることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するため、古典技法を学び制作することは多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識、技術を身につけることだと思えます。そして将来的な展望としては、画材を研究し、自らの制作活動に新たな表現領域を追求する真の作家を育てる学習を行うことを目指すものとしません。

- 到達目標**
- 1、キャンバスによるジェッソ（下地剤）を利用したマチエール研究
 - 2、学生がテンペラ技法における支持体と絵具の作成、描画ができることを目標とする。
 - 3、学生が膠と顔料による描画ができることを目標とする。

授業計画			
	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバス張り、木枠に麻布を張る。	参考作品を鑑賞し、ディスカッション、意見交換をする。	予習45分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第2回	マチエール研究による絵画制作 ・クロッキー帳などにエス		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

	キース、アイデアスケッチをする。		
第3回	マチエール研究による絵画制作 ・キャンバスに鉛筆で下描きをする。		予習45分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第4回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第5回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		予習45分：マチエールについて調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第6回	マチエール研究による絵画制作 ・ジェッソ（下地剤）を使用し、マチエール作りを行う。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第7回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第8回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第9回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第10回	マチエール研究による絵画制作 ・描画、マチエールを考えながら絵具で描く。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第11回	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体作り、板に膠を塗る。（前膠）	参考作品を鑑賞し、テンペラ画に対する理解を深める。	予習45分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第12回	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （ムードンとチタニウムホワイトの顔料、膠液で塗料を作り、支持体に塗り重ねる。）		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第13回	テンペラ技法による絵画制作 ・吸水性下地作り。 （塗り重ね、乾いた下地をサンドペーパーで擦る。）		予習45分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。

第14回	テンペラ技法による絵画制作 ・支持体に鉛筆で下描きをする。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第15回	テンペラ技法による絵画制作 ・メディウム作り。 (卵、ダンマルワニス、サンシクンドリンシードオイルで卵メディウムを作る。)		予習45分：テンペラ画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第16回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第17回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第18回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第19回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第20回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第21回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第22回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第23回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。		予習45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第24回	テンペラ技法による絵画制作 ・卵メディウムと顔料で描画する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第25回	色紙に日本画制作 ・クロッキー帳などにエスキース、アイデアスケッチをする。	参考作品を鑑賞し、日本がに対する理解を深める。	予習45分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第26回	色紙に日本画制作 ・鉛筆で下描きをする。		復習45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

第27回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		予習 45分：日本画について調べ、クロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第28回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		復習 45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。
第29回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。		予習 45分：次の作品のイメージをクロッキー帳などにアイデアスケッチをする。
第30回	色紙に日本画制作 ・膠液と顔料で描画する。	各自の作品を鑑賞し、講評、ディスカッション、意見交換をする。	復習 45分：指導を参考にアイデアスケッチをする。

教科書

使用しない。

参考書

使用しない。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題 80%、授業への参加度 20%

課題等に対する フィードバックの方法

実技授業で、制作された作品は講評会などを行いディスカッション、意見交換した後返却します。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30～13:20（昼休み）
1号館111研究室で行う。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C230

講義コード	40410001
講義名	ワークショップ・芸術教育
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

子供達の表現はパワーとエネルギーに満ち溢れています。幼児期から始まる表現のプロセスを理解し実践的に学び、年齢に合わせたカリキュラム作りのアイデアを多分に検討し、自己表現や過程を見つめ直し、芸術分野における指導の思考と技術を習得します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解する。その行程として、専門分野の知識や技能で、絵画／造形教室での指導を実践できる知識・技術を修得する。

到達目標

- 子供の表現の特徴を知る
- 楽しく自由に美術に触れてもらう為の思考力
- 一人一人違う個性を持った子供達の心にあわせた柔軟な対応能力
- 参考作品を作成する技術力

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	佐野 広章	概要説明、計画、用具の説明 子供造形教室の内容と役割について学ぶ 「アートカードゲーム」		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第2回	佐野 広	〃	絵画を素材としたゲームを考案し 意見交換を行う（アクティブラーニング）	

	章		
第3回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について子供の絵と心理① 平面の視覚効果と構成を学ぶ	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第4回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク② 実技演習 (小学校絵画・平面) 「百均造形(平面)」	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する(アクティブラーニング)
第5回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について子供の絵と心理② 立体物を抽象で表現する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第6回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク③ 実技演習 (小学校絵画・立体) 「百均造形(立体)」	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する(アクティブラーニング)
第7回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について子供の絵と心理③ 動きとは何? を考察する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第8回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク④ 実技演習 (小学校絵画・自由研究) 「動くおもちゃ制作」※ 廃材を持参	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する(アクティブラーニング)
第9回	佐野広章	発達段階を踏まえた美術指導について子供の絵と心理④ 楽しむとは何? を考察する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配布資料の確認
第10回	佐野広章	自分を見つめるミニワーク⑤ 実技演習 (小学校絵画・自由研究) 「ゲーム制作」※ 廃材を持参	グループワークで制作した作品をプレゼンテーションし意見交換する(アクティブラーニング)
第11回	佐野広章	造形教室のアイデア、見本作り 触感を素材で理解する	予習45分：次回実習内容に関連する情報収集 復習45分：実習内容とポイント・配

				布資料の確認
第12回	佐野 広章	自分を見つめるミニ ワーク⑥ 実技演習 「手漉き和紙」		
第13回	佐野 広章	自分を見つめるミニ ワーク⑦ 実技演習 「手漉き和紙の絵手 紙作成」	講評会：制作した作品をプレゼン テーションし意見交換する（アク ティブラーニング）	予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第14回	佐野 広章	教室運営についての 方法、注意すべき点 （保護者とのかかわ り、 事故、危険物につい て、ケア）		
第15回	佐野 広章	夏期絵画・造形教室 に向けて		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第16回	佐野 広章	〃	各自が企画したアイデアをプレゼ ンテーションし意見交換する（ア クティブラーニング）	
第17回	佐野 広章	絵画・造形教室の為 のアイデア① 見本制 作		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第18回	佐野 広章	〃	グループワークで制作した作品を プレゼンテーションし意見交換す る（アクティブラーニング）	
第19回	佐野 広章	絵画・造形教室の為 のアイデア② 見本制 作		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第20回	佐野 広章	〃	グループワークで制作した作品を プレゼンテーションし意見交換す る（アクティブラーニング）	
第21回	佐野 広章	絵画・造形教室の為 のアイデア③ 見本制 作		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認

第22回	佐野 広章	〃	グループワークで制作した作品を プレゼンテーションし意見交換す る（アクティブラーニング）	
第23回	佐野 広章	プログラムのディス カッション、シミュ レーション①		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第24回	佐野 広章	〃	シミュレーションの結果を考察し 意見交換する（アクティブラー ニング）	
第25回	佐野 広章	プログラムのディス カッション、シミュ レーション②		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第26回	佐野 広章	〃	シミュレーションの結果を考察し 意見交換する（アクティブラー ニング）	
第27回	佐野 広章	プログラムのディス カッション、シミュ レーション③		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第28回	佐野 広章	〃	シミュレーションの結果を考察し 意見交換する（アクティブラー ニング）	
第29回	佐野 広章	みどり市の小学生 （1年生～4年生） を対象とした実践指 導		予習45分：次回実 習内容に関連する 情報収集 復習45分：実習内 容とポイント・配 布資料の確認
第30回	佐野 広章	〃	実践指導内容を意見交換し、こど もを対象とした造形教育について 考察する（アクティブラーニン グ）	

教科書

使用しない

参考書

使用しない。
必要に応じて配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

授業態度30%、課題完成度70%で総合的に評価
※本授業では、作品提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

課題毎にプレゼンテーションと講評を行う。
各自の制作状況にあわせ、指導・助言・意見交換を適宜行う。
(アクティブラーニング)

履修のポイント

既成概念に捕われず、新しい発想や個性的な表現を楽しむ。また表現を実践するにあたり、エプロンや白衣などを準備する。

オフィス・アワー

木曜日 12:35～13:15 1号館2階121研究室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C351

講義コード	40420001
講義名	フィールドワーク
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	大日向 基子	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし
教員	山本 博一	指定なし
教員	寺村 サチコ	指定なし

授業の概要と教育目標

産官学共同や地域連携プロジェクトなどの、大学と産業や行政が共に協力し社会に貢献していくような活動が、近年各所で実施され成果を上げている。研究と教育を生業とする「学」にとって、それらのプロジェクトは「学生が実践的に学べる」貴重な場となりえることは言うまでもない。

本講座では学外機関の協力のもと、与えられたプロジェクトの起点からフィールドワークをおこなって、求められる事柄を発見し取り組みのテーマを考え、プロジェクトとして企画実行する。各専門教育で学んだことが、社会のどのようなところで、どのように活かされるのか、その回答が実感できるような授業となる。なおプロジェクトの企画計画には経済な視点も求められ、すなわち商業的要素も多分に含むため、商業施設士補の認定教科となっている。

履修対象者はアート・デザイン学科2年生全員を想定しており、用意された複数のプロジェクトからひとつを選択する。授業時間は協力機関の都合や企画内容等に左右されるため、プロジェクトごとに任意に設定され、休暇中や前後期にまたがることもありえる。また、内容に応じて交通費や画材購入費等の金銭的な負担、医療施設などに立ち入る場合は自費での予防接種等を必要とする場合もある。グループ行動が多くなるため欠席しないようにしてほしい。

本講座の教育目標は、専門分野を通じた社会との接触により、専門の学びに対する必要性を体感し、更なる学びの方向性を発見することである。

小松原、山本、佐野、大日向、寺村で3～4のプロジェクトを担当する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

フィールドワーク授業は、各分野で様々な学修したことを統合し、グループワークの中からコミュニケーション能力を高め、そこで得られた学習を社会で実践していく授業である。したがって下記、アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって身につけておくべき力）を身につける、最も重要な授業として位置付けている。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

アート・デザインに関わる仕事は、依頼者をはじめ複数の専門家と協力し合いながら遂行される場合が多い。業務におけるフィールドワークは、与件の確認やプロジェクトのさまざまな可能性を発見するためにおこなわれる。本講座の学習目標は、フィールドワークを通じて、社会や仕事の現場で何が求められているのかを知る能力を養うこと。また、フィールドワークでの結果を尊重し、第三者と協力し合いながら業務を進められるようになることである。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業概要説明、各プロジェクトについての詳細について説明。		予習20分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習25分：講義内容の確認
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 ※業界や製品について（概念、機能、設備、組織） ※必要に応じてフィールドワークも行う。 ※前期は5限90分で授業を行う予定。その後は夏季集中授業として実施する。 		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 		予習20分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
			予習20分：各プロ

第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・協力機関との協議、依頼、調整 ・机上調査、協力機関についてのリサーチをおこなう。 		<p>プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習25分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。</p>
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン提案作成。 	<p>各プロジェクトごとにリサーチ結果をまとめ、プレゼンテーションを行う。 内容についてディスカッションするとともに、今後のスケジュールについて決定する。</p>	<p>予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。</p>
第8回	//	//	//
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。 		<p>予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。</p>
第10回	//		//
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。 		<p>予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。</p>
第12回	//		//
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。 		<p>予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。</p>
第14回	//		//
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。 		<p>予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。</p>
第16回	//		//
第17回	<ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。 		<p>予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復</p>

			習内容を指示する。
第18回	//		//
第19回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第20回	//		//
第21回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第22回	//		//
第23回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第24回	//		//
第25回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第26回	//		//
第27回	・各プロジェクトごとに制作を進める。協力機関等と話し合いをしていく中で方向性を見だし、年度内の完成を目指す。		予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について復習内容を指示する。
第28回	//		//
第29回	プロジェクトごとのプレゼン資料完成	各プロジェクトごとに関係する協力機関等にて、プレゼンテーションする。	予習45分：各プロジェクト毎に予習内容の指示をする。 復習45分：各プロジェクト毎に実施された内容について検証する。
第30回	//	//	

使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
<p>単位認定 50点以上 各努力目標に対する達成度：70%、作品や活動の質：30% ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。</p>
課題等に対する フィードバックの方法
各プロジェクトチームにおいて、プレゼンテーション、ディスカッション(アクティブラーニング) 講評を適宜実施する。
履修のポイント
<p>各プロジェクトごとに必要な準備(材料、情報、資料収集等)は、担当教員の指示に従い事前に準備すること。 グループで行動することが多いので、出席や集合時間等、行動に責任を持つ事。</p>
オフィス・アワー
<p>授業に関する質問:月曜日 12:30~13:20 小松原：124研究室 山本：131研究室 大日向：123研究室 佐野：121研究室 寺村：122研究室</p>
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C352

講義コード	40430001
講義名	デザイン史
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとに実務で役立つデザインの歴史のポイントを示す授業内容
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

「デザイン」とは、目的に対して機能性や経済性などの付加価値を考慮しながら造形（表現）することであるとすれば、デザインされた製品の造形（表現）は、社会の価値観や時代の風潮なども包括する「環境」の影響をうけているといえる。このような観点から、過去にデザインされた製品の造形（表現）を観察すると、それがつくられた「環境」を推察することが可能であろう。そこで、本講座では、各時代の製品や造形（表現）に着目して、「デザイン」の概念が意識され始めたとする19世紀半ば以降から現代までの「デザイン」とそれに影響を与えた「芸術運動」ついて時間軸に沿って考察する。造形（表現）のそれぞれの環境（各国各時代）における意味および表現の理由などについて解釈していく。

なお本講座は、デザインやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得と、先人たちが歩んだ軌跡から今後における新たなデザインの役割について示唆を得ることから、デザインやクリエイションの現場で出現するさまざまな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもつことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、デザインやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得を目指す。また、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、デザインやクリエイションの現場で出現するさまざまな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもつことを目指す

到達目標

本講座の到達目標は

1. デザインやクリエイションに関わる歴史的な知識の習得
2. 先人たちが歩んだ軌跡から今後における新たなデザインの役割について示唆を得る力の習得
3. デザインやクリエイションの現場で出現するさまざまな新しいことに対して、相応しい判断をするための材料をもてること

授業計画

	アクティブラーニング	予習・復習と
--	------------	--------

	授業内容と方法、課題	の内容	そのために必要な時間
第1回	デザインの概念および美術史について		予習：90分 周辺にある製品を一つあげ、それがいつごろつくられたものなのか調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	イギリス産業革命以降		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第3回	新しい素材と表現		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	現在における「技術」をキーワードとした製品や空間の考察	<アクティブラーニング> 学生同士がレポート作品を制作しながら意見交換する	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第5回	ウィリアム・モリスとアーツアンドクラフツ		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	アール・ヌーボーと世紀末		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第7回	現代における「装飾」をキーワードとした製品や空間の考察	<アクティブラーニング> 学生同士がレポート作品を制作しながら意見交換する	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第8回	ドイツ工作連盟とバウハウスオランダの近代運動		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第9回	オランダの近代運動		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう

第10回	ロシア構成主義		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第11回	アメリカ		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第12回	ヨーロッパ		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第13回	日本		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	コンテンポラリーデザイン		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第15回	総括、レポート作成		予習：90分 全てのセクションの復習をおこなう 復習：90分 授業内試験の復習をおこなう

教科書

特に使用しない

参考書

「世界デザイン史，阿部公正監修」

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上，事例研究課題の成果（40%程度）とレポート（60%程度）

課題等に対する フィードバックの方法

ディスカッション課題は授業内でフィードバックする。事例研究課題，レポートのフィードバックは授業内でおこなわず，授業外で希望者のみ個別におこなう。また，講義ノートを担当教員研究室前に公開するため，履修学生は自由に活用できる。

履修のポイント

ノートを作成すること

オフィス・アワー

月曜日，16:30-18:10，山本研究室（1号館131）

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C213

講義コード	40440001
講義名	ユニバーサルデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	1時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとに実務で役立つユニバーサルデザインのポイントを示す授業内容
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

近年までの大量生産、大量消費を前提としたデザインは、市場の最大公約数を対象とし、いわゆる健常者と括られている人のみを意識したものであったと言えよう。しかし、健常者といえども障がいを得る可能性や、加齢という観点からも永遠にそうあり続けるとは限らない。そのうえ、人には各々に身体能力や感覚、アイデンティティにも異なりがあることを忘れてはならない。すなわち、我々の生活する社会には「さまざまな人」が存在していると捉えるべきであり、今後における製品や空間のデザインにおいても、対象とする「人」とは、特定の「人」ではなく「さまざまな人」であると考えらるべきであろう。本講座では、以上のような観点からデザイナーやクリエイターを目指す私たちが、これからの社会にとって相応しいデザインを創出していくためのユニバーサルデザイン（UD）の基礎知識と実践例を学び、今後の社会でのデザイナーの業務や姿勢などについて議論する。

なお本講座は、UDの原則を理解してUDを実践するための知識を習得し、UDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目標とする。また本講座は、商業施設士補資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座は、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術の修得のために、本講座では、UDの意識をもって社会に貢献できる能力を身につけることを目指す

到達目標

本講座の到達目標は

1. UDの原則の理解
2. UDを実践するための知識の習得
3. UDの意識をもって社会に貢献できる能力の習得

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
			予習：90分 周辺にある UD製品を一

第1回	UDの背景と概念		つあげて使用方法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第2回	風土と慣習，経済と産業		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第3回	企業の仕組みとデザイナーのポジションや業務		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第4回	人間の加齢と幼齢について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第5回	生活における動作と障がいを得ることについて		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第6回	観察と実験の重要性について。障がいを得た状態を実体験する。 ＜アクティブラーニング＞ 視覚障害を想定した体験型の実験をおこない、グループで意見交換する。		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第7回	「観察と実験」をテーマに制作	＜アクティブラーニング＞ 学生同士がレポート作品を制作しながら意見交換する	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
			予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる

第8回	「公平な使用への配慮」ほか		復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第9回	「あらゆる感覚による情報への配慮」ほか		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第10回	「耐久性と経済性への配慮」ほか		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第11回	「UDの7原則と3つの付則」をテーマに制作	<アクティブラーニング> 学生同士がレポート作品を制作しながら意見交換する	予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第12回	販売やサービスの提供について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第13回	デザインと生産について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第14回	調査分析と企画について		予習：90分 授業で講義するセクションの予習をおこなう法を調べる 復習：90分 授業で講義したセクションの復習をおこなう
第15回	総括、レポート作成		予習：90分 全てのセクションの復習をおこなう 復習：90分 授業内試験の復習をお

教科書

特に使用しない

参考書

「ユニバーサルデザインの教科書, 中川聡監修」, 「ユニバーサルデザイン事例集100, 日経BP社」

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上, 事例研究課題の成果(40%程度)とレポート(60%程度)

課題等に対する
フィードバックの方法

ディスカッション課題は授業内でフィードバックする。事例研究課題, レポートのフィードバックは授業内でおこなわず, 授業外で希望者のみ個別におこなう。

履修のポイント

ノートを作成すること

オフィス・アワー

月曜日, 16:30-18:10, 山本研究室(1号館131)

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C260

講義コード	40450001
講義名	コミュニケーション論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。実務経験を根拠としたデザイン領域でのコミュニケーションについて具体的に示す授業内容
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし

授業の概要と教育目標

日常の会話では、「言葉」とともに「表情」や「身振り」などを使用して情報のやりとりをしている。それに加え、就職活動等にもなう面接試験などの場面では、髪型や服装などの表装まで意識されることもある。また、某有名アニメ制作会社内でのキャラクターデザインの発表時は、デザイナー自身が、提案するキャラクターを演じながらプレゼンテーションを行い、リアリティをもって訴えかけることも有名である。このように、生活の重要な場面や自分が創造したデザイン(作品)のプレゼンテーション時などでは、場に応じた的確なコミュニケーション手段を講じなければならない。本講座では、特に商行為に関わる「非言語コミュニケーション」に着目し、デザイナー(クリエイター)にとってのプレゼンテーション、および職場での打合せなどを念頭においたコミュニケーション手段の可能性と、その方法論を学ぶ。

なお本講座では、自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力と面談等での円滑なコミュニケーションができる能力を得ることを教育目標としている。本講義は商業施設士補資格の指定教科となっている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講座では、アート・デザイン学科のディプロマポリシー；「環境」や「コミュニケーション」の側面からの「人間の生活空間」についての多面的に理解、対象の理解のために、本講座では、生活の観察を通してコミュニケーションの理解に取り組む。また、ディプロマポリシー；表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得のために、本講座では、特に専門職の面接試験時のコミュニケーション技術の習得に的を絞る。および、ディプロマポリシー；実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるようになるために、本講座では、自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力と、アート・デザインの現場での円滑なコミュニケーションができる能力を得ることを目指す。

到達目標

- 本講座の到達目標は
1. 生活の観察を通じたコミュニケーションの理解
 2. コミュニケーション技術の習得
 3. 自身のデザインや作品について質の高いプレゼンテーションができる能力の習得
 4. 面談等での円滑なコミュニケーションができる能力の習得

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	生活と商業的行為におけるコミュニケーションの目的と実例	<アクティブラーニング> ロールプレイングゲーム形式で非言語コミュニケーションの実践を試みる	予習：90分 特に商業におけるコミュニケーションのバリエーションについて調べる 復習：90分 自分のコミュニケーション能力について考える
第2回	絵の機能と時間軸		予習：90分 絵によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 絵によるコミュニケーションの事例をまとめる
第3回	文字の多様性と文化		予習：90分 文字によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 文字によるコミュニケーションの事例をまとめる
第4回	ビジュアルにたよらない音の価値		予習：90分 音によるコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 音によるコミュニケーションの事例をまとめる
第5回	情報伝達と感情の操作		予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第6回	デザイン領域		予習：90分 デザイン領域のコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 デザイン領域のコミュニケーションの事例をまとめる
第7回	アート領域		予習：90分 アート領域のコミュニケーションの事例をあげる 復習：90分 アート領域のコミュニケーションの事例をまとめる
第8回	メッセージの表現		予習：90分 復習：90分 出題された課題をまとめる
第9回	コミュニケーションを成功させるための準備ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう

第10回	コミュニケーション中におけるリアリティほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第11回	問題のある相手に対する対処法ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第12回	コミュニケーションの実践		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第13回	集中を持続させる技術や質問の方法ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第14回	コミュニケーション後の整理ほか		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう
第15回	総括、授業内試験		予習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう 復習：90分 面接の対象と想定する企業の研究をおこなう

教科書

特に使用しない

参考書

授業内に適宜伝達

成績評価の方法・基準

60点以上、事例研究課題の成果（40%程度）と授業内試問（60%程度）

課題等に対する フィードバックの方法

事例研究課題のフィードバックは授業内でおこなう。授業内諮問のフィードバックは授業内ではおこなわず、授業外で希望者のみ個別におこなう。

履修のポイント

ノートを作成すること

オフィス・アワー

月曜日、16:30-18:10、山本研究室（1号館131）

科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C233

講義コード	40460001
講義名	くらしのデザイン論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	2時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	住宅部材のデザインや内装設計業務の経験に基づき、生活文化とデザイン活動のありかたや造形表現・商品開発等の手法と社会的意義を解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

生活文化全般に関わる、衣（医）・食・住のデザイン。
 長い人類の歴史の中でつくられた様々な造形・芸術・デザイン活動が、社会とどう関わり、影響を与えてきたか、その表現形態に込められた思いや、メッセージを探り、デザインの社会的な役割を探求していきます。
 造形物の表現意図、芸術表現と社会へのメッセージ、メディアの選択や活用による情報伝達等、過去の実例と未来における可能性を考察し、デザイン活動を行う上での、情報分析力（デザインを見る知性と感性）と企画構想力（デザインを創り出す視点と着想）の基礎を探求していきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

社会の中で、アートやデザインの活動により、新たな生活文化の価値を創造し、社会環境の改善と、生活文化の発展に貢献できる情報分析力と活用力、企画構想力の基礎を修得すること。

到達目標

自らが取り組む研究課題や、制作主題に対し、その歴史や発展、現代の「人間の生活空間」における意義や役割を、「環境」や「コミュニケーション」の視点から多面的に理解できていること。
 アートやデザインの対象となる「もの」や「こと」の本質を探究理解し、表現に生かせる専門的な「知識」や「技能」を修得できていること。
 社会に役立つアートやデザインの担い手として、「もの」や「こと」の新たな方向性を思索し、提案していくプロセスの習得ができていることを目標とします。

授業計画

担当	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習とそのため必
----	------------	---------------	-------------

	者			要な時間
第1回	峰岸康之	アート・デザインと生活文化の関わりについての考察。		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第2回	峰岸康之	古代文物、伝統文様、宗教美術、寺院建築、民族衣装等の写真資料から、造形表現に込められた意味を探ります。	提示課題を観察し造形物の特徴や制作意図を「アクティブラーニング」形式の意見交換、討論を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第3回	峰岸康之	近代デザイン、特にアーツアンドクラフツ運動や、バウハウスの理念と、現代のデザイン教育やデザインビジネスへの関連や問題について考察。		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第4回	峰岸康之	芸術表現と科学技術のかかわりを、様々な分野の造形物の表現から考察してみます。	課題レポート1	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
	峰	デザインワークのありかたを、	提出レポートの課題選定や考察	予習として資料の確認読み込み

第5回	岸康之	社会環境や生活空間全体を見渡す中から着眼点を探求していきます。	展開に対し「アクティブラーニング」形式の発表、講評、意見交換を行う。	み90分 復習として 関連事項の調査 考察90分
第6回	峰岸康之	多様な情報環境の現代、新たにつくられていくアートやデザイン。知的財産権と、創造する姿勢について考察していきます。		予習として 資料の確認読み込み み90分 復習として 関連事項の調査 考察90分
第7回	峰岸康之	視覚表現とデザイン1		予習として 資料の確認読み込み み90分 復習として 関連事項の調査 考察90分
第8回	峰岸康之	視覚表現とデザイン2		予習として 資料の確認読み込み み90分 復習として 関連事項の調査 考察90分
第9回	峰岸康之	空間表現とデザイン		予習として 資料の確認読み込み み90分 復習として 関連事項の調査 考察90分

第10回	峰岸康之	身体装飾とデザイン		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第11回		IT技術の進歩発達により、日常生活における様々なモノと情報の変化を考察し、メディアとアート・デザインの新たな可能性を探っていきます。	課題レポート2	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第12回	峰岸康之	IT技術の進歩発達により、日常生活における様々なモノと情報の変化を考察し、メディアとアート・デザインの新たな可能性を探っていきます。	提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見交換を行う。	予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第13回		マーケティングの手法、様々なセグメンテーション		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分
第14回	峰岸康之	デザインレビュー（商品の構想・企画・設計・試作・量産の過程）	課題レポート3 提出レポートの課題選定や考察展開に対し「アクティブラーニング」型式の発表、講評、意見	予習として資料の確認読み込み90分 復習として

			交換を行う。	関連事項の調査考察90分
第15回	峰岸康之	総論 / まとめ		予習として資料の確認読み込み90分 復習として関連事項の調査考察90分

教科書

独自の資料を作成・配布し、参考文献や情報を随時紹介していきます。

参考書

デザインの生態学：後藤武・佐々木正人・深澤直人 / (東京書籍)
デザインのデザイン：原研哉 / (岩波書店)

成績評価の方法・基準

課題レポート1 (35%)、課題レポート2 (25%)、課題レポート3 (40%) により評価、単位認定 50点以上 とします。

課題等に対するフィードバックの方法

提示された課題テーマ、及び自ら選定した課題テーマに対する調査や考察、着眼や展開に対する取り組みを、小論文形式のレポート作成という形で研鑽していきます。課題の着眼において、手掛かりとなる情報の提示や、考察のプロセス、造形への展開方法などを提示し理解を深め、研究や制作へ向かい、課題解決力を修得できるようなフィードバックを行っていきます。

履修のポイント

アート・デザインと社会生活(暮らし)の関わりを様々な側面から考察していきます。卒業研究や、作品やレポート課題へ取り組む際のプロセスノウハウとしても役立てましょう。

オフィス・アワー

非常勤)
前期：水曜日(1限は生活科学科授業) 10:50~11:00 1号館131
*個別に質問や相談事項がある場合は、講義の前又は後に申し出てください。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C261

講義コード	40470001
講義名	美術解剖学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

絵画やイラストレーション、漫画の熟達を目指す者にとって、人物や人体の理解は根本的な課題である。そこで美術解剖学を学ぶことにより、人体の構造を知り、表現の可能性を多面化する。この授業では、人体のプロポーションや各部位の構造などをテーマとし、課題制作を通して知識を表現力と結びつけることを教育の目的とする。
 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」ことを目指し、人物表現の基礎を学習する。

到達目標

感覚的に捉えがちな人体の構造、からだの特徴を、美術解剖学として理解することにより、それぞれの専門分野で制作するデザインや表現をより豊かにする。正面だけではなく、側面や背面、斜めからの描写を追う。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	教科書を見ずに顔と首を描き、それぞれの癖や先入観を理解する。お互いの作品を鑑賞して意見を述べる。	予習：90分 必要な道具の準備 復習：90分 配布資料の確認
第2回		頭と首、顔の造作の構造についての		予習：90分 頭と首の模写準備

		理解、模写		復習：90分 頭と首の模写制作
第3回		頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写		予習：90分 頭と首の模写制作 復習：90分 頭と首の模写制作
第4回		頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写		予習：90分 頭と首の模写制作 復習：90分 頭と首の模写制作
第5回		頭と首、顔の造作の構造についての理解、模写	模写提出、鑑賞	予習：90分 頭と首の模写制作 復習：90分 頭と首の模写制作
第6回		プロポーションについての理解、模写提出	模写提出、鑑賞	予習：90分 プロポーションの模写準備 復習：90分 プロポーションの模写制作
第7回		全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写準備 復習：90分 全身の構造の模写制作
第8回		全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第9回		全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第10回		全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第11回		全身の構造について		予習：90分 全身の構造の模写制作

		ての理解、模写		復習：90分 全身の構造の模写制作
第12回		全身の構造についての理解、模写		予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第13回		全身の構造についての理解、模写	模写提出、鑑賞	予習：90分 全身の構造の模写制作 復習：90分 全身の構造の模写制作
第14回		手と足の構造についての理解、模写		予習：90分 手と足の構造の模写準備 復習：90分 手と足の構造の模写制作
第15回		手と足の構造についての理解、模写	模写提出、鑑賞	予習：90分 手と足の構造の模写制作 復習：90分 手と足の構造の模写制作

教科書

やさしい美術解剖図 人物デッサンの基礎 J.シェパード著 マール社

参考書

アーティストのための美術解剖学（ヴァレリー・L・ウィンスロウ著）、美術解剖図譜（東京芸術大学美術解剖学教室編）、やさしい人物画～人体構造から表現方法まで、手と足の描き方～骨格、筋肉、形状、動き、性別や年齢による違い（ジョヴァンニ・チヴァルディ著）、Anatomy for the Artist（Sarah Simblet著）他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 頭と首、顔の造作の構造(40%) プロポーションについての理解(10%) 全身の構造(50%)

課題等に対する フィードバックの方法

アクティブ・ラーニングで得た意見や感想、個別指導時のコメントを、フィードバックとして各自授業内容の理解に役立てる

履修のポイント

骨格や筋肉を意識した模写を試みる、教科書、参考書、配布資料の熟読

オフィス・アワー

月曜日 14:50-15:00 9号館902教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C210

講義コード	40480001
講義名	美術史
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

歴史の中でも美術史は、少し特異な性格をもっています。過去の事実だけでなく、私たちの目の前にある芸術作品がその対象であり、現在と過去が作品を通して立体的に交差するところに美術史は成り立ちます。芸術作品を鑑賞しながら、過去の事実を検証することで、美術の歴史の流れを浮かび上がらせ、その時代の天才たちが、現代に生きる私たちに何を問いかけているのかを考えたいと思います。そして、美術の歴史を学ぶことにより各自の作品制作、創作活動の基礎、参考になることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、美術の歴史を学び、その知識を身につけることは最低限必要なことです。歴史を検証し、新しきを知るという姿勢は、作品制作、創作活動の基本となるところです。そして将来的な展望として、教職必修でもある本授業は、芸術作品の鑑賞を通して心豊かな人を育てる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

美術の歴史を検証し、芸術作品を鑑賞することで、各自の作品制作、創作活動の基礎、参考になり感性豊かな作家を育てることを目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション (授業の進め方、成績評価など) [アクティブ・ラーニングの内容] 美術史に登場する芸術家、芸術作品についてのディスカッション。	履修者に対して西洋美術史、日本美術史、アジアの美術史に登場する芸術家、芸術作品に関して問題提起し、意見交換する。	予習90分：興味ある芸術家、芸術作品について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。

第2回	旧石器時代の美術、メソポタミア美術について検証し、講義する。		予習90分：原始美術、メソポタミア美術について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	エジプト美術について検証し、講義する。		予習90分：エジプト美術について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	クレタ美術、ミュケナイ美術、ギリシア美術について検証し、講義する。		予習90分：クレタ美術、ミュケナイ美術、ギリシア美術について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	エトルリア美術、ローマ美術について検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 古代美術についてのディスカッション、意見交換。	エジプト美術、ギリシア美術、ローマ美術などの古代美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習90分：エトルリア美術、ローマ美術について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	ルネサンス美術の映像を鑑賞し、ルネサンスについて考える。 [アクティブ・ラーニングの内容] ルネサンスについてのディスカッション、意見交換。	ルネサンスについて、どういう時代だったのかディスカッションし、意見交換する。	予習90分：ルネサンスという時代について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	初期ルネサンス美術について検証し、講義する。		予習90分：初期ルネサンス美術について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	盛期ルネサンス美術（レオナルド・ダ・ヴィンチ）について検証し、講義する。		予習90分：レオナルド・ダ・ヴィンチについて調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	盛期ルネサンス美術（ミケランジェロ）について検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] ルネサンス美術についてのディスカッション、意見交換。	ルネサンス美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習90分：ミケランジェロについて調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	印象主義（マネ、ドガ、モネ、ルノワール、ピサロ）について		予習90分：印象派について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。

	検証し、講義する。		料を見直す。
第11回	後期印象主義（セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン、スーラ）について検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 印象派についてのディスカッション、意見交換。	印象派についてディスカッションし、意見交換する。	予習90分：後期印象派について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	フォービズム、表現主義について検証し、講義する。		予習90分：フォービズム、表現主義について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	キュビズム、ダダイズム、シュールレアリスムについて検証し、講義する。		予習90分：キュビズム、ダダイズム、シュールレアリスムについて調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	抽象表現、構成主義について検証し、講義する。		予習90分：抽象表現、構成主義について調べる。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップ・アートについて検証し、講義する。 [アクティブ・ラーニングの内容] 20世紀の美術についてのディスカッション、意見交換。	20世紀の美術についてディスカッションし、意見交換する。	予習90分：抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップ・アートについて調べる。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

使用しない。

参考書

西洋美術史（監修＝高階秀爾）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

レポート・課題80%、授業への参加度20%

課題等に対する フィードバックの方法

毎回資料を配布する。

授業内でレポートや課題を課すことがあり、返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。

オフィス・アワー

月曜日、12:30～13:20（昼休み）

1号館111研究室で行う。

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C211

講義コード	40490001
講義名	コミック・アニメ文化論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	漫画家としての雑誌掲載経験をもとに、マンガ・アニメの歴史や理論を、作品例を挙げながら解説する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三友 恒平	指定なし

授業の概要と教育目標

日本は、マンガやアニメーションの文化的レベルにおいて世界を圧倒的にリードし、特異な進化を遂げてきた。日本以外のほとんどの国ではマンガやアニメの類は基本的に子供向けであり、大人のためのマンガが存在し、それを実際に大人が真剣に読んでいる国などと言うのは、我が国以外では他に余り例がない。
 こうした状況がどのようにして生まれ、現在に至っているのかについて多角的に学んで行く。
 また作品の理解を深めるため、歴史・作品の学習に並行して物語の組み上げ方の基本学習を行う。
 ＊シラバスの内容についてはマンガ・アニメの最新情報、授業進行上の状況により変更する場合もある。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アートデザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、国を代表する文化の一つとなり、世界的にも高い評価を受けているマンガやアニメーションについて学び、より広い知識を身につける事で理解を更に深めて行く。
 また実践的なデザイナーやアーティストとして活躍するためには、コミュニケーション、伝達性の面から見て物語性の理解もまた有効な手段の一つである。その技術的な骨組みを理解することで深い考察能力を身につけ、物語性を各自の作品制作等にも取り入れることができ、多様な表現の幅を持ち社会のニーズや変化に対応できるアーティストを育成する事を目的とする。

到達目標

- 日本のマンガ・アニメが発達して行く過程と要因について理解できる。
- 手塚治虫に代表される作家達の作品への知識を深め、時代背景等を含む作家の意図を理解できる。
- 魅力的なキャラクターの制作意図、またストーリーの骨組み、それら必要な手順を理解できる。
- キャラクターやストーリー作りを、作品考察の補助とするとともに、自らも作り出すことができるようになる。

授業計画

	担		予習・復習と
--	---	--	--------

	当 者	授業内容と方法、 課題	アクティブラーニングの内容	そのために必要な 時間
第1回	三友恒平	オリエンテーション 授業の概要について・評価方法について・その他留意点等	漫画体験実習。配布された四コマ漫画(二コマ目まで記入済)の続きを考え、各自で記入し物語として完結させる。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第2回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か ①		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第3回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か ②	キャラクター制作実習。授業において解説された、魅力的なキャラクターに共通する特徴二種類を使い、キャラクターを作る	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第4回	三友恒平	現代マンガ、アニメの骨格 キャラクターとは何か ③	キャラクター制作実習。授業において解説された、魅力的なキャラクターに共通する特徴二種類を使い、キャラクターを作る	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第5回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ ① + 物語の文法 ①		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第6回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ ② + 物語の文法 ②		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第7回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルーツ ③ + 物語論プロップ31の機能 ①	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
	三	日本マンガの歴史 現代マンガのルー	物語制作実習。配布されたプリントに	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する

第8回	友恒平	ツ④ + 物語論プロップ31の機能②	書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第9回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルール ツ⑤ + 物語論プロップ31の機能③	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第10回	三友恒平	日本マンガの歴史 現代マンガのルール ツ⑥ + 物語論プロップ31の機能④	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第11回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルール ツ⑦ + 物語論ヒーローズジャーニー①	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第12回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルール ツ⑧ + 物語論ヒーローズジャーニー②	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第13回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルール ツ⑨ + 物語論ヒーローズジャーニー③	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第14回	三友恒平	日本マンガ・アニメの歴史 現代マンガのルール ツ⑩ + 物語論ヒーローズジャーニー④	物語制作実習。配布されたプリントに書かれた物語、その続きを、参考書の手順に従い各自で書き進める。	予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる
第15回	三友恒平	まとめ 授業総括・レポート等について		予習 90分 漫画、アニメ作品を鑑賞する 復習 90分 配布されたプリントを読み、授業を振りかえる

教科書
なし
参考書
著者・大塚英志 『ストーリーメーカー』 発行所・株式会社星海社
成績評価の方法・基準
単位認定 60 点以上 ※レポートの提出 100% ※本授業はレポート提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また授業において資料を配布するので、漫画の歴史の再認識を行うとともに、キャラクターや物語の理解、制作に役立てること。
履修のポイント
授業内容をよく聞き、興味と表現の幅を広げること
オフィス・アワー
金曜日 16:30-16:40 9号館902教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C212

講義コード	40500001
講義名	現代アート論
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

多様な素材、技法、概念を用いた現代アート作品が生まれる背景や、作品と社会の関係性に意識を向けることを念頭に、現代美術が担う役割や表現の可能性について考えることを、教育目標とする。授業では、スライド資料や映像を交えながら、時系列にこだわる事なく、国内外の著名なアーティストや話題の展覧会の事例を元に、現代のアートシーンを紹介してゆく。
 ※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
 ※本授業はレポート提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代美術に関わるレポートの作成・提出を通し、対象の理解をもとにして表現するための知識、および選択した専門分野の知識、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識を修得することを目指す。

到達目標

今まで触れる機会がなかった作家や作品を知ることにより、視野を広げ、現代アートに対する興味関心を養う。授業を通して得た知識や刺激を、個々の制作活動にも幅広く役立てることを到達目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
第1回	大日向基子	前提講義 国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して	「アートとは何か」を自由に考え、意見を交換し、自分なりに定義する。アイデアを記録したメモを提出する。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
				予習：90分 興味のある

第2回	大日向基子	国際芸術祭、近年の展覧会やアート・イベントに関して		あるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第3回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：人をつなぐ)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第4回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：喪失、不在、記憶)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第5回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：喪失、不在、記憶)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第6回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：身体)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第7回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：身体)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第8回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：政治・社会・ジェンダー)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第9回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：政治・社会・ジェンダー)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る

第10回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：マンガ、イラストレーション)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第11回	大日向基子	アーティストの紹介 (テーマ：アール・ブリュット)		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第12回	大日向基子	教育、福祉、環境、地域との関わり、ギャラリー、オルタナティブスペースなどの紹介。		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第13回	大日向基子	教育、福祉、環境、地域との関わり、ギャラリー、オルタナティブスペースなどの紹介。		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第14回	大日向基子	社会での実践や展開例を元に、アートの役割や可能性を考察する。		予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る
第15回	大日向基子	社会での実践や展開例を元に、アートの役割や可能性を考察する。	第1回目授業で各自が定義した「アートとは何か」を再考する。アイデアを記録したメモを提出する。	予習：90分 興味のあるアーティストをリサーチする、レポートの準備 復習：90分 ノート・メモ・資料で授業を振り返る

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

現代アートとは何か（小崎哲哉著）、アート・インダストリー～究極のコモデティを求めて（辛美沙著）、反美学～ポストモダンの諸相（ハル・フォスター編）、Art:Art in a New World（松井みどり）、20世紀の美術（末永照和監修）、現代美術～ウォーホール以降（美術手帳編集部編）他

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 最終授業終了後に提出するレポート（データ）を80%、授業への参加度20%として採点する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業の内容については随時質問を受け付けている。第1回目と第15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。

履修のポイント

興味を持った作家や作品についてリサーチを行い、文献等の資料を収集すること。
日頃から美術に関する批評やコラムを読み、言語表現に関心を払うこと。

オフィス・アワー

火曜日 16:30-16:40 9号館902教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C132

講義コード	40510001
講義名	映像論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	5 時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

映像表現は、テクノロジーや制作環境の推移とともに、日々変化している。初期の映像玩具、映画黎明期及びアニメーション、メディア・アート、実験的な作品に触れつつ、近年の特徴ある映像作家や研究機関などについても言及する。さまざまなジャンルの映像作品を鑑賞することにより、楽しみつつ知識と理解を深めることを教育の目標とする。
 ※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
 ※本授業はレポートのデータ提出により成績評価を行い、定期試験は実施しない

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している」「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、映像に関するレポート作成・提出を通して、新たな角度から日常を取り巻く映像を見つめ直すきっかけを与えることを目指す。

到達目標

アート領域における映像の可能性や表現を幅広く知り、視野を広げることを到達目標とする。それぞれの専門分野での作品制作に、新たな刺激と厚みをもたらしたい。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向基子	前提講義 光を記録する写真が映像に至るまで（映像玩具、エジソン、マイブリッジ、リュミエール兄弟他）	好みの写真、映像、映画等について話し合う。メモを提出する。	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・

			資料で授業を振り返る
第2回	光を記録する写真が映像に至るまで（映像玩具、エジソン、マイブリッジ、リュミエール兄弟他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第3回	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第4回	サイレントからトーキーの作品紹介（メリエス、オブライエン、ディズニー他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第5回	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第6回	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第7回	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクションマッピング、ゲーム、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を

			振り返る
第8回	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクトマッピング、ゲーム、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第9回	映像を用いた表現の多様性を示す例の紹介（プロジェクトマッピング、ゲーム、アニメーション、ビデオアート他）		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第10回	前衛的、実験的、エポックメイキング的な作品を紹介する。		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第11回	前衛的、実験的、エポックメイキング的な作品を紹介する。		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第12回	特色ある監督の紹介		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第13回	特色ある監督の紹介		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る

第14回	特色ある監督の紹介		予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る
第15回	特色ある監督の紹介	今まで紹介された作品の中から興味深いものについて、お互いの意見や感想を述べる。映像の歴史や今後の展望を考察しながらレポート作成に役立てる。	予習：90分 興味のある映像や写真をリサーチする、レポート準備 復習：90分 メモ・ノート・資料で授業を振り返る

教科書

使用しない（必要に応じて資料を配布）

参考書

メディアアートの教科書（白井雅人、森公一、砥綿正之、泊博雅編）、芸術・メディアの視座～映像と音楽を学ぶ人へのアート・スタディーズ（芸術メディア研究会編）、映像の修辞学（ロラン・バルト著）、映像論（港千尋著）、写真論（スーザン・ソントグ著）、複製技術時代の芸術作品（ヴァルター・ベンヤミン著）メディアアートの世界～実験映像1960-2007（伊奈新祐）他

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 最終授業終了後に提出するレポート（データ）を80%、授業への参加度を20%として採点する。

課題等に対する フィードバックの方法

授業の内容については随時質問を受け付けている。第15回目のアクティブ・ラーニングの意見や感想を授業の理解に役立てる。

履修のポイント

興味を持った映像作家や作品を各自リサーチすること、客観的視野を養うこと。

オフィス・アワー

月曜日 12:30-12:40 9号館902教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C250

講義コード	40520001
講義名	色彩学
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	4時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキスト（東京商工会議所）に沿って授業を行う。本科目では、普段の生活にごく当たり前に溶け込んでいる色についての認識を新たにすると共に、その重要性や身近な活用例、配色テクニック、色の心理的側面、消費者が好む色等にも幅広く意識を向け、学生の色に関する興味を高めることを、教育の目標とする。

※シラバスの内容、実施順番等については状況により変更する場合がある
 ※本授業は2回の中間テストの合計により成績評価を行い、定期試験は実施しない
 ※中間テストは授業で扱った範囲内から出題する

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、環境やコミュニケーションの側面から、人間の生活空間について多面的に理解することを目指し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得する。将来的な展望としては、色に関する興味・関心を引き出し、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、積極的にカラーコーディネーションを活用する人材を育て、多様な社会のニーズ、変化に対応できる学修を目指すものとする。

到達目標

日々の生活をより豊かにするため、色の効果を楽しんで活用できる。

授業計画				
	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向基	前提講義 Chap1 生活と色の効用 1)色の効用 2)色の違いで気分が変わる	パワーポイントスライドや カラーチャート、色画用紙 等を用いて、色の性質について の意識を高める	予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布資料、ノート

	子	3)色の基礎事項		等を見直す
第2回		Chap1 生活と色の効用 1)色の効用 2)色の違いで気分が変わる 3)色の基礎事項	パワーポイントスライドや カラーチャート、色画用紙 等を用いて、色の性質につ いての意識を高める	予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
第3回		Chap2 色を自在に操る方法 1)色の分類 2)色の表示方法 3)色名と名前のつけ方 4)PCCS—色 を操り、記録し、伝える手 法(PCCS) 5)マンセル表色系—色彩 のプロが使う正確な色の伝え方		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
第4回		Chap2 色を自在に操る方法 1)色の分類 2)色の表示方法 3)色名と名前のつけ方 4)PCCS—色 を操り、記録し、伝える手 法(PCCS) 5)マンセル表色系—色彩 のプロが使う正確な色の伝え方		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
第5回		Chap3 きれいな配色をつくる 1)配色を知る 2)配色を使いこなす		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
第6回		Chap3 きれいな配色をつくる 1)配色を知る 2)配色を使いこなす		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
第7回		Chap4 色を美しく見せる光のマ ジック 1)光から色が生まれるしくみ 2)光から生まれる色の世界		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
第8回		中間テスト1 Chap4 色を美しく見せる光のマ ジック 1)光から色が生まれるしくみ 2)光から生まれる色の世界		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
第9回		Chap5 背景色を上手に使って色の 見えを変えてみよう 1)色見えを左右する基礎事項と 色使いのポイント 2)色の効果を活用するために		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布 資料、ノート 等を見直す
				予習90分：

第10回	Chap5 背景色を上手に使うって色の見えを変えてみよう 1)色の見えを左右する基礎事項と色使いのポイント 2)色の効果を活用するために		教科書を読む 復習90分： 教科書、配布資料、ノート等を見直す
第11回	Chap6 色で売り上げをアップするために 1)消費者が選択する色とは 2)消費者に受け入れられる色を生み出すために		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布資料、ノート等を見直す
第12回	Chap6 色で売り上げをアップするために 1)消費者が選択する色とは 2)消費者に受け入れられる色を生み出すために		予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布資料、ノート等を見直す
第13回	対策問題で今までの学習を振り返る	質疑応答	予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布資料、ノート等を見直す
第14回	対策問題で今までの学習を振り返る	質疑応答	予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布資料、ノート等を見直す
第15回	中間テスト2 対策問題で今までの学習を振り返る	質疑応答	予習90分： 教科書を読む 復習90分： 教科書、配布資料、ノート等を見直す

教科書

カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキスト（東京商工会議所編）

参考書

カラーコーディネーター検定試験3級問題集（東京商工会議所編）、色の知識（城一夫）、カラーコーディネーター入門色彩（大井義雄・川崎秀昭）色彩デザイン学（三井直樹・三井秀樹）、色彩学概論（千々岩英彰）、ヨハネス・イッテン色彩論（大智浩訳）ほか

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 第1回中間テスト50% 第2回中間テスト50%

課題等に対する フィードバックの方法

教科書Chap1からChap6までの授業内容や対策問題、検定については、随時質問を受け付けている。中間テストは、採点して返却する。

履修のポイント

教科書を熟読すること。検定対策問題等で要点を理解し、問題形式や解答方法に慣れること。

オフィス・アワー

金曜日 14:50-15:00 9号館902教室
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C117

講義コード	40530001
講義名	インターンシップ
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし

授業の概要と教育目標

企業・団体等で求められる下記項目を向上させることを、教育目標とする

- ・事前準備 = 調査・書類構成能力
- ・現場研修 = 技能・コミュニケーション能力
- ・報告会 = プレゼンテーション能力

研修を通し、現場でなければ得られない知識と技術・コミュニケーション能力を習得する。また社会人に必須とされる書類におけるコミュニケーション能力を養う。

※定期試験は実施しない
 ※インターンシップ先の専門性によって、各専門領域の教員が指導教官となる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシー「実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している」との関連として、本科目では、学生が現場で求められるスキルや役割を臨機応変に把握し、主体的に対応することを旨とする。

到達目標

社会で求められる能力を理解し、アート・デザインの活動に反映させることを到達目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	過去の研修例をもとに、実施計画と目標を設定する		予習：90分 興味のある企業をリサーチ 復習：90分 授業の振り返り

第2回	アクティブ・ラーニング 企業・団体を選定、応募、提出書類作成	キャリアデザイン： 自分のキャリアをデザインする上で、具体的にどのような行動が必要なのかディスカッションする。 自分の意見を述べると共に、他の学生の意見に対して質問や批評も行う。 最後にオリジナルメモを作成し提出する。個別面談あり。	予習：90分 興味のある企業をリサーチ 復習：90分 授業の振り返り
第3回	アクティブ・ラーニング 企業・団体を選定、応募、提出書類作成	企業研究： 研修希望分野の職種・業務内容ほか、企業での研修を遂行する上で具体的にどのような行動が必要かを分析する。 自分の意見を述べると共に、他の学生の意見に対して質問や批評も行う。 個別面談あり。	予習：90分 興味のある企業をリサーチ 復習：90分 授業の振り返り
第4回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第5回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第6回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第7回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第8回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第9回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第10回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第11回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第12回	企業・団体で研修、報告書作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第13回	企業・団体で研		予習：90分 事前準備、確認

	修、報告書作成		復習： 分 研修の振り返り
第14回	企業・団体で研修、報告書作成、レポート作成		予習：90分 事前準備、確認 復習：90分 研修の振り返り
第15回	アクティブラーニング 報告書、レポート提出	実習成果報告会として研修内容をプレゼンテーションする。	予習：90分 実習成果報告会準備 復習：90分 実習成果報告会の振り返り

教科書

使用しない

参考書

使用しない（就職活動やマナーに関する資料を必要に応じて配布する）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 各書類提出50%、企業からのフィードバック20%、授業への参加度30%

課題等に対する フィードバックの方法

アクティブ・ラーニングでの意見交換、書類作成や企業とのマッチングにおける個別指導、実習成果報告会でのプレゼンテーションに対する意見や感想、これらのフィードバックを各自授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

提出書類が一定水準に達していない時は再提出とする。授業では積極性、主体性を重要視する。

オフィス・アワー

火曜日 16:30-16:40 18:10-18:20 1号館104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C353

講義コード	40540001
講義名	学外研修
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし

授業の概要と教育目標

デザインや芸術に関する分野は、時代と共に変化し続けている。こうした分野を学び志す者にとって、現状把握やリサーチ作業は非常に重要であり、社会の流れを読みとる力を養う必要性は高いと言える。本授業ではこうした点を踏まえ、美術館や作家のアトリエ、イベント等に出かけ、鑑賞及び分析作業を行っていく。実際に体験することにより、将来の自分のスキルアップや、これからのアート・デザインのあり方と可能性について模索し考えるきっかけとすることが、本授業の教育目標である。

*シラバスの内容については授業進行上の状況により変更する場合がある。(実施日程等の詳細については決定次第発表する)

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間の生活空間について多面的に理解し、表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を深め、実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる能力を養う。事前のリサーチと、現場における実際の鑑賞を通して事後の記録にまとめる。こうした作業により、分析する力や客観的な評価能力を強化することを目的としている。また、そうした経験を今後の作品制作や研究活動に活かしていく。

- 到達目標**
- 団体行動における個人の責任について意識を高める
 - 鑑賞力、分析力等を身につける
 - 適確な事前リサーチと事後の資料作成能力を養う

授業計画				
	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	大日向 基子	前提講義、事前指導、見学する施設・地域に関するリサーチ		予習90分：美術 関連施設リサーチ 復習90分：美術

	子	チ		関連施設リサーチ
第2回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞（1年生美術館研修での鑑賞）		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第3回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞（1年生美術館研修での鑑賞）		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第4回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞（1年生美術館研修での鑑賞）		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第5回	大日向基子	事前指導、見学する施設・地域に関するリサーチ		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第6回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第7回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第8回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第9回	大日向基子	事前指導、見学する施設・地域に関するリサーチ		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第10回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第11回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第12回	大日向基子	施設見学、展示鑑賞、ワークショップ参加等		予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第13回	大日向基子	見学後の意見交換、プレゼンテーション資料制作	意見交換	予習90分：事前リサーチ 復習90分：事後リサーチ
第14回	大日向基子	見学後の意見交換、プレゼン	意見交換	予習90分：事前リサーチ

	子	テーション資料制作		復習90分：事後 リサーチ
第15回	大日 向基 子	プレゼンテーション資料発表	パワーポイントや資料を 用いた発表、意見交換、 総評	予習90分：事前 リサーチ 復習90分：事後 リサーチ

教科書

使用しない

参考書

使用しない（必要に応じて関連資料を配布）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 プレゼンテーション40% 授業への参加度60%
 ※本授業は、現地での施設見学やワークショップ等への参加と、最終日に行うパワーポイントを用いたプレゼンテーションにより成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

プレゼンテーション時の意見や感想、美術館等で質問をした際のフィードバックを、各自授業内容の理解に役立てる。

履修のポイント

交通費、入場料等は各自で負担。現地集合・現地解散が基本。見学、移動中の飲食は出来かねるため、食事は事前に済ませること。記録やメモを取ること。積極的な姿勢が望ましい。

オフィス・アワー

金曜日 16:30-16:40 18:10-18:20 1号館104教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C255

講義コード	40550001
講義名	卒業制作（松村/佐野）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし
教員	佐野 広章	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村（月2コマ）、佐野（水、木4コマ）／マンガ・コミックイラスト：大日向（水2コマ）、吉澤（木2コマ）、門倉（月2コマ）／グラフィック：小松原（月、水4コマ）、三関（木2コマ）／ファッション：寺村（月、水4コマ）、石井（木2コマ）／インテリア・空間：山本（月2コマ）、峰岸（水2コマ）、及川（木2コマ）で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出	予習90分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習90分：
第2回	//	//
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	//	//
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	//	//
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	//	//
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	//	//
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	//	//
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	//	//
第15回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//	//
		予習90分：制作の準備

第17回	制作	復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//	//
第19回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//	//
第21回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//	//
第23回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//	//
第25回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//	//
第27回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//	//
第29回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//	//
第31回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//	//
第33回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	//	//
第35回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	//	//
第37回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	//	//
第39回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	//	//
第41回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ

		スをもとに内容を検証する。
第42回	//	//
第43回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第44回	//	//
第45回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第46回	//	//
第47回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第48回	//	//
第49回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第50回	//	//
第51回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第52回	//	//
第53回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第54回	//	//
第55回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第56回	//	//
第57回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第58回	//	//
第59回	制作	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第60回	//	//
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について 検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第62回	//	//
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について 検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。
第64回	//	//
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について 検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイ スをもとに内容を検証する。

第66回	//	//
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	//	//
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	//	//
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	//	//
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	//	//
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//	//
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//	//
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//	//
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	//	//
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	//	//
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//	//
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第88回	//	//
第89回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 最終確認	予習90分：制作の準備 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	//	//

教科書
使用しない
参考書
使用しない
成績評価の方法・基準
<p>単位認定50点以上 完成度や取り組みを総合的に評価する。 ※卒制展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。</p>
課題等に対する フィードバックの方法
<p>各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけでなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。</p>
履修のポイント
<p>卒業制作の時間に必要なもの(材料の購入や資料収集等)は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。 2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。</p>
オフィス・アワー
専任教員については基本的に開いている時間は、いつでも可。
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R375

講義コード	40550002
講義名	卒業制作（大日向/吉沢/門倉）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	プロとして出版社の紙媒体およびWeb雑誌に作品を連載中。その経験を生かし2年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大日向 基子	指定なし
教員	吉沢 正美	指定なし
教員	門倉 貴浩	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村（月2コマ）、佐野（水、木4コマ）／マンガ・コミックイラスト：大日向（水2コマ）、吉澤（木2コマ）、門倉（月2コマ）／グラフィック：小松原（月、水4コマ）、三関（木2コマ）／ファッション：寺村（月、水4コマ）、石井（木2コマ）／インテリア・空間：山本（月2コマ）、峰岸（水2コマ）、及川（木2コマ）で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に

対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	//		//
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	//		//
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	//		//
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	//		//
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	//		//
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	//		//
			予習45分：制作の準備

第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	//		//
第15回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//		//
第17回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//		//
第19回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//		//
第21回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//		//
第23回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//		//
第25回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//		//
第27回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//		//
第29回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//		//
第31回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//		//
			予習45分：制作の準備

第33回	制作		復習 分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第34回	//		//
第35回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第36回	//		//
第37回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第38回	//		//
第39回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第40回	//		//
第41回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第42回	//		//
第43回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第44回	//		//
第45回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第46回	//		//
第47回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第48回	//		//
第49回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第50回	//		//
第51回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第52回	//		//
			予習45分：制作の準備 45

第53回	制作		復習 分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第54回	//		//
第55回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第56回	//		//
第57回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第58回	//		//
第59回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第60回	//		//
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第62回	//		//
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第64回	//		//
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第66回	//		//
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第68回	//		//
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第70回	//		//
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第72回	//		//
	各専門分野の教員と展示内容、方		予習45分：制作の準備 45

第73回	法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習 分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	//		//
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//		//
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//		//
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//		//
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	//		//
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	//		//
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//		//
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	//		//
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	//		//

教科書

使用しない

参考書

使用しない
成績評価の方法・基準
<p>単位認定50点以上 作品の完成度80% 授業への参加度20% ※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。</p>
課題等に対する フィードバックの方法
<p>各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング) 自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。</p>
履修のポイント
<p>卒業制作の時間に必要なもの(材料の購入や資料収集等)は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。 2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。</p>
オフィス・アワー
<p>月曜日 12:30～13:20 各コース担当の専任教員の研究室 松村：111研究室／佐野：121研究室 (イラストレーション・絵画) 大日向：123研究室 (マンガ・コミックイラスト) 小松原：124研究室 (グラフィックデザイン) 山本：131研究室 (インテリア・空間デザイン) 寺村：122研究室 (ファッション・造形)</p>
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R375

講義コード	40550003
講義名	卒業制作（小松原/三関）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	水曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	グラフィックデザインの会社での実務経験を活かし、2年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小松原 洋生	指定なし
教員	三関 努	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村（月2コマ）、佐野（水、木4コマ）／マンガ・コミックイラスト：大日向（水2コマ）、吉澤（木2コマ）、門倉（月2コマ）／グラフィック：小松原（月、水4コマ）、三関（木2コマ）／ファッション：寺村（月、水4コマ）、石井（木2コマ）／インテリア・空間：山本（月2コマ）、峰岸（水2コマ）、及川（木2コマ）で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	//		//
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	//		//
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	//		//
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	//		//
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	//		//
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	//		//
第13回	作品の方向性、計画が決定し次第		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での

	各自制作に入る		アドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	//		//
第15回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//		//
第17回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//		//
第19回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//		//
第21回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//		//
第23回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//		//
第25回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//		//
第27回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//		//
第29回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//		//
第31回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//		//
第33回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での

			アドバイスをもとに内容を検証する。
第34回	//		//
第35回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第36回	//		//
第37回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第38回	//		//
第39回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第40回	//		//
第41回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第42回	//		//
第43回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第44回	//		//
第45回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第46回	//		//
第47回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第48回	//		//
第49回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第50回	//		//
第51回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第52回	//		//
第53回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での

			アドバイスをもとに内容を検証する。
第54回	//		//
第55回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第56回	//		//
第57回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第58回	//		//
第59回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第60回	//		//
第61回	展示計画書の提出 各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第62回	//		//
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第64回	//		//
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第66回	//		//
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第68回	//		//
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第70回	//		//
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第72回	//		//
第73回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での

	なものを含めた制作を行う		アドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	//		//
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//		//
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//		//
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//		//
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	//		//
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	//		//
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//		//
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	//		//
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	//		//

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

作品の完成度80% 授業への参加度20%

※卒業制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。

※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。

最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング)

自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

卒業制作の時間に必要なもの(材料の購入や資料収集等)は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。

2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

月曜日 12:30～13:20 各コース担当の専任教員の研究室

松村：111研究室／佐野：121研究室 (イラストレーション・絵画)

大日向：123研究室 (マンガ・コミックイラスト)

小松原：124研究室 (グラフィックデザイン)

山本：131研究室 (インテリア・空間デザイン)

寺村：122研究室 (ファッション・造形)

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R375

講義コード	40550004
講義名	卒業制作（寺村/石井智）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	繊維製造業の現場での実務経験を活かし、素材や加工の方法に関する知識を深めファッションとしての表現に多様性を与える授業を展開する。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 寺村 サチコ	指定なし
教員	石井 智子	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村（月2コマ）、佐野（水、木4コマ）／マンガ・コミックイラスト：大日向（水2コマ）、吉澤（木2コマ）、門倉（月2コマ）／グラフィック：小松原（月、水4コマ）、三関（木2コマ）／ファッション：寺村（月、水4コマ）、石井（木2コマ）／インテリア・空間：山本（月2コマ）、峰岸（水2コマ）、及川（木2コマ）で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。1)「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。2)対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。3)実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

- 到達目標**
- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめることができる
 - 発表に充分耐え得るレベルの作品の内容・完成度である
 - 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討することができる

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション (卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。卒業制作計画表の提出)	予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する
第2回	同上	上記参照
第3回	アイデア決定期間 (卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する)	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	同上	上記参照
第5回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	同上	上記参照
第7回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回		上記参照
第9回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回		上記参照
第11回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	同上	上記参照
第13回	制作期間 (作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る)	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	同上	上記参照
第15回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	同上	上記参照
第17回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	同上	上記参照
		予習90分：自身の作品アイデアを

第19回	同上	準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第20回	同上	上記参照
第21回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第22回	同上	上記参照
第23回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第24回	同上	上記参照
第25回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第26回	同上	上記参照
第27回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第28回	同上	上記参照
第29回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第30回	同上	上記参照
第31回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第32回	同上	上記参照
第33回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第34回	同上	上記参照
第35回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第36回	同上	上記参照
第37回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第38回	同上	上記参照
		予習90分：自身の作品アイデアを

第39回	同上	準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第40回	同上	上記参照
第41回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第42回	同上	上記参照
第43回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第44回	同上	上記参照
第45回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第46回	同上	上記参照
第47回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第48回	同上	上記参照
第49回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第50回	同上	上記参照
第51回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第52回	同上	上記参照
第53回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第54回	同上	上記参照
第55回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第56回	同上	上記参照
第57回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第58回	同上	上記参照
		予習90分：自身の作品アイデアを

第59回	同上	準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第60回	同上	上記参照
第61回	全体中間チェック (展示計画表の提出 各専門分野の教員と展 示内容、方法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う)	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第62回	同上	上記参照
第63回	制作期間 (各専門分野の教員と展示内容方法等につい て検討し、展示に必要なものを含めた制作を 行う)	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第64回	同上	上記参照
第65回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第66回	同上	上記参照
第67回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。予 習90分：自身の作品アイデアを準備 する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第68回	同上	上記参照
第69回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第70回	同上	上記参照
第71回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第72回	同上	上記参照
第73回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第74回	同上	上記参照
第75回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを もとに内容を検証する。
第76回	同上	上記参照
第77回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを 準備する 復習90分：授業内でのアドバイスを

		をもとに内容を検証する。
第78回	同上	上記参照
第79回	卒業制作展準備 (各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める)	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	同上	上記参照
第81回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	同上	上記参照
第83回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	同上	上記参照
第85回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	同上	上記参照
第87回	同上	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第88回	同上	上記参照
第89回	卒業制作展準備 最終確認 (各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める)	予習90分：自身の作品アイデアを準備する 復習90分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第90回	同上	上記参照

教科書

使用しない

参考書

使用しない

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上

作品評価80%、取り組みの姿勢20% 定期試験は実施しない。

課題等に対する

フィードバックの方法

個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。最終的には卒業制作展において、プレゼンテーション(アクティブラーニング)を実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。自身が制作した作品の問題点だけではなく、人の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。

履修のポイント

履修のポイント 卒業制作の時間に必要なもの(材料の購入や資料収集等)は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。

2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。

オフィス・アワー

寺村：月・水 16：30-18：20 寺村研究室（122）

石井：木（9：20-12：30）、105教室

科目区分

専門科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-R375

講義コード	40550005
講義名	卒業制作（山本博/峰岸/及川）
(副題)	
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	6
代表曜日	月曜日
代表時限	3時限
必修/選択	必修
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教員は「デザイン事務所」を経営。教員の実務経験をもとに2年間の集大成である卒業制作をサポートする。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 博一	指定なし
教員	及川 澄人	指定なし
教員	峰岸 康之	指定なし

授業の概要と教育目標

各自で研究テーマを設定し、完成作品の提出に向けた制作スケジュールを作成する。作品の内容・サイズ・展示計画・全体のボリューム・制作スケジュール等について担当教員と良く話し合いながら作業を進める。制作過程の中で、担当教員の作品に対するチェックやアドバイスを受け、卒業制作として発表できるクオリティーとなっているかどうか等について常に確認作業を行いながら提出に備えていく。

卒制制作展の事前準備・搬入、搬出・各係等の実施状況等、卒業制作展に関わるさまざまな作業全体を授業の一環ととらえ、作品自体と合わせて評価対象としていく。

2年間学習したことの集大成として、指示された課題をこなすのではなく、一人の作家、デザイナーとして制作に取り組み、作品をプロデュースできることを目指す。また、学生同士が協力して卒制展全体を成功させるチームワークも養う。

*担当教員は各コースごとに設定し、イラストレーション・絵画：松村（月2コマ）、佐野（水、木4コマ）／マンガ・コミックイラスト：大日向（水2コマ）、吉澤（木2コマ）、門倉（月2コマ）／グラフィック：小松原（月、水4コマ）、三関（木2コマ）／ファッション：寺村（月、水4コマ）、石井（木2コマ）／インテリア・空間：山本（月2コマ）、峰岸（水2コマ）、及川（木2コマ）で対応する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

卒業制作は、2年間の学びの集大成であり、下記アート・デザイン学科のディプロマポリシー（大学を卒業するにあたって、身につけておくべき力）を修得していることを示す場が卒業制作展である。

- 1) 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
- 2) 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
- 3) 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に

対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

- 自分でプロデュースした作品を、1人のアーティスト或いはデザイナーとして、納得のいく表現にまとめる。
- 作品の内容・完成度等が展示・発表に充分耐え得るレベルとしていく。
- 卒業制作展そのものを学生同士が主体的に企画・立案し、展示方法・レイアウト・演出等についても検討していく。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	各専門分野にて卒業制作の概要説明 卒業制作展までの予定等についての説明 卒業制作の内容、アイデアについて検討する。 卒業制作計画表の提出		予習45分：シラバスを事前によく読み理解しておくこと。 復習45分：卒業制作の内容について検討をすすめる。
第2回	//		//
第3回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第4回	//		//
第5回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第6回	//		//
第7回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第8回	//		//
第9回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第10回	//		//
第11回	卒業制作計画表を基に担当教員と作品の方向性について検討する		予習45分：自身の作品アイデアを準備する 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第12回	//		//
			予習45分：制作の準備

第13回	作品の方向性、計画が決定し次第各自制作に入る		復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第14回	//		//
第15回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第16回	//		//
第17回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第18回	//		//
第19回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第20回	//		//
第21回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第22回	//		//
第23回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第24回	//		//
第25回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第26回	//		//
第27回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第28回	//		//
第29回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第30回	//		//
第31回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第32回	//		//
			予習45分：制作の準備 45

第33回	制作		復習 分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第34回	//		//
第35回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第36回	//		//
第37回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第38回	//		//
第39回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第40回	//		//
第41回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第42回	//		//
第43回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第44回	//		//
第45回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第46回	//		//
第47回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第48回	//		//
第49回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第50回	//		//
第51回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第52回	//		//
			予習45分：制作の準備 45

第53回	制作		復習 分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第54回	//		//
第55回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第56回	//		//
第57回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第58回	//		//
第59回	制作		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第60回	//		//
第61回	展示計画表の提出 各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第62回	//		//
第63回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第64回	//		//
第65回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第66回	//		//
第67回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第68回	//		//
第69回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第70回	//		//
第71回	各専門分野の教員と展示内容、方 法等について検討し、展示に必要 なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内での アドバイスをもとに内 容を検証する。
第72回	//		//
	各専門分野の教員と展示内容、方		予習45分：制作の準備 45

第73回	法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		復習 分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第74回	//		//
第75回	各専門分野の教員と展示内容、方法等について検討し、展示に必要なものを含めた制作を行う		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第76回	//		//
第77回	各専門分野ごとに作品を提出。提出時間厳守。 教員による最終チェック		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第78回	//		//
第79回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第80回	//		//
第81回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第82回	//		//
第83回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第84回	//		//
第85回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。		予習45分：制作の準備 復習45分：授業内でのアドバイスをもとに内容を検証する。
第86回	//		//
第87回	各専門分野ごとに展示計画に沿った準備を進める。 展示最終確認		予習45分：展示の準備 復習45分：アドバイスをもとに展示内容を検証する。
第88回	//		//
第89回	卒業制作展示	卒業制作展開催中に公開講評会を実施。自身の作品をプレゼンテーションした後、教員が講評する。	予習45分：プレゼンテーションの準備 復習45分：講評会でのアドバイスをもとに作品内容を検証する。
第90回	//		//

教科書

使用しない

参考書

使用しない
成績評価の方法・基準
<p>単位認定50点以上 作品の完成度80% 授業への参加度20% ※卒制制作展の会場準備や片付け、作品の搬入・搬出、各係の実施状況等についても評価の対象とする。 ※本授業は作品提出等により成績評価を行い、定期試験は実施しない。</p>
課題等に対する フィードバックの方法
<p>各分野において、個別に作品についての感想、意見をフィードバックする。 最終的には卒業制作展において、プレゼンテーションを実施するとともに、講師が個々に講評をおこなう。(アクティブラーニング) 自身が制作した作品の課題だけではなく、他の作品の優れた点なども良く観察し理解することで、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてほしい。</p>
履修のポイント
<p>卒業制作の時間に必要なもの(材料の購入や資料収集等)は時間外でしっかり準備し、授業に臨む事。 2年間学習した様々なスキルを活かし、持てる力のすべて発揮し全力で表現してほしい。</p>
オフィス・アワー
<p>月曜日 12:30～13:20 各コース担当の専任教員の研究室 松村：111研究室／佐野：121研究室 (イラストレーション・絵画) 大日向：123研究室 (マンガ・コミックイラスト) 小松原：124研究室 (グラフィックデザイン) 山本：131研究室 (インテリア・空間デザイン) 寺村：122研究室 (ファッション・造形)</p>
科目区分
専門科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-R375

講義コード	40560001
講義名	教師論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教員経験を活かし、教師という仕事の魅力を伝えるとともに学校をめぐるさまざまな問題を解決できる「教師」としての資質・能力を身に付けられる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 簗輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障を含む）について理解するとともにこれからの教師に求められる役割とそれに応えるために必要な資質・能力の具体を述べたり、主要な教育法規の規定に基づいて教員としての職務遂行上に生じる諸問題への対応を述べたり、教職を目指すための進路の具体を説明したりすることができるようになる。「教育は人なり」という言葉が示すように、教育の成否は教師にかかっているといっても過言ではない。教職は児童生徒の人格形成に深く関わる仕事であるから、その責務をしっかりと果たす必要がある。

本授業の教育目標は、

1. 教職の意義及び教員の役割について理解し、具体的な実践場面における教員の在り方を述べられるようになる。
2. 教員の職務内容を理解し、その根拠となる教育法規等を具体的に説明することができる。
3. 進路選択に資する各種機会の情報を得て、自らの進路を構想することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活を取り巻く社会環境と教育の現状、教育が目指すべき方向を理解し、教育が社会において果たす役割を考える教師、社会人としての資質・能力を養う。

到達目標

本授業の到達目標は、

1. 教職の意義及び教員の役割について理解し、具体的な実践場面における教員の在り方を述べることができる。
2. 教員の職務内容を理解し、その根拠となる教育法規等を具体的に説明することができる。
3. 進路選択に資する各種機会の情報を得て、自らの進路を構想することができる。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
			予習90分：教師という職業について各自が考

第1回	教職に就くということ	教師という職業について各自の考えを 発表する。	えてくる。 復習90分：配付資料を 見直し、内容の理解を 深める。
第2回	学校教育の意義	学校で行われている教育について各自 の経験を元に考えを発表する。	予習90分：この回の テーマについてあらか じ め調べ、内容の概要を 把握する。 復習90分：配付資料を 見直し、内容の理解を 深める。
第3回	教師の魅力	教師の魅力とは何か各自が今まで出 会った教師から考えて発表をする。	予習90分：この回の テーマについてあらか じ め調べ、内容の概要を 把握する。 復習90分：配付資料を 見直し、内容の理解を 深める。
第4回	教師をめぐる現 状と課題	教師という仕事はブラックだと言われ たりすることもあることから教師の現 状について考える。	予習90分：この回の テーマについてあらか じ め調べ、内容の概要を 把握する。 復習90分：配付資料を 見直し、内容の理解を 深める。
第5回	教師の地位と育 成システム	教師は他の職業と違い子ども達に与え る影響も大きくその立場の保証、育成 について考えを発表する。	予習90分：この回の テーマについてあらか じ め調べ、内容の概要を 把握する。 復習90分：配付資料を 見直し、内容の理解を 深める。
第6回	保護者・地域と の連携と教師の 役割	学校は地域や保護者との連携が何故必 要なのかを考える。	予習90分：この回の テーマについてあらか じ め調べ、内容の概要を 把握する。 復習90分：配付資料を 見直し、内容の理解を 深める。
第7回	教員の身分と服 務及び倫理と校 務分掌	教師には研修の義務が課されている事 の意義と含む上の倫理について考え る。	予習90分：この回の テーマについてあらか じ め調べ、内容の概要を 把握する。 復習90分：配付資料を 見直し、内容の理解を 深める。
			予習90分：この回の テーマについてあらか じ

第8回	子どもの権利条約と教師の使命・人権教育	教育において子どもの毛管理はどのように扱われているのか、保証すべきかについて各自の意見を発表する。	め調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第9回	教師のライフワークバランスとメンタルバランス	教師の働き方改革が進められようとしていることと教師の生活について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第10回	カリキュラムを創る、授業をデザインする	教師が行う授業とその根拠となるカリキュラムについて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第11回	放課後における子どもの教育活動との連携	放課後の児童クラブ、寺子屋といわれる放課後の子どもの育成活動との連携について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第12回	生徒理解とチーム学校について	生徒を理解するとはどういうことか各自の今までの学校生活を踏まえて意見を発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第13回	新しい時代における教師の役割と責務	Society5.0という時代を迎えるに当たって教師の役割の変化について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第14回	教師としての発達とその支援	子どもの発達を促す教師も日々成長していかなければ成らないということについて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
		授業で学んだことは何か、教師とは何	復習90分：配付資料を

第15回	授業の振り返り	かについて各自の考えを発表する。	見直し、授業内容の理解を深め、まとめる。
教科書			
池田修 著 『新版 教師になるということ』 (学陽書房、2013年)			
参考書			
講義中に適宜紹介する。			
成績評価の方法・基準			
単位認定60点以上 定期試験 50%、授業への取り組み姿勢 (リフレクション、口頭発表等) 20% レポート30%			
課題等に対する フィードバックの方法			
講義中に適宜行う。			
履修のポイント			
教職の意義、教員の役割とその職務内容、チーム学校等にポイントをおき、学修を進める。			
科目区分			
教職科目			
当該授業科目の教育課程内での位置づけ			
CM-C430			

講義コード	40570002
講義名	教育原論・教育課程論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教員経験、とりわけ教務主任としての経験を活かし、学校の教育活動や教育課程が果たす役割についての知識を深めていく授業を展開する。
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 簗輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

本授業では、教育課程・カリキュラムの意義と類型を理解した上で、基準となる学習指導要領の改訂の流れとその位置づけ、学習指導要領の構成、特徴と現代的課題について考察するとともに①わが国の教育を成り立たせている思想や制度について、歴史的な展開も踏まえて学ぶことで、教育について学問的知識に裏打ちされた議論を行う基礎を築くと共に、②学生同士の意見交換や議論を行うことによって、教育に関する各人の考えを深めていくことを目指す。教育に関しては、自らの被教育経験などを通じて、ある一定の考えをすでに持っている人も多いと考えられるが、教育学の知見や他者の意見に学ぶことで、そうした考え方を批判的に問いつつ、教育を論ずる上での土台を構築することを目指す。授業では毎回のテーマに関わる様々な問いについて考えながら、教育の理念や歴史・思想についての理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生活を取り巻く社会環境と教育の現状、教育が目指すべき方向を理解し、教育が社会において果たす役割を考える教師、社会人としての資質・能力を養う。

- 到達目標**
- 1)教育の基本的な概念や教育を成り立たせる諸要素とそれらの相互関係を理解する
 - 2)教育の歴史や思想に関する基本的な知識を身につける
 - 3)自らの教育観（教育とはどのようなもので、どうあるべきかについての考え）を述べることができる

授業計画			
	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	教育観を考える～自身の受けてきた教育について振り返りを通して～	今までの学校での教育について各自の体験を元に発表する	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を

			深める。
第2回	日本の教育の歴史 ① ～大正自由教育～	明治から大正へと時代の変化とともに大正時代での教育の特徴について理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第3回	日本の教育の歴史 ② ～国家主義教育と戦後教育改革～	戦争前も戦争中の教育と戦後の教育の変化について理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第4回	日本の教育の歴史 ③ ～産業化社会とポスト産業化社会～	1960年代、70年代の教育とそれ以降の90年代の教育違いについて発表ができる。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第5回	学校を考える ① 近代公教育制度の成立とその理念	公教育制度の成立とその理念について理解する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第6回	学校を考える ② 学校化社会	「学校化社会」とは何を表しているのか自らの生活を元に考え発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第7回	学校を考える ③ 現代の公教育を考える	現代における公教育の役割について自ら受けてきた教育を振り返りながら考えたことを発表する。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第8回	教育課程をどう編成するか～教育課程編成の構成要件～	教育課程とは何か、どうして編成しなければならないのかを考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第9回	教育課程をどう評価するか	教育課程を作成と実践とは切手も切り離せないこととその評価につ	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。

		いて考える。	復習 分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第10回	教育課程をめぐる問題 ① 教科横断的な教育課題「言語活動の充実」	「言語活動の充実」とは何か、教科横断的とは何かをグループに分かれて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第11回	教育課程をめぐる問題 ② 教科横断的な教育課題「活用を図る学習活動」	「活用を図る学習活動」と教科横断的とのつながりについてグループに分かれて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第12回	教育課程をめぐる問題 ③ 教科横断的な教育課題「学習スキルの育成」	身に付けなければならない「学習スキル」について教科横断的との関係についてグループに分かれて考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第13回	小学校と中学校の教育課程の違いと接続	小学校、中学校のつながりと中1ギップを防ぐ方法について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第14回	ICTとカリキュラム	学校教育のICTが与える影響と教育効果について考える。	予習90分：この回のテーマについてあらかじめ調べ、内容の概要を把握する。 復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。
第15回	まとめ～改めて教育観を考える～	授業を受け手最初に持っていた「教育観」がどのように変化したのか発表する	復習90分：配付資料を見直し、内容の理解を深める。

教科書

田嶋一、中野新之祐、福田須美子、狩野浩二著『やさしい教育原理』（有斐閣）
田中 耕治・水原 克敏 著『新しい時代の教育課程(第3版)』（有斐閣アルマ）
『中学校学習指導要領』 文部科学省

参考書

講義中に適宜示す。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 定期試験 50%、授業への取り組み姿勢（リフレクション、口頭発表など）20% レポート30%

課題等に対する

フィードバックの方法

提出されたリフレクションペーパー等はコメントを加筆して、次の授業時に返却する。

履修のポイント

教職科目であるため、グループ学習、口頭発表等で自分から進んで意見を述べるだけでなく、自分以外の他の学生たちの意見、考えを理解する姿勢で授業に臨むことが大切である。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C410

講義コード	40580001
講義名	教育心理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	教育機関での心理臨床活動やスクールカウンセラーの経験を基にして、より具体的な児童生徒理解に関する授業を行う
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

教師が学校現場で児童・生徒と対応する際には、彼らが、今現在発達的にどのような状況におかれているのか、また、そのときの心の状態はいかなるものなのか、ということに配慮しながら接することが求められる。この科目では、人は環境と相互に作用しあう存在であることを踏まえて、人の発達過程、学習過程、教授過程について講義する。授業は講義形式で行うが、授業後半では実習も取り入れ、学生による「模擬授業」を実施する。なお、青年期までの人の発達過程とその特徴、学習のしくみと学習を規定する要因と障がい、教授の種類について理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

アート・デザイン学科のディプロマポリシーとの関連として、「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解することを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から、教職実践の基盤となる学修を目指すものとする。

到達目標

1. 教育心理学で使用されるさまざまな専門用語の意味を理解できる。
2. 青年期までの人の発達過程とその特徴について理解できる。
3. 学習のしくみと学習を規定する要因、および障がいについて理解できる。
4. 「教える」ということを体験を通じて実感し、自ら「教える」立場をシミュレーションする。

授業計画

授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
		予

第1回	オリエンテーション 教育心理学の概要	教育心理学で取り扱う内容について、その概要（発達・学習・教授）を取り上げる。よい授業とは何かについて、心理学における教育心理学の位置づけについて考える。	習90分： 教科書pp.12-21を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第2回	発達の基本原理と人生初期の発達 発達の基本的な原理、発達の最近接領域の発達について取り上げる。	発達を促進する要因について考究する。	予習90分： 教科書pp.22-25、31-39 復習90分： 配布資料を見直す。
第3回	発達段階の特徴 乳児期から成人期までの発達の特徴について取り上げる。	発達の特徴を前提に学校教育の意義について、考究する。	予習90分： 教科書pp.25-31を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第4回	さまざまな学習理論① 刺激と反応の結びつきを重視する学習の連合理論と認知の変容を重視する学習の認知理論を中心に、学習のしくみを取り上げる。	学習理論から生まれたソーシャル・スキルトレーニングについて理解する（12・13・14回目で行う模擬授業の展開の仕方について理解する）。	予習90分： 教科書41-54を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
第5回	さまざまな学習理論② 記憶、思考を取り上げる。	記憶のメカニズムを理解することで、どのように教授するのがよいのかについて熟考する。	予習90分： 教科書pp.55-70を読む。 復習90分： 配布資料を見直す。
			予習90分：

第6回	<p>学習の規定因① 学習の規定因としての動機づけ理論と、動機づけ向上に必要な事項について取り上げる。</p>	<p>やる気を高めたり維持するためには何が必要なのかについて、自身の考えを深める。</p>	<p>教科書pp.72-88を読む。 復習90分：配布資料を見直す。</p>
第7回	<p>学習の規定因② 学習を規定する要因としてのパーソナリティの理論、知能の構造、測定方法を取り上げる。</p>		<p>予習90分：教科書pp.89-102を読む。 復習90分：配布資料を見直す。</p>
第8回	<p>人間関係と社会性 子どもは人間関係の中でどのように成長するのかについて取り上げる。</p>	<p>愛着が発達に及ぼす意義について、自身の考えを掘り下げる。</p>	<p>予習90分：教科書pp.104-119を読む。 復習90分：配布資料を見直す。</p>
第9回	<p>学級集団 集団形成や教師のリーダーシップやバイアス等について取り上げる。発達を促す集団の力は教師の働きかけによるところが大きいことを理解する。</p>	<p>望ましい学級集団を形成するために教師が気を付けるべきことについて考究する。</p>	<p>予習90分：教科書pp.124-139を読む。 復習90分：配布資料を見直す。</p>
第10回	<p>学校不適応および障がいの理解 学校における適応と不適応、さらに発達障がいの種類や特徴の理解について取り上げる。</p>	<p>児童生徒のつまずきやすさについての考えを広げる。</p>	<p>予習90分：教科書pp.141-171を読む。 復習90分：配布資料を見直す。</p>
			<p>予習90分：</p>

第11回	学習指導と教育評価 学習方法や評価の種類について 取り上げる。	(対面であれば模擬授業の準備)	教科書pp.175-192を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	発達障害 (模擬授業①)	認知面でのつまずきについて体験する。 (対面授業であれば模擬授業)	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第13回	生徒指導・教育相談 (模擬授業②)	生徒指導・教育相談の意義について理解する。 (対面授業であれば模擬授業)	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第14回	今時の子どもと不登校 (模擬授業③)	子ども理解を深める。 対面授業であれば模擬授業)	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第15回	学校で活かす臨床心理学 授業のまとめ	まとめ (模擬授業の振り返り)。	復習90分：これまでの小テストを見返す。

教科書

櫻井茂男監修 『実践につながる教育心理』 北樹出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
確認テスト (最終授業で毎回の授業で行う小テストから40問を出題) もしくは小論文40%、
レポート・課題30%、

模擬授業・授業への参加度30%を総合して評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習として、主に配布資料・ノートのまとめを勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12:30~13:20 (昼休み)、11号館第8研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C412

講義コード	40590001
講義名	美術科教育法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	3時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校、高等学校 美術科の講師経験を活かし、現場での実践に役立つ授業展開を行う。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 奥西 麻由子	指定なし

授業の概要と教育目標

中学校美術科の意義、目的、内容を概観する。その際歴史的背景、学習指導要領の展開を踏まえ、今日の美術科に必要な要素を検討していく。授業の後半では、学習指導案の書き方を学び、実際に指導の計画を立て、それにともなった授業が展開できるようにする。

- 教育目標
- ①美術科の意義と目的の理解
 - ②教育内容の理解
 - ③授業構想の実践

卒業認定・学位授与の方針との関連

教育現場で美術教諭として活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得する。

到達目標

中学校美術科の意義と目的を理解すると共に、教育内容・方法について学ぶことを通して、美術科の授業を自分なりに構想し、実践することが出来るようにする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	奥西麻由子	ガイダンス（授業の概要）		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作成
第2回	奥西麻	美術科の意義と目的（なぜ学校教育で美術を学ぶのか、その意義と目的につ		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作

	由子	いて考える)		成
第3回	奥西麻由子	学習指導要領の変遷と概説（目標と内容の把握、その変遷を概観する		予習90分：教科書（指導要領）を読む。復習90分：ワークシート作成
第4回	奥西麻由子	美術科の内容と指導①（絵画（ワークシートをもとに検討）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第5回	奥西麻由子	美術科の内容と指導②（立体（ワークシートをもとに検討）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第6回	奥西麻由子	美術科の内容と指導③（デザイン（ワークシートをもとに検討）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第7回	奥西麻由子	美術科の内容と指導④（工芸（ワークシートをもとに検討）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第8回	奥西麻由子	美術科の内容と指導⑤（映像メディア表現（ワークシートをもとに検討）およびICTの活用について）		予習90分：教科書（表現領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第9回	奥西麻由子	美術科の内容と指導⑥（鑑賞（ワークシートをもとに検討、演習含む）		予習90分：教科書（鑑賞領域）を読む。復習90分：ワークシート作成
第10回	奥西麻由子	美術科における教師の役割、評価の観点と方法（教師の支援の在り方について、評価方法とその観点）		予習90分：配布資料を読む。復習90分：ワークシート作成
第11回	奥西麻由子	学習指導案の作成①（題材設定、ねらい、導入、展開、まとめまで）		予習90分：配布資料を読む。復習90分：指導案作成
第12回	奥西麻由子	学習指導案の作成②（①の修正及び効果的な授業のための改善検討）		予習90分：指導案作成、修正。復習90分：指導案作成
	奥			90

第13回	西麻由子	模擬授業①	模擬授業 演習	予習 分：指導案作成、 修正。復習90分：指導案 作成
第14回	奥西麻由子	模擬授業②	模擬授業 演習	予習90分：指導案作成、 修正。復習90分：指導案 作成
第15回	奥西麻由子	模擬授業③ 授業のまとめ	模擬授業 演習	予習90分：指導案作成、 修正。復習90分：指導案 作成

教科書

「中学校学習指導要領解説 美術編 平成29年7月—平成29年告示」文科省 日本文教出版、2018

参考書

福田隆真・茂木一司・福本謹一『美術科教育の基礎知識』建帛社、2010

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験25%、提出物（ワークシート 45%、指導案 15%）、模擬授業 15%。再試験は実施しない。

課題等に対する フィードバックの方法

ワークシートを毎回だしますので、復習として行ってまいります。また、提出されたワークシートは個別に添削等を行い、内容理解をはかります。

履修のポイント

主体的に学ぶ姿勢を望みます。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CD-C431

講義コード	40600002
講義名	道徳理論・指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校の教員として数年間にわたり勤務し、クラス担任を担当した経験がある。その経験を活かし生徒同士あるいは家族の絆を強めたり、問題解決の方法を自ら見つけたりする能力を開発する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 橋爪 博幸	指定なし

授業の概要と教育目標

道徳教育の歴史、その意義と役割を理解しつつ、学習指導案作りを実践する。他の教科との連携を踏まえ、教育実習の場でしっかりと道徳の授業ができる教育力を養うものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

道徳、総合的な学習の時間等の指導及び生徒指導、教育相談等に関する科目で、アート・デザイン学科のディプロマポリシーにある「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解していることを踏まえつつ、小・中学校において、自分から進んで多面的な授業テーマを探り、それを実際に道徳の授業のなかで生かせるようにする。

到達目標

小・中学校において実施される道徳教育の位置づけや意義、教育目標、内容について理解し、説明することができる。指導方法や評価方法について理解し、説明できる。これら2点を教育目標とする。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	橋爪博幸	道徳教育の定義と、人格の完成に欠かせない道徳教育の意義を理解する。		復習90分。最近の道徳についての記事を調べる。
第2回	橋爪博幸	道徳教育の歴史を知る。	今日の日本や国際社会での道徳教育の課題について考える。	予習90分。復習90分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
	橋	成長の各段階における人間の道徳性の発達と開花		予習90分。復習90分。事前に

第3回	爪博幸	(学年に適した教材に関する考察を含む)のプロセスをたどる。		配布された資料を読み込む。学習指導要領を事前に読んでおく。
第4回	橋爪博幸	学習指導要領に記された道徳教育の内容と教育目標(多様な指導方法の理解を含む)を知る。		予習120分。復習120分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、資料探索を行う。
第5回	橋爪博幸	学習指導計画と、教育活動全体のなかでの道徳教育の位置づけを理解する。		予習120分。復習120分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表の大筋を決める。
第6回	橋爪博幸	道徳の授業の指導案を作成する。	道徳の授業目標の設定し、授業プログラム案(学習指導案)の作成と発表を行う。	予習120分。復習120分。事前に配布された資料を読み込む。学習指導案の作成にあたり、発表資料づくりを行う。
第7回	橋爪博幸	個々の児童・生徒における道徳教科の評価方法を知る。		予習90分。復習90分。事前に配布された資料を読み込む。最近の道徳についての記事を調べ記事と概要と感想を書いてレポートにまとめ提出する。
第8回	橋爪博幸	学生による模擬授業の実施と、その振り返り(学生による自己評価を含む)を行う。		復習90分。事前に配布された資料を読み込む。作成した各自の指導案、発表資料等を提出する。

教科書

「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示 文部科学省)
「小学校学習指導要領解説」「中学校学習指導要領解説」にある「特別の教科道徳」(平成29年6・7月告示 文部科学省)

参考書

小寺正一・藤永芳純『三訂道徳教育を学ぶ人のために』世界思想社、2009年

成績評価の方法・基準

100点満点中、60点以上で単位を認定する。道徳教育に関するレポート(60点)、各時間の振り返りシート(20点)、模擬授業の発表(20点)の合計点をもとに、総合的に評価する。

課題等に対する フィードバックの方法

課題のレポートに、コメントを入れて後日、返却する。補足説明があるときは、授業内で提示し、または印刷して配布してフィードバックとする。

履修のポイント

授業回数が8回のみであるから、休まず出席すること。なお授業時間以外に、模擬授業のアクティブラーニングを実施する場合がある。

オフィス・アワー

水曜日の昼休みの時間をオフィス・アワーの時間とする。質問等を受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C432

講義コード	40610002
講義名	教育方法・特別活動の指導法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	高等学校での教員経験を活かし、理論と実践について幅広く知識を深めていく授業を展開する
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

限られた時間内に教育が行われる学校では、指導上の効果を高めるため、教育方法について理解し研究することがとりわけ肝要である。被教育者の知識・技術の習得をより効果的なものにし、さらに生徒の自主的・創造的な学習を進展させるうえで、教員を目指す者にとって教育方法の学習は、以前にも増して重要性が高まっている。この授業では、教授ないし学習指導と呼ばれている事柄を中心に扱う。また、コンピュータを中心とした教育機器の利用法や教育評価についても、教育方法にとって不可欠な分野として、取り上げる。

一方で、特別活動は、構成の異なる集団での活動を通して学校生活を捉え、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動である。

そこで、この授業では、学校教育の中で行われる、指導の効果を高めるための方法について理解し研究することを目標とし、学習指導要領に則しながら、特別活動の各活動の内容や指導方法など事例を通して検討していく。

また、授業ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学科のDPとは別に、教員免許状取得のために必要な学校教育法施行規則に定める科目「教育方法及び技術（情報機器および教材の活用を含む。）」と「特別活動の指導法」に該当している

到達目標

- ・教育方法の基礎理論、方法、技術について理解する
- ・コンピュータなどの機器の教育における利用方法を理解し、活用できる
- ・教育評価の理論と応用について理解する
- ・学習指導要領における特別活動の意義を理解する
- ・特別活動の指導の在り方を理解する

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な 時間
	求められる学力とは何かを検討し、学校教育と学習指導要領の基本理念について		予習90分：教科書第1章を熟読する

第1回	考える 課題：指導案（細案）の作成とその意図の発表		こと 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題の作成
第2回	教育方法の基礎理論について		予習90分：教科書第2～4章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題の相互評価
第3回	具体的な指導技術の問題点を確認し、代表的な方法と留意点を見る 学習者が意欲的に学ぶにはどのような工夫が必要か考える	各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう (受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります)	予習90分：教科書第5～9章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第4回	学習における評価の意味について考える	各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう (受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります)	予習90分：教科書第12章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第5回	メディア教材の利用と、ICT機器を利用する意味とその理論について学び、ICTを利用した授業の展開について考える 課題レポート：授業におけるICT機器の活用について	各自で作成した指導案を発表し、検討をおこなう (受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります)	予習90分：教科書第10章・11章を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題レポートの作成
第6回	学習指導要領における特別活動の意義と内容について検討する		予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載、課題レポートの作成
第7回	学級活動・生徒会活動・学校行事の目標とその内容について事例を通して考える (小学校・高等学校との違いを踏まえながら)	グループワーク：特別活動の指導案	予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載
第8回	特別活動における指導方法および評価について検討する	グループ発表：特別活動の指導案の発表	予習90分：学習指導要領解説を熟読すること 復習90分：振り返りをMoodleに記載

教科書

『新しい教職教育講座 教職教育編 教育の方法と技術』（篠原正典・荒木寿友 編著）ミネルヴァ書房
中学校学習指導要領（平成29年告示）文部科学省

参考書

「教育工学への招待」赤堀侃司（ジャストシステム）、「「教えて考えさせる授業を」を創る」市川伸一（図書文化）、「学習評価の新潮流」植野真臣他（朝倉書店）など

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。毎回の課題とその取組（40%）、指導案発表（30%）、課題レポート（30%）を総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業では課題を課します。それらは相互に評価することがあり、その結果をMoodleを通して、個別もしくは全体にコメントしますので、参考にしてください。

履修のポイント

授業日程についてはしっかり確認し、遅刻・欠席がないように注意してください。
また、受講者数、教育実習の日程などにより変更の可能性があります。
授業の回数が少ないため、各自で教科書を熟読し理解を深めてください。
欠席（公欠含む）した場合は、後日内容の確認をしてください。
課題は必ず提出すること。

オフィス・アワー

火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C451

講義コード	40611001
講義名	特別支援教育論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験を活かして実践力を育成する授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 小林 徹	指定なし

授業の概要と教育目標

担当者の中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験や市町村教育支援委員としての幼稚園・保育所等との連携の経験に基づき、研究成果も踏まえて以下の内容を講義する。

1. 特別支援教育を支える理念や歴史的変遷について理解する。
2. 特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。
3. さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。
4. 障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。
5. 特別支援教育の実際について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

短期大学部アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもについて学ぶことで「人間の生活空間」についての多面的な理解を目指す。
また、特別支援教育の理解を通して、多様な社会のニーズや変化に対応できる知識・技術の修得を目指す。

到達目標

1. 履修学生が特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状について説明できる。
2. 履修学生が障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画を作成し、評価することができる。
3. 履修学生がさまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について説明できる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	小	「特別支援教育の考え方、制度と仕組み」障がい児、特別な配慮を要する子ども、特別支		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復

第1回	小林徹	援教育の基礎概念、特別支援教育と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。		習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第2回	小林徹	「障がいとの出会いと子育て、保護者支援」保護者と障がいとの出会いと保護者支援、障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実際を映像を通して学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第3回	小林徹	「障がい児の理解と支援①発達障がい・知的障がい・情緒障がい」映像を通して発達障がい、知的障がい、情緒障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第4回	小林徹	「障がい児の理解と支援②肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい」肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第5回	小林徹	「障がい児の理解と支援③病弱・重複障がい・その他の特別な教育的ニーズ」病弱・重複障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。また、障がいはないが、特別な教育的ニーズをもつ子どもについて学び、その支援方法を考える。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第6回	小林徹	「他機関との連携、幼保小中高の接続」障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介、理解を深める。また、幼保小中高の接続を含めたさまざまな機関との連携について学習する。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第7回	小林徹	「個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用」子どもの有する特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して学習する。また、作成した計画をもとにして具体的な支援を考察する。	特別な教育的ニーズを有する児童の個別の指導計画を作成し、発表する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第8回	小林徹	「特別支援教育のこれまでとこれから」特別支援教育の歴史的変遷について学習する。そして、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた考察を行う。		【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

教科書

小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい,2020

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。 レポート試験（50%）、毎回提出する小レポート（30%）、小テスト（20%）
課題等に対する フィードバックの方法
毎回提出する小レポートや小テストを参考にして、期末のレポート試験を受けること。
履修のポイント
障がいや障がい児について関心をもち、学習を深めてほしい。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CM-C450

講義コード	40620002
講義名	生徒指導・進路指導論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	×
実務経験のある教員の経歴と授業内容	
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

子どもたちを取り巻く状況は、社会の変化に呼応するかのように多様な問題を内包している。不登校・いじめ（いじめ自殺）・ネットトラブル・引きこもり、将来の不透明さなどがあげられる。これらに対応することを前提として、①生徒指導とはなにか、②生徒指導が担うべき役割はなにか、③生徒指導において教師が備え持つべき資質はなにか、について考える。そして、具体的問題を取り上げながら、これらへの対応について共同で考える。

進路指導は、キャリア教育の観点に立ち、①進路指導の意義と指導の方法は何か、②生徒が抱える個別の課題に即しながら「自分を生かす進路選択」とは何かについて共同で考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的な生活空間そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

生徒指導は、一人ひとりの児童及び生徒の人格を尊重し、社会的資質や行動力を高めることを目指し、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。

進路指導は、児童及び生徒が、将来の進路を選択し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸張するように、組織的・継続的に指導・支援する教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。この進路指導・キャリア教育に必要な知識や素養を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	教育課程における生徒指導の位置付		予習90分：教育に関する事象について調べる。復

	けについて理解する。		習90分：配付資料を見直す。
第2回	生徒指導について集団指導と個別指導の実態を踏まえ、その方法原理を理解する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	基礎的な生活習慣の必要性と規範意識が培われる指導について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	校則の実態を学びながら、なぜ校則が存在し、なぜ必要であるかについて考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	体罰の実態を学びながら、体罰禁止の根拠と懲戒について学び、考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	いじめ（いじめ自殺）についての視聴覚教材を用いて、いじめについて考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	いじめの構造を理解し、その対応方法（生徒指導）についてディスカッションを行う。	いじめの構造を理解し、その対応方法（生徒指導）についてディスカッションを行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	不登校や暴力行為の生徒指導上の課題や対応の視点について学び、考える。	不登校や暴力行為の生徒指導上の課題や対応の視点について学び、考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けについて学ぶ。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	進路指導の歴史及びキャリア教育の概念を学び、その発展の方向性を確認する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
			予習90分：教育に

第12回	職業についての体験活動を中心に、進路指導・キャリア教育の意義を学ぶ。		関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第13回	中学校段階における進路指導・キャリア教育の考え方とポートフォリオ作成。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	第13回で作成したポートフォリオを発表し、相互検討を行う。	第13回で作成したポートフォリオを発表し、相互検討を行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第15回	高校時代までに経験してきた生徒指導・進路指導と本授業を通して学んだ内容を比較検討し、改めて生徒指導・進路指導のあり方について考える。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

『生徒指導提要』（平成23年）『小学校学習指導要領』（平成29年）

『中学校学習指導要領』（平成29年）

岩城孝次・森嶋昭伸『生徒指導の新展開』ミネルヴァ書房

適宜、資料を配付する。

成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、授業時のレポート（20%）

単位認定基準60%以上

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12:30~13:20（昼休み） 11号館第7研究室

※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C434

講義コード	40621001	
講義名	総合的な学習の時間の指導法	
(副題)	【教職必修】	
開講責任部署	アート・デザイン学科	
講義開講時期	前期	
講義区分	講義	
基準単位数	1	
代表曜日		
代表時限		
必修/選択	選択	
実務経験のある教員の有無	×	
実務経験のある教員の経歴と授業内容		
学年	2学年	
担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 櫻井 歓	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要と目標：「総合的な学習の時間」の概要や指導方法について扱う。探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付けることを到達目標とする。「学習指導要領」や具体的な教育実践例の研究などを通じて、今日的な教育課題を踏まえた創造的な教育実践を可能とする指導法の基礎を養う。

授業の方法：担当教員による講義と、アクティブ・ラーニングとしての小グループによる意見交換、レポート発表などを有機的に組み合わせ、効果的に授業を行う。授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。

準備学習の内容：本科目では、授業への参加は言うまでもなく、授業外での準備学習が重要となる。各回の授業の復習のほか、配布プリントの予習、さらにレポート作成の課題などについては、受講者各自による授業外での主体的な取り組みが求められる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

以下に掲げる本学アート・デザイン学科のディプロマ・ポリシーのもと培われるアート・デザイン分野の専門性と、教職課程で培われる教職の専門性をあわせ持って、学生の個性・適性に応じて社会で活躍することのできる専門家・市民の育成を目指す。

【アート・デザイン学科】

1. 「環境」や「コミュニケーション」の側面から、「人間の生活空間」について多面的に理解している。
2. 対象の理解をもとにして表現するための知識や技能、および選択した専門分野の知識や技能を修得している。
3. 実践的なデザイナーやアーティストとして活躍できるように、多様な社会のニーズ、変化に対応できる知識・技術を修得している。

到達目標

上記「授業の概要と教育目標」欄に記載した内容のうち、次のことが到達目標となる。「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う「総合的な学習の時間」の意義、目標および内容を理解するとともに、その指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付けること」。このことを学生視点の到達目標として簡潔に表

現すれば以下の通りである。

- (1)「総合的な学習の時間」の意義・目標・内容について説明することができる。
- (2)「総合的な学習の時間」の指導・評価に関するレポートを作成し、効果的なレポート発表とそのふり返りができる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	櫻井 欽	授業内容：開講にあたって（ガイダンス、受講者の「総合的な学習の時間」体験のふり返り） 方法：講義とアクティブラーニング 課題：本科目の授業について見直しをもつとともに、学生自身の「総合的な学習の時間」体験についてふり返る	小グループによる「総合的な学習の時間」体験のふり返り、小レポートの作成	復習：授業プリント・ノートの読み直し、時事的な教育問題の情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用） （180分程度）
第2回	櫻井 欽	授業内容：教育課程における総合的な学習の時間の意義と役割 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の意義と役割について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集（新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを活用） 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書 （予習・復習を含めて180分程度）
第3回	櫻井 欽	授業内容：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間 方法：講義とアクティブラーニング 課題：「学習指導要領」にみる総合的な学習の時間に関する記述について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書 （予習・復習を含めて180分程度）
第4回	櫻井 欽	授業内容：総合的な学習の時間の指導（1）主体的・対話的で深い学び 方法：講義とアクティブラーニング 課題：近年の教育改革のキーワードとされている「主体的・対話的で深い学び」について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの作成 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書 （予習・復習を含めて180分程度）
第5回	櫻井	総合的な学習の時間の指導（2）各教科などとの発展的な関連性 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習	小グループによる意見交換、小レポートの作成と	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集 復習：授業プリント・ノートの読

	欽	の時間と各教科などとの関連性について知識を得る、(b)中間レポートを提出する	フィードバック	み直し、授業に関連する読書 (予習・復習を含めて180分程度)
第6回	櫻井 欽	授業内容：総合的な学習の時間の指導（3） 年間指導計画と単元計画 方法：講義とアクティブラーニング 課題：総合的な学習の時間の年間指導計画と単元計画について知識を得る	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書 (予習・復習を含めて180分程度)
第7回	櫻井 欽	授業内容：総合的な学習の時間の指導（4） 教育実践例の研究 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の教育実践例について知る、(b)中間レポートを発表する	小グループによる意見交換、小レポートの作成とフィードバック、中間レポートの発表	予習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、中間レポートの発表準備 復習：授業プリント・ノートの読み直し、授業に関連する読書 (予習・復習を含めて180分程度)
第8回	櫻井 欽	授業内容：総合的な学習の時間の評価、授業のまとめと筆記試験 方法：講義とアクティブラーニング 課題：(a)総合的な学習の時間の評価について知識を得る、(b)最終回の授業時間の一部で筆記試験を受験する	小レポートのフィードバック、小グループでの感想交流	予習・復習：配布プリントの予習、予告されたテーマに関する情報収集、これまでの授業内容を復習して筆記試験への準備を行う (予習・復習を含めて180分程度)

教科書

特に指定しない。

参考書

「中学校学習指導要領」（文部科学省、平成29年3月）
「高等学校学習指導要領」（文部科学省、平成30年3月）

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上。授業への出席を前提条件として、中間レポート（30%）と筆記試験（70%）により評価する。なお、授業への積極的な取り組み（レポート発表など）を加味する場合がある。

課題等に対する フィードバックの方法

(a) 授業を対話的に展開するため、各回授業時に小レポートを書いてもらい、次の回で何人分かを紹介しコメントする。
(b) 中間レポートを書いてもらい、受講生の選抜メンバーによる中間レポート発表会を行う。担当教員より中間レポートに関する総括的な講評を行う。

履修のポイント

専門職としての教職の資格取得のための科目であるため、単位認定は厳格に行う。学生諸君には教員免許状取得に向けての意欲と覚悟を持って受講していただきたい。

オフィス・アワー

授業終了後に教室にて質問・相談を受け付ける。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C470

講義コード	40630001
講義名	教育相談
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	中学校や高等学校での教諭経験を活かし、教育相談に臨むにあたって必要な姿勢や在り方を解説する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 裕詞	指定なし

授業の概要と教育目標

学校における教育相談について、その目的の理解から入り、徐々に具体的技法や現実の児童生徒を想定した教育相談の在り方を明らかにしていきます。カウンセリングやソーシャルワークの技法にも学びながら、教師の専門性として教育相談が展開されることの意義について理解を深めていきます。

学生の皆さんが、上記の理解内容を、自らの言葉で説明するとともに、それらを基礎としての教育相談に関する自律的な学びが可能となることが教育目標です。

卒業認定・学位授与の方針との関連

学校教育やそれを囲む社会との関係で、教育相談の必要性を理解し、基礎的知識を得るとともに、ディプロマポリシーで重視する実践する際の基礎力を身に付けます。

到達目標

- 1.教育相談の必要性、学校教育上の位置付けについて理解し、説明できるようになる。
- 2.子どもの成長発達上の課題や、それに対する現代社会の影響を踏まえた対応を理解し、説明できるようになる。
- 3.教育相談の技法を支える人間観を理解し、説明できるようになる。
- 4.教育相談に係わる多様な専門職性を理解し、チームアプローチの基礎的知識を基にした議論ができるようになる。
- 5.事例を通して、教育相談を実践する基礎を培い、自律的に個別の具体的ケースを検討できるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	山本裕	1.授業のねらい、方法、評価の在り方について 2.なぜ学校が必要で、なぜ学校で教	左記2について、自己の体験を省みて意見をまとめ、発表を通して学びを共有する。	復習180分

	詞	育相談が必要とされるのか		
第2回	山本裕詞	1.広義の教育相談と狭義の教育相談 2.近年の学校教育相談の動向	生徒指導と教育相談の関係を実感できた経験を、グループ間で話し合い、発表を通して学びを共有する。	生徒指導提要等によって、事前に教育相談と生徒指導の概念間の関係を下調べする。 復習。合計180分
第3回	山本裕詞	1.学校教育相談の4機能 2.学校内組織における教育相談の位置付け	自己の体験を左記1の4機能に分けてワークシートにまとめる。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第4回	山本裕詞	1.心理的事実の受容・共感と客観的指導 2.教育相談の「心」	グループ・ワークにより受容と共感を体験的に学ぶ。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第5回	山本裕詞	1.理論と技法に関する基礎知識の必要性 2.主な理論と技法に学ぶ	左記2について、個々人でワークシートに整理する。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第6回	山本裕詞	1.意義と分類 2.児童生徒理解の基本姿勢と具体的方法	ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第7回	山本裕詞	1.一般的理解の必要性 2.心に関わる疾病・障害・行動特性・言動	ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第8回	山本裕詞	1.「発達」という概念の特徴 2.発達課題の考え方	ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第9回	山本裕詞	1.「みる」「きく」ことによる理解 2.「探る」ための基礎知識	心理テストを体験し、その結果について自己分析し、効果と感想をワークシートにまとめる。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第10回	山本裕詞	1.管理職の役割と可能性 2.校内教育相談体制と担任の役割	ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第11回	山本裕詞	1.異なる専門職との連携 2.専門機関との連携	ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第12回	山本裕詞	1.教育相談と法令 2.専門団体の倫理規定と校内の申し合わせ	当該主題に関する教員採用試験既出問題を各自が解いて提出する。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
		1.自尊感情を育		

第13回	山本裕詞	て、共感力を高める支援 2.相互支援を進め、集団成長を促す	ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第14回	山本裕詞	1.発達障害のある児童生徒への対応 2.多様化する問題への対応	ケース事例について、教師として適切な対応を考察し、意見を述べ合う。	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第15回	山本裕詞	1.授業のまとめ 2.小試験による学習効果の自己確認	グループワークにより学習内容を確認し、その後の個別小試験により教育目標の達成度を自己確認する。	復習180分

教科書

使用しません。授業中、必要に応じてプリント等を配布いたします。但し、下記「参考書」に示した『生徒指導提要』は予習復習に活用できますので、用意することを強く推奨します。

参考書

文部科学省『生徒指導提要』2010年、文部科学省「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」（以上の2点は、文科省HPから入手可能）、島崎政男『入門 学校教育相談』学事出版2014年。

成績評価の方法・基準

50点以上の評価で単位を認定します。評価の割合は、授業中に数回実施予定の確認テストで50%、授業最終回のまとめの後に実施する試験によって50%です。欠席、遅刻、早退、課題の未提出等は減点の対象とします。詳細は、初回授業オリエンテーションにおいて説明します。

課題等に対する フィードバックの方法

授業内容の予習・復習を中心とした自主的な学びが必要となります。なお、各授業の終了間際10～20分で確認の小テストや小レポートを実施いたします。これらについては、採点・添削して、翌週の授業冒頭にて返却しますので、復習に活用するとともに、15回目の授業のまとめ時に使用できるように、配布プリントとともにファイリングすること。15回目に自筆ノートとともに教員が確認します。

履修のポイント

「教育相談」の原理的理解に努めながらも、同時に、児童生徒の多様な状況・生活背景等を想像することが重要です。

オフィス・アワー

授業の前後で質問に応じます。また、文章で質問していただければ、次回の授業時で回答をお渡しします。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C453

講義コード	40640001
講義名	教職実践演習（中）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	5時限
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場で教育実習生の指導を担当した教員経験を活かし、教育実習で学んだことを将来「教師」になった時に活かせるような授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 簗輪 欣房	指定なし
教員	小松原 洋生	指定なし
教員	田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習の実施を踏まえて、学校教育のさまざまな場面で、教育者として対応できる実践力を養う。具体的には、栄養学、生活科学、芸術学の各教科の壁を取り払ったうえで、①デザイン作品づくり、②自己表現の表現方法の学び、③教員としての資質向上に関する議論などを行う。履修カルテにより、教員としての実践的な能力を個別に把握し、個々の学生の教育指導力を高めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この演習では教師という専門性の高い仕事について理解を深めるとともに中学校教諭（美術）として求められる実践的な指導能力を養う。教職科目のひとつであるが、生活科学科の教育目的・目標にある「実践を重視し、『健康』『栄養』の分野で活躍できる人材を育成する」点にもかかわる。みずから進んで、課題解決に努力したか、他の学生と協調して作品づくりに取り組み、グループ内でアイデアを出し合い、それを発表できるまでの形にするものとする。

到達目標

教職課程のいくつかの教科の中で総まとめの科目に相当するので、教職課程の講義や実習を総合的に振り返り、中学校における教育の理念や、各教科の教育方法について学んだことをまとめることができるようになる。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブラーニングの内容	予習・復習と そのために必要な時間
	簗輪 欣房			

第1回	小松原洋生田口和人	教職実践演習のガイダンスを行う。演習内容を理解し、中学校での教育理念について理解する。		復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第2回	簗輪欣房小松原洋生田口和人	現代日本社会にみられる貧困問題を確認する。	学校教育の現場で貧困に苦しむ子どもたちにできる援助を考える。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第3回	簗輪欣房小松原洋生田口和人	学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、教育実習をふり返る（1回目）。	実習の状況を口頭で発表し、他の学生と意見交換する。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第4回	簗輪欣房小松原洋生田口和人	学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、教育実習をふり返る。	実習の状況を口頭で発表し、他の学生と意見交換する。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第5回	簗輪欣房小松原	学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、教育実	実習の状況を口頭で発表し、他の学生と意見交換	予習に90分、復習に90分。授業時に配

	洋生田口和人	習をふり返る	する。	布されたプリントを熟読する。
第6回	簗輪欣房小松原洋生田口和人	学校現場で実践したこと、学んだこと、反省したこと等をまとめ、教育実習をふり返る。	教育実習の状況を口頭で発表し、他の学生と意見交換する。教育実習ノートを見直し、反省点等を補足する。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第7回	簗輪欣房小松原洋生田口和人	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。	1回目は、グループ分けと作品の素案作りを行う。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第8回	簗輪欣房小松原洋生田口和人	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。2回目は、具体的なレシピとパッケージの形を決め、作品を仕上げるまでの計画をたてる。	2回目は、具体的なレシピとパッケージの形を決め、作品を仕上げるまでの計画をたてる。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第9回	簗輪欣房小松原洋生田口	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。3回目は、学科ごとに分かれて調理実習とパッケージづくりを行う。	3回目は、具体的なレシピとパッケージの形を決め、作品を仕上げるまでの計画をたてる。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。

	和人			
第10回	箕輪欣房 小松原洋 生田口和人	生活科学科の学生とアート・デザイン学科の学生が協力して、お菓子や惣菜とそのパッケージをデザインする。	4回目は、各グループが作品をもちより、発表と意見交換を行う。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第11回	箕輪欣房 小松原洋 生田口和人	学生自身を鼓舞する思考、理想とする生き方を、一枚の模造紙に「オリジナルビジョンボード」として色彩豊かに表現する。	「オリジナルビジョンボード」の作り方を配布するので、事前に写真やイラストなどを準備する。模造紙に自分の未来像を描く。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第12回	箕輪欣房 小松原洋 生田口和人	「オリジナルビジョンボード」をもとに、発表し意見を出し合う。	学生自身の「オリジナルビジョンボード」を作成し、他の学生を前にそて口頭で説明する。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第13回	箕輪欣房 小松原洋 生田口和人	特別支援教育の実際の現場を知る。	『学校II』を通して学んだ特別支援教育についてレポートにまとめる。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
	箕			

第14回	輪 欣房 小松 原洋 生田 口和 人	特別支援教育の問題点や改善点について自分なりの意見をまとめる。	特別支援の問題点を探り、改善策を発表する。	予習に90分、復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。
第15回	箕 輪 欣房 小松 原洋 生田 口和 人	教育にかかわる授業や演習をふり返り、教育実習や演習の授業等を通じて学びや気づき、教育者としての振る舞いに必要なことをまとめる。	実践演習で学んだことや、2年間の教職課程を振り返って反省点や改善点等についてまとめ発表する。	復習に90分。授業時に配布されたプリントを熟読する。

教科書

特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

授業内で適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定50点以上 授業への積極的な取り組み状況（20%）、口頭発表（40%）、レポート（40%）として評価する。

課題等に対する フィードバックの方法

提出されたリフレクションペーパー、レポートは確認後、補足説明やコメントを付して返却する。口頭発表やグループ討議の結果発表を行い、演習の中で随時、教員からコメント等を伝える。

履修のポイント

演習科目であるため、グループ学習、口頭発表等で自分から進んで意見を述べること、他の学生たちと協力する姿勢で授業に臨むことが大切である。

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C472

講義コード	40650001
講義名	事前・事後指導 (R2入学生)
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教育実習生を指導、担当した教員経験を活かし、教育実習の大変さと魅力を伝えるとともに実習に向けての準備と実習後のまとめを身に付けられる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	箕輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前・事後指導は、教育実習の事前と事後に2年間を通じて行う。事前指導においては、実習を効果的なものにするために、学校組織についての学習をはじめ、心構え・態度・姿勢など、身につけておかなければならないことを中心に行う。事後指導においては、教育実習を終えての報告会を通じて、経験交流と意見交換を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

次の4つを学習目標とします。
 ①教育実習の意義を理解すること、②教育実習についての基礎的事項（知識・技能・心構え）を理解すること、③教育実習に自信をもって臨むための準備をすること、④教育実習の経験をみんなで共有し、自分なり成果等をまとめること。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブ ラーニングの 内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	箕輪 欣房	学校とはどんなところか、教師の仕事（組織）がどのようなになっているかについて学習する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	箕輪 欣	学校の教育活動の1年間（3年間も含む）を学習する。 教師の1週間および1日の教育活動		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

	房	について学習する。		す。
第3回	簗輪 欣房	学習指導要領及び「解説」について学ぶ		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	田口 和人	指導案とは、なにかについて学習する。 指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	田口 和人	指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	田口 和人	作成した指導案をもとに、模擬授業を行う。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	簗輪 欣房 田口 和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	簗輪 欣房 田口 和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	主体的、対話的で深い学びを目指す。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

授業時の発言50%、レポート50%。
単位認定基準60%以上

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12:30~13:20 (昼休み) 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C413

講義コード	40650003
講義名	事前・事後指導 (H31入学生)
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	通年
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教育実習生を指導、担当した教員経験を活かし、教育実習の大変さと魅力を伝えるとともに実習に向けての準備と実習後のまとめを身に付けられる授業を展開する。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	箕輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前・事後指導は、教育実習の事前と事後に2年間を通じて行う。事前指導においては、実習を効果的なものにするために、学校組織についての学習をはじめ、心構え・態度・姿勢など、身につけておかなければならないことを中心に行う。事後指導においては、教育実習を終えての報告会を通じて、経験交流と意見交換を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

次の4つを学習目標とします。
 ①教育実習の意義を理解すること、②教育実習についての基礎的事項（知識・技能・心構え）を理解すること、③教育実習に自信をもって臨むための準備をすること、④教育実習の経験をみんなで共有し、自分なり成果等をまとめること。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	アクティブ ラーニングの 内容	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	箕輪 欣房	学校とはどんなところか、教師の仕事（組織）がどのようになっているかについて学習する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	箕輪 欣	学校の教育活動の1年間（3年間も含む）を学習する。 教師の1週間および1日の教育活動		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

	房	について学習する。		す。
第3回	簗輪欣房	学習指導要領及び「解説」について学ぶ		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	田口和人	指導案とは、なにかについて学習する。指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	田口和人	指導案を作成する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	田口和人	作成した指導案をもとに、模擬授業を行う。	主体的、対話的で深い学びをめざす。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	簗輪欣房 田口和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。	主体的、対話的で深い学びをめざす。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	簗輪欣房 田口和人	それぞれの教育実習経験を発表し、お互いに講評する。		予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

授業時の発言50%、レポート50%。
単位認定基準60%以上

課題等に対する フィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12:30~13:20 (昼休み) 11号館第7研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

科目区分

教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C413

講義コード	40660001
講義名	教育実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	4
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での教育実習生を指導、担当した教員経験を活かし、教育実習の大変さと魅力を伝えるとともに教育実習で何を大切にすべきかを理解させることができる授業を展開する。
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	箕輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習事前事後指導を踏まえ、15日間の教育実習に取り組む。学校現場での教育活動全般の実際について学ぶ。そして美術教諭として役割について、研究授業や子どもたちとの関わりを通じて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、日常的な「生活空間」そして社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

中学校美術教諭であることを自覚した上で、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	実習校での指導の下、「主体的、対話的で深い学び」を目指す。 実習そのものが<アクティブ・ラーニング>であることを理解する。	毎日の実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なうこと。

教科書

なし
参考書
なし
成績評価の方法・基準
自習校での指導評価に基づく。
課題等に対する フィードバックの方法
実習ノートを返却しますので、振り返りをしっかり行なうこと。
履修のポイント
主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室
科目区分
教職科目
当該授業科目の教育課程内での位置づけ
CD-C436

講義コード	40670001
講義名	介護等体験実習（事前事後指導含む）R2入
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での特別支援学級担任などの教員経験を活かし、障がい者、高齢者、支援を必要とする児童生徒との交流等から学ぶ姿勢を身に付け、深められる授業を展開する。
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	箕輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするところにあります。この主旨を十分に理解して、「体験実習」に望むこと。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	田口 和人	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第2回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第3回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第4回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交	体験実習に向けて、予習・

		流等」に積極的に取り組む。	復習をしっかりと行なう。
第5回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第6回		5日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする。他の報告者の話を聞く。
第7回		特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第8回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第9回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第10回		2日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験自習をよく振り返ること。

教科書

事前指導においては、資料を配付します。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する フィードバックの方法

実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C435

講義コード	40670002
講義名	介護等体験実習（事前事後指導含む）31入
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	アート・デザイン学科
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
必修/選択	選択
実務経験のある教員の有無	○
実務経験のある教員の経歴と授業内容	学校現場での特別支援学級担任などの教員経験を活かし、障がい者、高齢者、支援を必要とする児童生徒との交流等から学ぶ姿勢を身に付け、深められる授業を展開する。
学年	2学年

担当教員		
職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし
教員	箕輪 欣房	指定なし

授業の概要と教育目標

教職免許を取得するにあたり、「社会福祉施設等において障害者、高齢者等に対する介護や介助、交流等の体験」が義務づけられています。この主旨は、教員を志望する者が介護等の体験を通じて、「個人の尊厳や社会連帯の理念に関する認識を深めること」により、教員としての資質の向上を図ろうとするところにあります。この主旨を十分に理解して、「体験実習」に望むこと。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

社会的弱者の存在や生活を認識・了解した教員像をめざすにあたり、①豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員、②幅広い視野と高い専門性を有する教員、③社会人としての優れた識見を有する教員、の三つの観点を到達目標とします。

授業計画

	担当者	授業内容と方法、課題	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	田口 和人	社会福祉施設等での障害者・高齢者の実情を踏まえ、介護や介助、交流等について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第2回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第3回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第4回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交	体験実習に向けて、予習・

		流等」に積極的に取り組む。	復習をしっかりと行なう。
第5回		社会福祉施設での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第6回		5日間の体験実習について報告する。	報告の準備をする。他の報告者の話を聞く。
第7回		特別支援学校での児童・生徒の学習や生活について学ぶ。	社会保障制度、社会的弱者の実情について調べる。
第8回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第9回		特別支援学校での指導の下、「介護や介助、交流等」に積極的に取り組む。	体験実習に向けて、予習・復習をしっかりと行なう。
第10回		2日間の体験実習についてレポートを提出する。	体験自習をよく振り返ること。

教科書

事前指導においては、資料を配付します。

参考書

『新版・よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会
『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』全国特別支援学校長会編

成績評価の方法・基準

体験実習先の評価による。

課題等に対する フィードバックの方法

実習ノートを返却するので、それをもとに体験実習を振り返る。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室

科目区分

教職科目

当該授業科目の教育課程内での位置づけ

CM-C435